

報告事項 1 令和3年度重点方策及び重点事業報告

少子超高齢社会の進展による人口及び疾病構造の変化に伴い、様々な社会保障制度改革が進められている。兵庫県においても、平成30年度から「保健医療計画（第7期）」、「老人福祉計画（第7期介護保険事業計画）」が施行され、2025年を見据えて、地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが進められている。

そのような状況を踏まえ、令和2年度から継続して検討し「兵庫県看護協会活動のあり方」をとりまとめ、報告書及び概要版を作成して会員施設・会員に周知を図った。理事会、施設代表者会、管理者研修等の際に本会のすすめる活動を共有し、重点方策、重点事業の推進を図り、組織強化に取り組んだ。

また、2025年を目前にして、「地域包括ケアにおける看護提供体制構築・推進」については継続的に取り組む重点方策であり、在宅医療を支える人材育成、関係機関・団体との連携体制の構築、看看連携や多職種とのネットワーク事業等を進めたほか、訪問看護に関わる様々な課題に取り組み、地域における訪問看護提供体制の安定化を図る拠点として、新たに「訪問看護総合支援センター」を開設し、諸事業の充実を図った。

また、新たにオンライン研修システムを導入して研修等の受講方法の多様化と会員サービスの向上を実現するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応して調整を図りつつも、効果的な事業実施に努めた。

このほか、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、感染対策の研修の充実や、人材確保・復職支援の取組強化を図るとともに、兵庫県から自宅療養者健康観察事業、神戸市からはワクチン接種事業支援等を受託し、計画していた以外の事業にも積極的に取り組みを実施した。

以上のように、社会情勢や政策、感染症等に的確に対応しつつ以下の5つの重点方策を掲げて取り組んだ。

【令和3年度重点方策】

- 1 時代のニーズに対応できる看護職の人材育成
- 2 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進
- 3 看護職が健康で安全に働き続けられる環境づくりの推進
- 4 災害等健康危機管理体制の整備
- 5 組織力の強化

1 時代のニーズに対応できる看護職の人材育成

看護の質向上のため、看護のキャリアに応じた継続教育を基本とする研修を実施した。これからの社会に求められる看護の機能・能力開発、役割拡大を支援するため、JNA ラダーの示す看護実践能力の向上につながる人材育成を行った。

また、特定行為研修修了者の役割について普及啓発を行うとともに、本会の認知症認定看護師教育課程に特定行為研修を組み入れた新たな認定教育課程 B 課程を開設した。

(1) あらゆる場で働く看護職の看護実践力の向上

継続教育を着実に推進しつつ、看護管理者対象研修や新人看護職員研修の充実を図るとともに、JNA ラダー活用推進を強化した。また、外来・在宅・施設等の看護職の資質向上、地域包括ケアシステムをさらに推進するための研修を企画・実施した。

昨年に引き続き、高齢者施設や高齢者のケアをする介護施設等の看護師を対象に研修を企画・実施した。

感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師、感染制御実践看護師が在籍しない県内の病院・施設の看技師を対象に「感染対策エキスパートナース育成研修」を企画・実施した。

(2) 特定行為にかかる研修制度の推進（新規）

新たに開設した認知症看護認定看護師教育課程 B 課程において人材育成を進めるとともに、特定行為に関わる研修制度の推進を図った。

2 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

地域包括ケアシステムの充実に向け、切れ目ないケア提供体制を構築・推進するため、訪問看護総合支援センターを開設した。また、支部において地域の特性に応じた看護職のネットワーク機能を強化する取り組みを推進した。

(1) 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割発揮の推進

訪問看護に関わる様々な課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点として新たに訪問看護総合支援センターを開設、在宅看護連携強化を進めた。訪問看護総合支援センターにおいては、開設後、他団体や各専門家と協働できる体制を整備できた。

(2) 地域の特性に応じた看護ネットワーク機能強化

地域の特徴を活かした支部活動推進（看看連携強化）を推進した。支部ごとの看護連携と他職種連携のネットワークを明らかにし共有することで、地域における看護連携のネットワークのあり方について検討した。

(3) 「まちの保健室」活動の推進

「まちの保健室」の活動は、コロナ禍の影響を受け、一部を除きほぼ休止となったが、with コロナ時代における活動のあり方を検討した。

3 看護職が健康で安全に働き続けられる環境づくりの推進

ヘルシーワークプレイスを周知・活用し、健康で安全な職場づくりを支援した。病院だけでなく、訪問看護ステーション等小規模の事業所に対しても、組織的対応の整備が推進できるよう支援した。

また、多様な職場への就業促進と離職防止の他、コロナ禍において離職防止再就業支援のニーズが急増し、ナースセンター事業を強化して取り組んだ。

さらに、豊かな看護の経験を活かして生涯にわたって活躍できるプラチナナースを支援したほか、県からの委託により「保健師バンク」登録事業を新たに開始した。

(1) 離職防止、就業促進・定着促進のためのナースセンター事業強化

看護職の離職・需要調査の結果等も踏まえ、潜在看護師等再就業支援や看護職確保定着支援を進めた。中でも、コロナ禍における国によるワクチン接種業務就業促進策については、eナースセンター登録が給付金を得られる要件となっていたことから登録の増加につながり、また、ワクチン接種が潜在看護職の再就業につながった。

(2) プラチナナースの活躍推進

60歳以上が就労可能な病院施設の開拓、チラシの作成や研修等プラチナナースの就労支援を行った。研修参加者には高評価が得られた。

(3) 看護職の働き方改革推進

ヘルシーワークプレイスの一層の推進のため、計画を変更し、コロナ禍という厳しい環境にいる看護師への支援のための研修や、コロナ禍での管理に苦慮している看護管理者の課題を共有するための看護管理者交流会を実施した。ヘルシーワークプレイス実現に向け、現場で優先される課題や既に現場で実施されている勤務環境改善の取り組みの共有を図った。

(4) 看護の役割拡大

認定看護師教育課程B課程の開設にあわせて、特定行為研修修了者活用実践報告会を計画・実施した。

4 災害等健康危機管理体制の整備

各地で自然災害が頻発しており、いっどこで災害が発生しても、対応できるよう体制を整える必要があることから、研修、マニュアル作成等、災害対応力向上の支援を行った。

また、各施設でのBCP、受援マニュアルガイド等を活用して、災害時支援調整機能を発揮する看護管理者を対象とした研修、災害看護の理解を深める研修を行うなど、災害や健康危機発生時の体制整備に努めた。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、兵庫県から受託した自宅療養者健康観察事業、神戸市から受託したワクチン集団接種事業支援等の事業について、潜在看護職の復職支援等のほか、大学、プラチナナースの協力も得、様々な看護職が協力して対応した。また、協会のBCPマニュアルの見直し等、感染症発生時の体制強化の取り組みを精力的に進めた。

(1) 災害等発生時の支援体制の整備

災害発生時の体制強化を図るとともに、災害支援ナース養成をさらに推進した。

(2) 災害支援に関わる関係機関等との連携強化と対応訓練の充実

災害関係団体等との連携を強化するとともに、コロナ禍での自然災害を想定した対応訓練を、多くの災害支援ナースの協力を得て実施した。

（３）感染症関連

感染症支援体制の強化を図るとともに、会員施設の支援方策を継続実施するほか、感染管理認定看護師によるサポート体制強化を図った。

５ 組織力の強化

理事会、定時総会等を通じて幅広く意見を聴いてとりまとめた「兵庫県看護協会活動のあり方」について、各会員施設に報告書（本編）を、また、全会員に概要版を配布したほか、ホームページ、看護ひょうごへの掲載、会議・研修等の機会に広く周知を図るとともに、本会活動の今後の方向性について理解を求めた。

また、最重要課題である会員の確保・拡大について、会員サービスの充実等とあわせ、具体的な取り組みの検討を行った。

（１）会員の確保・拡大

新たなオンライン研修システムの積極的な活用による会員サービスの充実・強化、広報等による情報発信の強化を図ったほか、新入会員の確保、退会の抑制に向けて具体的な方法について検討を行った。

令和3年度事業報告

定款第4条に規定する9つの事業に沿って報告する。

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業
5. 災害、健康危機支援に関する事業
6. 看護の国際交流に関する事業
7. 看護の普及啓発に関する事業
8. 施設の貸与に関する事業
9. その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業内容の**重**太文字は重点事業、**新**下線は新規事業

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業〈重点1〉

定款第4条第1項第1号

(52,258千円)

看護基礎教育や継続教育、資格認定教育等を通して看護の質向上や人材育成を推進するとともに、看護研究や学会等学術の振興を図る。

事業内容	実施状況
1) 資格認定教育に関する事業〈重点1〉 (1) 認定看護管理者教育課程	12研修 延べ日数110日 延べ受講者数577名 ファーストレベル定員 各60名 ・ファーストレベルⅠ期(週末) 応募者数51名 受講者数51名(オンライン受講9日間 受講35名) 令和3年5月20日～6月25日 105時間 18日間 ・ファーストレベルⅡ期 応募者数71名 受講者数64名 (オンライン受講12日間 受講58名) 令和3年7月13日～8月6日 105時間 18日間 ・ファーストレベルⅢ期 応募者数74名 受講者数63名 (オンライン受講12日間 受講63名) 令和3年11月16日～12月10日 105時間 18日間 ・ファーストレベルⅣ期 応募者数61名 受講者数61名 (オンライン受講61名 全18日間オンライン) 令和4年1月12日～2月4日 105時間 18日間 セカンドレベル 定員60名 ・セカンドレベル 応募者数56名 受講者56名 (オンライン受講 最終日のみ集合) 令和3年8月25日～10月8日 180時間 31日間

	ファーストレベルフォローアップ研修 ・ファーストレベルⅠ期フォローアップ研修 令和3年12月17日 受講者数39名（会場31名 オンライン8名） ・ファーストレベルⅡ期フォローアップ研修 令和4年2月18日 受講者数45名 （全員オンライン受講） 令和2年度ファーストレベルフォローアップ研修 ・ファーストレベルⅡ期フォローアップ研修 令和3年4月23日 受講者数34名（会場3名 オンライン31名） ・ファーストレベルⅢ期フォローアップ研修 令和3年6月22日 受講者数48名（会場17名 オンライン31名） ・ファーストレベルⅣ期フォローアップ研修 令和3年7月30日 受講者数50名（会場23名 オンライン27名） ・ファーストレベル公開講座 オンライン研修 ①令和3年11月28日 受講者数9名 ②令和4年1月21日 受講者数26名 ・看護管理実践発表会 令和4年2月26日 参加者数 141名 オンライン併用 発表演題 37題 セカンドレベル25題 サードレベル12題 記念講演：講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 吉川久美子 氏 「病院看護管理者のマネジメントラダー」
(2) 認知症看護認定看護師教育課程（B課程） 開講	・令和3年4月6日～令和4年3月31日 修了者数18名
(3) 資格認定者の資質向上対策のための研修	関連研修 延べ日数5日 受講者数118名 ・CNS/CN/認定看護管理者実践報告会 令和4年3月17日 参加者数16名 ・新Hyogo リソースナースnet 研修会（研修名変更） チームアプローチのためのコミュニケーション スキルトレーニング 令和4年3月12日 受講者数20名 ・新感染管理認定看護師交流会 令和3年7月27日 参加者数26名 ・特定行為研修修了者の実践報告会 令和4年3月19日 参加者数36名 ・認知症看護認定看護師教育課程（B課程） 入講説明会 令和3年9月4日 参加者数30名
2) 継続教育に関する事業 〈重点1〉 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い 看護師の普及に向けた継続教育	35研修 延べ日数44日 受講者数1,417名 （会場451名 オンライン966名） 会場のみ研修7研修 オンライン併用23研修 オンラインのみ5研修

(1) 社会ニーズに対応する能力支援のための研修

- ・ 新新たな国民病「慢性腎臓病（CKD）」を予防する
令和3年11月30日 受講者数34名
- ・ 新押さえておきたい！透析看護のポイント
令和3年11月1日 受講者数29名
- ・ 新再発見！私の職業人生ーキャリアヒストリー法
を通して振り返り、見通すー 中止
- ・ 新周産期における感染予防対策について
ー COVID-19感染症を踏まえて
令和3年11月26日 受講者数17名
- ・ 新産後ケア事業」における助産師に必要な小児看護知識と技術
令和3年10月14日 受講者数13名
- ・ 臨床における看護研究と支援のポイント
ー研究の過程を楽しめることを目指そうー
- ・ 知っておきたい認知症看護・・・5 研修
- ・ 高齢者の暮らしを支えるケア・・・4 研修
- ・ 准看護師のための看護過程と急変対応
- ・ 介護職員等によるたんの吸引等 2研修3日(県受託)
- ・ 新生児蘇生法（NCPR）Sコース 中止
- ・ 新クラスター発生防止研修（県高齢政策課共催）
令和3年7月12日 受講者数9名
- ・ 新感染対策エキスパートナース養成研修
ベーシックコースⅠ（3日間）
①令和3年10月6日
②令和3年10月15日
③令和4年2月28日
受講者数 のべ245名
- ・ 新裁判例から学ぶ法的責任に基づいた看護実践
令和3年12月7日 受講者数130名
- ・ 新事業継続計画（BCP）策定支援研修
令和4年2月24日 受講者数141名

(2) 診療報酬に関連した研修

- 6 研修 延べ日数16日 受講者数467名
- ・ 看護職員認知症対応力向上研修
「認知症ケア加算2」に対応（県受託）
①令和3年6月1日・2日・9日 受講者数57名
②令和4年2月1日・8日・14日 受講者数38名
- ・ 医療安全管理者養成研修・日看協主催一部受託
オンデマンド（eラーニング）＋演習1日
2回開催受講者数 計127名
- ・ 医療対話推進者養成研修 3日間（20時間）
令和3年9月19日・25日・26日
受講者数38名（全オンライン研修）
- ・ 糖尿病重症化予防（フットケア）
令和3年10月13日・10月19日・10月20日
研修2.5日 受講者数46名

(3) 研究会・講演会

ラダーと連動した継続教育

(1) 看護師のクリニカルラダー (JNA ラダー)

(2) 助產實踐能力習熟段階 (CLoC MiP)

- ・施設代表者会
令和3年8月19日
会場10名 オンライン174名
講演「幸福経営学入門」
講師：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 前野隆司 氏
講演「コロナ禍における法律問題」
講師：公益社団法人日本看護協会
前参与 友納理緒 氏
- ・施設代表者等講演会
令和4年3月3日
会場6名 オンライン134名
講演「看護職の法的責任～看護業務と特定行為研修について考える～」
講師：公益社団法人日本看護協会
前参与 友納理緒 氏
- ・看護実践研究会 令和3年11月20日
メインテーマ「あらたな看護の創造」
教育講演：テーマ「臨床現場での実践をどのように研究につなげるか」
講師 東京大学大学院医学系研究科
教授 山本則子 氏
口演発表10題 参加者数120名
- 15研修 延べ日数15日 受講者数888名
(会場393名 オンライン495名)
会場のみ研修2研修 (オンラインのみ0研修、オンライン併用13研修)
- ・新楽しく学ぼう循環器！一心不全患者の理解と看護一
令和3年10月29日 受講者数73名
- ・新人工呼吸器の基礎知識と装着中の看護
令和3年7月15日 受講者数59名
- ・新今日から役立つせん妄ケアー高齢入院患者のせん妄を防ぐ
令和3年10月22日 受講者数39名
- ・新重症化・急変予測に必要なスキル
令和3年12月6日 受講者数121名
- ・新みんなで学ぼう！糖尿病患者のフットケア
令和4年2月22日 26名
- ・新最新！がん化学療法ー求められる看護師の役割ー
令和3年12月10日 受講者数36名
- ・新人看護職員集合研修 4研修4日間
8研修 延べ日数8日 受講者数136名
(会場74名 オンライン62名)
会場のみ研修2研修 (オンライン併用6研修)

看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

- (1) 看護管理者を対象とした研修
- (2) これから看護管理を担う人々を対象とした研修

専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

- (1) JNA ラダー活用のための研修
- (2) 施設内の教育体制の充実に向けた研修

- (3) 教員・実習指導者を対象とした研修

3) 看護研究等学術振興に関する事業

- (1) 令和3年度看護実践研究会の実施・評価(再掲)

- ・**新助産記録**

令和3年7月9日 受講者数26名

- ・**新臨床推論** 中止

- ・**新周産期に関する倫理** 中止

- ・新人助産師集合研修 4 研修

11研修 延べ日数13日 受講者数466名

(会場149名 オンライン317名)

(会場のみ2研修 オンライン併用5研修 オンラインのみ4研修)

- ・**新主任のための役割講座**

令和3年6月28日 受講者数26名

- ・**新師長のための役割講座**

令和3年7月8・9日 受講者数36名

- ・**新論文の書き方 ―論理的思考・記述力アップ―**

令和3年5月11日 受講者数55名

令和3年6月26日 受講者数35名

令和3年8月10日 受講者数54名

令和3年11月9日 受講者数52名

令和4年1月5日 受講者数44名 計240名

- ・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修

令和3年11月2日 受講者数46名

令和3年11月5日 受講者数48名

- ・(再掲)・ファーストレベル公開講座 2 研修

- ・セカンドレベル公開講座―2 研修 中止

1 研修 日数1日 受講者数15名

- ・JNA ラダーを自分のキャリア開発に活かすために

6 研修 延べ日数23日 受講者数662名

- ・新人看護職員卒後臨床研修事業 (5 研修)

- ・新管理者として生涯キャリアを見通しスタッフのキャリア形成を促す―キャリアヒストリー法の活用―中止

- ・**新オンライン研修を企画しよう**

令和4年2月28日 受講者数43名

4 研修 延べ日数40日 受講者数380名

- ・保健師助産師看護師実習指導者講習会 (県受託)

一般分野 令和3年6月24日～8月6日

受講者数54名

特定分野 令和3年11月10日～12月2日

受講者数20名

- ・兵庫県学校協議会共催研修1.2 2 回開催

1 回目受講者数 169名 2 回目受講者137名

(2) 日本看護協会主催の学会参加促進 4) 図書室運営に関する事業 (1) 図書・雑誌・文献の充実 (2) 図書室の効果的・効率的運営 (3) 文献学習等の支援	・新規購入図書、雑誌の検討 ・新刊案内 ・Library News の発行 ・図書室の利用者増加に向けた取り組み ・会員アンケート調査 ・利用状況調査
---	--

2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事項

〈重点2〉 定款第4条第1項第2号

(1,027千円)

現場で働く保健師、助産師、看護師及び准看護師が、自らその課題を把握し改善するため、それぞれの専門にかかわる業務の実態調査・研究等を行い、各職能における業務改善や看護制度改善に向けた提言をすることにより、看護の質向上を図る。

事業内容	実施状況
1) 保健師業務に関する事業 (1) 保健師の資質向上、専門性の追求 (2) 看護職、多職種とのネットワークの強化	・定例会 年9回 ・交流会 産業保健分野交流会 令和4年1月8日 「産業保健活動の実際」 ～コロナ禍における生活習慣病対策～ 保健師助産師看護師・支部合同交流会 令和3年9月18日 「看護職間の連携・協働のこれから」 ～地域での暮らしを支えるために～ ・調査等 日本看護協会が実施する実態調査 コロナ禍の保健師活動実態把握
2) 助産師業務に関する事業 (1) 子育て世代包括ケアシステムの推進 (2) 助産師間、他職種との連携強化	・定例会 年8回 ・研修会 近畿地区助産師職能合同研修会 助産師資質向上研修 ・調査等 子育て世代包括ケアシステム推進に向けた 産後ケア事業に関する文献検討
3) 看護師業務に関する事業 【看護師業務Ⅰ】 (1) 看護管理者のネットワーク構築 (2) 地域包括ケアの現状整理・可視化	・定例会 年9回 ・交流会 看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会 「意志決定支援を支えるための切れ目ない 看護の展開」 看護管理者のネットワーク構築を図る。 ・調査等 地域包括ケアの現状を整理・可視化 日本看護協会が実施する実態調査
【看護師業務Ⅱ】 地域包括ケアシステムの構築にむけた連携・協働の推進	・定例会 年11回 ・交流会 看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会 地域で働く看護職の交流会 ・調査等 地域で働く看護師の感染症対策の現状把握、今後の対策検討 看能Ⅱ領域看護師の入会促進 日本看護協会が実施する実態調査

※三職能合同 (1) 保健師助産師看護師職能集会 三職能合同集会 (2) 保健師助産師看護師・支部合同交流会 ※支部活動 4) 看護制度に関する事業 (1) 兵庫県看護学校協議会への出席と情報交換 (2) 看護業務、看護制度に関する意見・提言収集、調査の実施 ①令和2年度看護職員需要・離職調査実施と分析 ②各支部から意見・提言の集約 ③各委員会活動から意見・提言の集約 ④看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会、保健師助産師看護師支部交流会、准看護師交流会からの課題収集、政策提言 (3) 看護業務、看護制度に関する国・兵庫県・神戸市・日本看護協会等への政策提言 (4) 准看護師養成・准看護師制度に関する取組 5) 医療安全の推進に関する事業 (1) 医療事故調査制度における支援団体としての事業 ①相談への対応 ②院内調査に必要な専門家の派遣と調査員の人材育成 ③兵庫県医療事故調査支援委員会との連携	・令和3年6月17日 「バカボンのパパに学ぶ苦悩の人間学 ～大事にしたいコミュニケーション～」 京都大学大学院人間・環境学研究科 佐藤素子 氏 ・令和3年9月18日 「看護職間の連携・協働のこれから ～地域での暮らしを支えるために～」 1) 兵庫県の保健師活動と役割 兵庫県健康福祉部健康局健康増進課 山下久美 氏 2) 診療看護師としての地域での活動で見えてきたもの 糖尿病サポートセンターオフィス 中山法子 氏 *各支部の計画参照 年6回 ・令和3年4月1,587施設に郵送 ・令和3年12月合同委員会 開催 ・令和3年12月合同委員会 開催 ・令和3年12月理事会報告 ・令和3年7月 国・兵庫県・神戸市要望書提出 ・令和3年9月 政策要望に係る意見交換会 ・令和3年10月 兵庫県 知事要望書説明・予算要望 ・神戸市議会議員 要望書説明・予算要望 ・令和3年12月 兵庫県予算編成に対する重点要望 ・令和4年3月 兵庫県予算編成に対する要望回答意見交換会 ・准看護師研修会 令和3年12月8日 参加者15名 「准看護師のための看護過程と急変対応」 ・准看護師の現状把握、進学に関する情報提供 ・医療事故調査支援委員会への出席 相談件数4件
---	---

(2) 医療安全研修の実施（支部研修は除く）	・医療安全管理者養成研修（再掲） 令和3年9月30日、令和3年12月16日 ・医療対話推進者養成研修（再掲） 令和3年9月19日、9月25日、9月26日
(3) 神戸市医療安全推進協議会への出席	・神戸市医療安全推進協議会への出席 令和3年11月26日

3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

〈重点3〉 定款第4条第1項第3号

(46,664千円)

患者や利用者が安心して療養生活を送ることができるよう、全ての看護職が安心して働き続けられる労働環境を整備し、確保・定着促進を図ることで看護師不足を解消し、地域の医療資源の充実を図ることにより、人々の健康及び福祉の増進を図る。

事業内容	実施状況
1) 働きやすい職場環境づくりに関する事業 〈重点3〉 (1) ヘルシーワークプレイスの推進 ①看護職の健康と安全に配慮した、労働安全衛生ガイドラインの周知 ②ヘルシーワークプレイス推進のための企画・運営 ③関連機関との連携の強化 (2) 働き方改革に伴う、労働環境改善の取り組み施設の紹介	ヘルシーワークプレイス推進委員会主催研修(全2回) ・「コロナ禍におけるヘルシーワーク推進～現場の課題の共有および情報提供～」 令和3年8月24日 神戸朝日病院・兵庫県立尼崎医療センター 「コロナ禍における看護管理実践報告」+グループディスカッション45名参加（オンライン） ・ヘルシーワークプレイス推進研修会 令和4年1月27日 137名参加(オンライン/来館) 「医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 WLB チャレンジ」報告 「叱り方が変われば、組織が変わる」講演 ・広報誌「看護ひょうご」(令和4年春号)に「ヘルシーワークプレイス推進研修～看護職が働き続けられる職場を目指して～」掲載 ・「医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 WLB チャレンジ」報告（再掲）
2) 看護職の確保定着の促進に関する事業 〈重点3〉 (1) 看護職の確保の促進に関する事業 ①求職者および求人側への無料就業斡旋（マッチング業務） ②地域における看護師確保の推進	・NCCS での求職情報の登録・管理・利用者支援 令和3年度新規登録者数 3,389名 ・プラチナナースの確保及び活用支援 施設（介護施設・訪問看護ステーション・未登録施設） 訪問施設数：23施設

③相談機能の充実に関する事業

④ナースセンター

(支所及びサテライト含む) 広報の継続

⑤ホームページを用いた広報の継続

⑥ハローワークとの連携強化

⑦二次保健医療圏域における行政と連携した
確保定着対策の強化

3) 看護師等の需要・就業動向の実態把握に
関する事業〈重点3〉

(1) 届出者への情報提供

(2) プラチナナースの確保及び活用

①プラチナ世代を人的資源として活用

②個人会員へのスムーズな移行のための支援

・**新** COVID-19に係るワクチン接種人材確保業務

COVID-19ワクチン技術研修

本所31回 計341名受講

サテライト北播 6回 12名参加

・ワクチン接種業務就業準備金給付申請手続き
申請書発行: 2,418名

・本所・支所・サテライトの相談体制の充実

新看護管理者支援のための相談 5件

看護なんでも相談 延 6,922件

メンタルヘルス相談 延 51件

認知症・高齢者専門相談 延 158件

・「県民だよりひょうご」行政広報紙

公共交通機関および駅内への広告掲載3か所、
ラジオ放送広告1か所

・本会ホームページに特設バナーの設置

・SNSの周知とフォロワー獲得

・看護相談員による出張相談 総数 215件

ハローワーク神戸: (月2) 58件

ハローワーク姫路: (月1) 13件

ハローワーク西宮: (月1) 54件

ハローワーク加古川: (月1) 40件

ハローワーク伊丹: (月1) 27件

ハローワーク尼崎: (月1) 9件

ハローワーク明石: (月1) 14件

・二次保健医療圏域で開催される委員会検討会等への
参加 年2回

・行政との情報交換 3回 (医務課・労働局)

・とどけるん届け出状況 (新規) 705件

(令和2年度799件)

・届け出制度 (とどけるん) の普及・啓発、研修・イ
ベント情報の提供 (毎月)

・施設代表者会等での広報活動・離職時登録の案内

・相談対応、就業支援 中止

・研修企画・実施 中止

・就労支援 中止

・プラチナナース支援研修

令和3年10月28日

雇用責任者とプラチナナースから情報交換会
20名参加

令和4年1月20日

働き続けるためのキャリアアップと多様な働き
方 (訪問看護ステーション) 9名参加

・**新**プラチナナース就業支援のための交流会 (支所)

令和3年12月14日

(3) <u>新</u>兵庫県保健師バンクの機能強化 (4) 令和2年度看護職員需要・離職調査の実施 4) 看護職の就業の促進に関する事業 〈重点3〉 (1) 看護職復職支援研修の実施 1日コースの開催（シリーズ化） 1クール3回 (2) 施設で実施する復職支援研修の支援 (3) 本所合同就職説明会 就職に関する相談、訪問看護師になる為の相談コーナー等の設置 (4) 支部合同就職説明会開催の支援 (5) 看護基礎技術研修およびBLS研修の開催（本所） (6) 看護基礎技術研修（採血・静脈注射）の開催（支所） ・姫路支所 ・サテライト北播 (7) BLS研修の開催（支所） ・姫路支所 (8) ナースセンター活動の強化（若年世代へのアプローチ）	プラチナナース交流会 in 姫路 6名参加 ・プラチナナース雇用一覧表の作成と送付 60歳以上雇用を歓迎するeナースセンター登録施設：100施設（令和2年度 50施設） ・セカンドキャリア登録者への再登録の案内 登録者 142名（令和2年度 97名） ・<u>新</u>保健師バンク登録の啓発、IHEAT登録の推進 ・<u>新</u>登録者の名簿管理、IHEAT登録者管理 保健師バンク登録：257名 IHEAT登録：219名 ・<u>新</u>保健師バンク研修交流会 令和4年2月14日 参加者19名 COVID-19における保健師バンク登録者の活動報告 調査期間：令和3年4月～6月 回答率：病院92.5%、施設：44.6% 報告書冊子の作成・配布 1日コース開催数を増やし参加しやすい体制整備 ・5日間コース 年1回 定員30名 ⇒中止 ・1日コース 年3回 9日間 128名受講 協会ホームページ掲載 研修企画支援 令和3年9月中止 令和4年2月4日開催 27施設18名参加 ・阪神南圏域合同就職説明会 72名参加 ・北播磨圏域合同就職説明会① 中止 ・北播磨圏域合同就職説明会② 中止 ・中／西播磨合同就職説明会 25施設 90名参加 ・看護基礎技術研修：年35回 120名参加 ・BLS研修：年35回 58名参加 ・姫路支所：年36回 41名参加 ・サテライト北播：年36回 20名参加 ・年7回 16名参加 ・看護専門学校・看護系大学へ出張講義 9校 430名参加 ・高校・中学の進路指導の教師への看護進学に関する情報の提供 令和3年6月25日 18校 19名参加
---	--

3の関連事業

- (1) 看護職員離職防止対策研修の実施
看護職員離職防止のための看護管理者研修
- (2) 関連団体主催の就職説明会への参加
- (3) 関連会議への出席

令和3年11月26日 70名参加

福祉人材運営委員会への出席

4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業 〈重点2〉

定款第4条第1項第4号

(357,693千円)

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう訪問看護や居宅介護支援事業等を実施するとともに、まちの保健室事業等様々な場で健康相談に応じることにより、県民自ら取り組む健康づくりを支援する。

事業内容	実施状況
1) 地域看護活動の開発と推進に関する事業 〈重点2〉	
(1) まちの保健室事業の推進	
①拠点、出前相談、講座等の活動の強化	活動拠点118カ所 開催件数46件 出前隊70件
②県民のライフサポーターとしての「まちの保健室」拠点の拡充	
③理学療法士会・栄養士会・歯科衛生士会・薬剤師会等関係団体・他職種との協働の強化	
④看護ボランティアの確保と質向上	・ボランティア対象研修会 令和4年2月19日 30名参加 テーマ「まちの保健室」過去から未来へ～ボランティア活動を支えるものは～ 兵庫方式「まちの保健室」始まりから今日まで ～つくり・ふりかえり・つなぐ～ 講師：但馬支部コーディネーター 西垣悦代 氏 「まちの保健室と私」語り継ぐ意味 ー誇りと勇気をー 講師：但馬支部コーディネーター 原田琥珀美 氏 グループディスカッション 病院として「まちの保健室」委員会を設置し「まちの保健室」活動の支援体制を構築された、管理者の話 中止
(2) 神戸市委託事業	テーマ：フレイル予防 令和3年7月8日 25名参加 講師：兵庫県理学療法士会 副会長 山本克己 氏 サポーターへの新型コロナウイルス感染症関連資料提供
①サポーター研修（公開講座）開催	
②いきいき健康サポート事業実施の強化	神戸市内3拠点でのサポート事業 ・いきいきサポーター（看護職等） 延べ25名 相談者延べ103名 サポーター希望13名応募 新規登録2名

③新シニア健康相談ダイヤル事業 ④地域拠点型一般介護予防事業における介護 予防講座支援事業 (3) 認知症・高齢者に関する電話相談の継続 (4) 地域包括ケアシステムの推進 地域別看護職員ネットワークづくり事業 (再掲) (5) 在宅看護体制機能強化 新訪問看護総合支援センター ①センター運営に関すること 普及啓発 訪問看護事業所の実態調査 ②訪問看護師確保・定着促進 新卒看護職者支援 訪問看護普及・啓発 ③訪問看護人材育成 ・訪問看護管理者研修 ・訪問看護導入研修 ・機能強化型訪問看護ステーション普及 セミナー ④相談（開設・経営・労務管理等） ⑤ネットワークを活用 / 構築による支援セン ター事業の充実 ・多職種メンバーによる訪問看護推進会議 開催 ・訪問看護ステーション連絡協議会との連 携	・令和3年11月～ 週5日実施 相談延べ件数 1,619件 ・相談員対応力向上研修「電話相談の考え方・実践」 講師：臨床心理士 大森美恵 氏 介護予防講座：延べ件数 95件 週2回 延べ件数 140件 地域の現状に応じて支部での企画実施 ・チラシの配布（理事会、令和3年11月定期発送） ・本会ホームページ掲載 ・兵庫しごと生活支援センターとの協働による勤務環 境改善のための調査内容の検討 ・訪問看護事業所実態調査・分析で課題抽出 ・新設事業所を対象とした実態調査5事業所 ・他施設間における新卒看護職交流会 令和3年10月26日 参加者4名 ・新卒訪問看護師育成プログラム改訂 ・就職説明会でのブース開設、新卒看護師募集チラシ 配布 新任管理者研修 令和3年10月9日 39名参加 労務管理 令和3年10月16日 15名参加 地域で取り組む看護職のキャリア支援 令和3年11月27日 9名参加 ・導入研修 令和3年5月29日 60名参加 令和3年10月30日 32名参加 ・訪問看護からはじめる小児看護 令和3年8月7日 19名参加 相談件数：154件 訪問看護推進会議 年4回 議題・情報共有 ・訪問看護でのCOVID-19関連の状況 ・新卒訪問看護師、指導者等の交流会の開催 ・合同就職説明会への参画 ・離職防止 ・看護小規模多機能型居宅介護事業所の普及推進 ・ICTによる情報共有 ・訪問看護現場の課題 ・ワーキンググループによる新卒訪問看護師育成プ ログラムの見直しと指導者用ガイドの作成 訪問看護ステーション連絡協議会合同会議 7回/年 開催
--	---

⑥訪問看護師・訪問介護員の安全確保・離職防止対策 ⑦新看護小規模多機能型居宅介護の設置推進及び啓発に関する委託事業(日本看護協会) ⑧訪問看護ステーション連絡協議会事務局 (6) チーム医療推進に関する事業 〈重点2〉 ①多職種参加型支部共同研修の実施 ②先駆的な地域連携推進事例報告 ③看看連携研修の実施 ④特定行為に係る看護師の研修制度の推進 (7) 看護提供体制の推進 〈重点2〉 ①保健師助産師看護師支部交流会の実施 ②地域別看護職員ネットワークづくり事業 ③地域包括ケアにおける看護提供体制の構築 ～ JNA の取り組み～	安全確保のための検討会の開催、研修会実施、相談窓口設置 ・相談件数：18件 ・会議：年3回 ・研修：年2回 講義型：令和3年10月16日 184名 体験型：令和4年2月19日 29名 訪問介護9事業所、訪問看護4事業所、居宅介護支援2事業所 実態調査 ・県内における看多機に関するニーズ把握 ・訪問及びオンライン、電話による面談調査 3事業所、1市 看多機設置推進・普及啓発委員会設置 看多機の普及啓発のための研修会 『これからの在宅療養を支えるものは？～医療拒否により急遽退院し、看多機で心身の状態が改善した事例～』 令和4年2月15日 参加者109名 普及啓発 チラシ配布 総会・理事会・訪問看護部会の準備 「看護ひょうご」に連載 地域ケア・地域看護推進委員会において、支部ごとの地域連携リスト作成（支部内共有） 看看連携研修の実施 特定行為に係る研修修了者の実践報告 令和4年3月19日 36名参加
2) 訪問看護ステーションに関する事業 〈重点2〉 (1) 協会立訪問看護ステーションの運営 ①尼崎訪問看護ステーション ・訪問看護・居宅支援・訪問介護一体運営によるサービスの充実 ・実習及び体験実習の受け入れ強化 ・機能強化型訪問看護ステーションとしての役割の推進 ・尼崎市認知症集中支援チームとしての活動	・看看連携研修生受け入れ 中止 ・看護学生・医大生の受入れ 25名 ・セカンド実習の受入れ 3名 ・医療機関の実習の受入れ 13名 ・体験実習の受入れ 1名 ・まちの保健室活動 自粛 ・教育ステーションの役割遂行 ・地域小規模ステーション看護師・管理者の育成

・教育ステーションとしての活動 ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 ②神戸訪問看護ステーション ・訪問看護・居宅支援一体運営によるサービスの充実 ・実習及び体験実習の受け入れ強化 ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 ③出石訪問看護ステーション ・訪問看護サービスの充実 ・自習及び体験実習の受け入れ強化 ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 3) 在宅ケアサービスの推進に関する事業 〈重点2〉 (1) 日本訪問看護財団との連携 (2) 訪問看護 e-ラーニング受講者への支援 (3) 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会との連携 ①兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会事務局を担当 (4) 介護職員等の医療的ケア指導者研修の実施 〈重点2〉	・認知症集中支援事業の役割遂行 ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 ・看看連携研修生受け入れ 中止 ・看護学生・医大生の受入れ 20名 ・認知症看護認定看護師教育課程 2名 ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 ・看看連携研修生受け入れ 中止 ・看護学生・医大生の受入れ 5名 情報収集および事業所への発信 訪問看護総合支援センター連絡協議会合同会議開催 7回/年 内容：県内訪問看護事業所の課題の明確化、改善案の検討 総会事務 理事会、訪問看護部会事務 1) 介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会 ①令和3年7月7日・8日 受講者数20名 ②令和3年12月22日・23日 受講者数58名 2) 介護職員によるたん吸引等研修事業指導者講習会 フォローアップ研修 令和4年3月12日 受講者数11名
--	---

5. 災害・健康危機支援に関する事業 〈重点4〉 定款第4条第1項第5号 (109,308千円)

災害や健康危機発生時の看護活動支援に備え、平時から県・市町や日本看護協会、関係団体とのネットワークや連携を図り、体制の整備と受援・支援活動を行うことにより、県民の命と健康を守る。

事業内容	実施状況
1) 災害時看護に関する事業〈重点4〉 (1) 災害・健康危機管理体制基盤の構築 ①健康危機対策委員会の開催	年6回 ・地域における連携支援体制構築、有事に備え体制強化 ・健康危機関連規定集の見直し ・災害支援ナース登録推進・育成研修 ・地域防災訓練への参加。住民へ減災教育、防災力強化

②兵庫県看護協会健康危機体制の整備 ・災害に係る物品の備蓄と整備 ・協会内災害防災訓練の実施 ③支部での体制整備の推進 ・支部における健康危機対策の強化 ・支部における連携構築の推進 ④施設での体制整備の推進 ・事業継続計画（BCP）マニュアルの検討支援 ⑤新型インフルエンザ等感染症対策（体制整備、人材育成等）	・新型コロナウイルス等感染症研修会 ・協会内災害訓練の実施 防災センター指揮所訓練参加 ・協会内安否確認訓練 ・協会内 BCP の作成検討 ・アクションプランの周知確認 ・協会感染対策職員研修 令和3年8月3日、6日 ・支部における災害・健康危機ネットワーク強化 ・圏域内の関係会議、防災訓練への参画 受援マニュアル策定ガイドの配布普及 新型インフルエンザ感染症対応研修 1回 令和3年10月28日 「クラスター発生時の病院の対応と経験からの学び」 講師 荻原みさき病院 看護部長 深井功一郎 氏
（2）新型コロナウイルス感染症対応 ①自宅待機者に対するフォローアップ体制の強化 ②障害者支援施設等の感染防止対策のための相談・支援 ③神戸市新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種業務 ④沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部への職員派遣	・新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康観察（兵庫県委託事業） 期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 観察対象者数 164,219名 対応看護職等 延べ 2,292名 ・社会福祉施設等の感染者発生時における初動体制構築のための感染管理認定看護師等の派遣（県補助事業） 派遣協力感染管理認定看護師登録者 62名 施設からの要請により派遣 派遣者数 33名 派遣した高齢者施設 25施設 派遣した福祉施設 8施設 ・高齢者施設感染対策支援リソースナース講師派遣（県補助事業） 派遣者数 35名 ・高齢者施設の感染対策相談（県補助事業）相談件数 49件 ・福祉施設等の感染対策相談（県補助事業）相談件数 28件 ・神戸市新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種（神戸市委託事業） 期間 令和3年4月～11月 派遣人数 実人数106名 延人数2,185名 ・沖縄県の医療人材不足に対応する職員派遣（沖縄県との協定事業） 期間 令和4年1月24日～2月28日 派遣人数 1名

⑤神戸市新型コロナウイルス感染症軽症者等 宿泊療養施設業務 (3) 災害看護研修、災害支援ナース育成研修等 (4) 災害支援ナース活動支援 (5) 地域における防災訓練・連携会議への参加 (6) まちの保健室等での地域住民への防災・減 災教育の推進	・神戸市宿泊療養施設への看護師派遣（神戸市との協 定事業） 派遣人数 2名 延べ回数 38回 ・災害医療と看護（基礎編） ・災害支援ナース登録者ブラッシュアップ研修 ・災害支援ナースの指導的役割が果たせる人材の育成 と訓練等を通じた実践能力の向上 ・災害看護研修 1回 ・災害支援ナース養成研修（基礎編）4回 参加者 110名 ・災害支援ナース養成研修（実践編）2回 参加者88 名 ・災害支援ナース研修交流会 1回 119名 ・災害支援ナース企画指導者研修への派遣 2名 ・JMAT 実践研修への派遣 6名 ・地域における減災教育教材の活用 ・近畿府県総合防災訓練への派遣 8名 ・神戸市総合防災訓練への派遣 7名 ・関係各団体等へ災害支援ナースの広報による災害支 援ナースの活動拡大 ・災害支援ナース交流会の開催 ・災害支援ナース登録システムの活用 防災・減災教育グッズの作成（パネル、チラシ等） 中止
2) 健康危機発生時への対応整備に関する事 業〈重点4〉 (1) 日本看護協会との連携 (2) 近畿地区看護協会災害支援活動の推進 (3) 兵庫県防災協定による活動 (4) 市町等の防災訓練、防災会議への参加 (5) ひょうご安全の日推進県民会議との連携	・災害看護担当者会議への出席 令和3年12月16日 オンライン ・災害支援ナース派遣調整合同訓練 令和3年11月9日～11日 ・会員施設の参加（連絡体制の確認等） ・近畿地区看護協会災害看護担当者会 年1回開催（兵庫県が担当県） 令和4年3月4日 オンライン ・兵庫県防災会議への出席および役割遂行 ・合同防災訓練に係る会議への出席 ・合同防災訓練への参加 ・近畿府県総合防災訓練 令和3年12月5日 淡路市 ・神戸市総合防災訓練 令和3年12月5日 東灘区魚崎小学校 支部代表の参加 地域での連携体制推進 ・ひょうご安全の日推進県民会議への出席 ・ひょうご安全の日1.17のつどいへの参画〔式典のみ〕 ・災害支援ナースの救護所等開設訓練への参加 中止 ・開催地の支部からの訓練への参加 中止

(6) 新型インフルエンザ等に係る会議への出席 (7) 日本災害看護学会等学会との連携 (8) 兵庫県医師会との連携	・災害支援ナースの参加 中止 ・DMATチームのトリアージ訓練に参加 中止 ・県民への防災減災の周知 中止 ・兵庫県新型インフルエンザ等対策有識者会議への出席 ・神戸市新型インフルエンザ等対策行動計画有識者会議への出席 ・神戸市新型インフルエンザ対策協議会への出席 ・組織委員会としての活動継続：第23回年次大会 ・JMAT の要請により災害支援ナースを派遣 なし ・JMAT 実務者研修への派遣 6名 中止
---	--

6. 看護の国際交流に関する事業 (0千円)

海外の同職能団体等との交流や国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）神戸センターとの連携を図り、看護の国際交流を推進する。

事業内容	実施状況
1) 外国人看護師候補者受け入れに関する事業 (1) WHO 神戸センター協力員会委員および幹事として役割遂行	・WHO 神戸センター協力委員会への出席
2) 他国看護学会等との連携に関する事業 (1) JICA 海外研修生の研修協力	・バングラデシュ看護サービス人材プロジェクトへの協力

7. 看護の普及啓発に関する事業＜重点5＞ (5,929千円)

「看護の日」記念事業や介護の日の関連事業（看護フェア）を通して、将来看護現場を支える若い世代を含め、広く県民に「看護のこころ」、「ケアのこころ」等看護に対する理解と関心を深め、県民の公衆衛生の向上を図る。

事業内容	実施状況
1) 看護教育制度の広報に関する事業 (1) 進学説明会の実施 (2) 進学希望者へのパンフレットの送付 (3) 就職フェアにおける進学希望者への相談対応 (4) 高等学校進路指導担当者説明会の実施	年1回開催 定員200名 ・令和3年7月18日、25日 参加者：72名 高等学校：5校 個人：30名へ送付 ・令和3年6月26日 18校19名参加
2) 看護のこころ普及に関する事業 (1) 看護の日週間事業イベントの開催 (2) ふれあい看護体験事業の実施	令和3年5月15日 ～伝えよう看護の力 とともに歩もう兵庫県民へ ・年1回開催 実施：14施設 参加者数：210名

(3) 看護フェアの開催 (4) 看護の出前授業の強化 (5) 看護専門学校、看護系大学への出張講義 (6) ナースの訪問授業 関連事業 (1) 兵庫県看護大会 (2) 神戸市看護のともしび賞表彰式	・令和3年11月13日～令和4年3月末 本会を含む他団体の動画16本を配信 再生回数：16,838回 中学校、高等学校への出前授業 12校（高等学校：4校、中学校：7校、小学校：1校） 参加者：874名 9校 参加者：430名 18校（高等学校：18校） 参加者：467名 令和3年7月15日 兵庫県公館 ともしび賞令和3年度は実施なし
--	---

8. 施設の貸与に関する事業 (482千円) **定款第4条第1項第8号**

本会の事業に支障のない範囲で、広く公益的事業を実施する団体等に施設を貸与することにより、地域社会への貢献を図る。

事業内容	実施状況
(1) 会館管理協議会 (2) 教育設備・備品の整備 (3) 設備等定期検査 (4) 建物施設の管理運営（警備・清掃・防災） (5) 維持・修繕	

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業 (325,090千円) **＜重点＞ 定款第4条第1項第9号**

定時総会、理事会、支部活動や関係団体との連携等を通じて協会の円滑な運営を図り、会員にとってさらに魅力のある看護協会を目指し、事業活動の充実と組織の強化を図る。

事業内容	実施状況
1) 円滑な組織運営〈重点5〉 (1) 組織運営のための諸会議の開催 ①定時総会・職能集会 ②理事会	・令和3年6月17日 兵庫県看護協会会館 ・令和3年4月10日 ・令和3年5月22日（午後：JNA 代議員会） ・令和3年6月17日（定時総会、職能集会） ・令和3年7月3日（午後：委員会理事会合同会議） ・令和3年8月19日（午後：施設代表者会） ・令和3年10月2日（午後：看護連盟合同会議） ・令和3年11月6日 ・令和3年12月4日（午後：委員会理事会合同会議） ・令和4年1月22日 ・令和4年3月3日（午後：施設代表者会） ・令和4年3月19日

③業務執行理事会 ④職能委員会（保健師・助産師・看護師 Ⅰ・Ⅱ） ⑤委員会 ⑥理事・委員会合同会議 ⑦施設代表者会 ⑧支部会員会	・令和3年8月17日 ・令和3年9月28日 ・令和3年11月2日 ・4職能委員会 令和3年6月17日職能集会 ・12委員会 ・令和3年7月3日 ・令和3年12月4日 ・令和3年8月6日 ・令和4年3月3日 ・阪神南：令和3年2月10日（オンライン併用） ・阪神北：令和4年2月25日（会場のみ） ・神戸東部：令和4年2月22日（オンライン併用） ・神戸中部：令和4年2月17日（オンライン併用） ・神戸西部：令和4年2月25日（会場のみ） ・東播：令和4年2月19日（会場のみ） ・北播：令和4年2月11日（オンライン併用） ・西播：令和4年2月19日（オンライン併用） ・但馬：令和4年2月12日（オンライン併用） ・令和3年5月29日（オンライン開催）
（2）代議員 ①代議員会 ②支部会員会において代議員・予備代議員選出のための支援	
（3）支部との連携、支部間の連携強化 ①支部担当事務の配置と連携 ・支部会員会等関連会議への出席 ・支部運営マニュアルの適宜見直し ・電話等による支部活動支援 ②支部運営会議、支部会員会、支部委員会への支援 ③助成金の交付	
（4）日本看護協会諸会議への出席 ①通常総会・全国職能別職能集会 ②理事会 ③地区別法人会員会 ④都道府県職能委員長会議 ⑤全国職能別集会 ⑥都道府県支部役員等研修会 ⑦その他会議	・令和3年6月9日 千葉県幕張メッセ(オンライン) ・年5回 ・令和3年10月25日、26日 和歌山県 ・令和3年7月7日、令和4年3月3日 ・政策責任者会議、事務担当者会議、会員情報管理担当者会議、教育担当者会議、医療安全推進会議、准看護師制度担当役員会議、日本看護学会運営会議、広報担当者会議、災害担当者会議、訪問看護担当役員会議、ナースセンター事業担当者会議
（5）関係団体との連携・協働 ①看護協会	・近畿府県看護協会人材育成担当者会議 ・近畿府県看護協会災害担当者会議

日本看護協会、近畿2府4県看護協会、他
都道府県看護協会

②兵庫県看護学校協議会

③兵庫県助産師会、日本精神科看護協会兵庫
県支部

④日本看護連盟、兵庫県看護連盟
兵庫県看護連盟との役員合同会議

⑤医療・福祉・介護関連団体

- ・兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、
兵庫県薬剤師会
- ・兵庫県医療職団体協議会(放射線技師会、
臨床検査技師会、栄養士会、臨床工学技
士会、理学療法士会、歯科衛生士会、作
業療法士会、言語聴覚士会、薬剤師会、
介護支援専門員協会)合同研修
- ・兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会
- ・介護・福祉関係団体

⑥行政

- ・兵庫県、神戸市、西宮市、姫路市、尼崎
市、明石市、各市町、兵庫労働局、ハロー
ワーク等
- ・関西広域連合 ほか

2) 協会組織の強化〈重点5〉

(1) 会員数増加の促進

- ①施設訪問 未加入者への働きかけ
- ②看護系大学・看護専門学校への出前授業等
による働きかけ
- ③看護系大学・看護専門学校の入学式・卒業
式等への出席および祝電・メッセージ
- ④兵庫県看護協会の実習等の積極的受入れ

(2) 新入会員研修の実施

3) 広報活動〈重点5〉

(1) 広報活動の充実に関する事業

広報委員会による広報活動の推進

(2) 広報誌等による広報

(3) ホームページの効果的運営

- ①理事会議事録(要約)の掲載

- ・近畿府県看護協会人材確保・定着担当者会議
- ・近畿地区看護協会事務局長会議

・幹事団体：兵庫県看護協会

令和4年2月12日 医療職団体合同研修会

「新型コロナウイルス感染症 コロナ禍の医療職
の活動報告」

特別講演：「兵庫県の新型コロナウイルス対策」

兵庫県健康福祉部感染症等対策室長 山下輝夫 氏

・関西広域連合協議会

・関西広域連合関西女性活躍フォーラム

・施設訪問

・看護系大学・看護専門学校への出前授業

・入学式・卒業式等への出席、祝辞対応

・神戸市看護大学 看護管理学実習

・新入会員研修に代えて看護協会紹介動画作成 YouTube 配信

・協会活動の紹介動画作成 YouTube 配信

・「看護ひょうご」の発行

(年4回発刊：新春・春・夏・秋)

・広報誌「看護ひょうご」のホームページ掲載

・協会ガイドの発行

・県民向け広報誌「ささえ」vol. 8の発行

・「看護師をめざすあなたへ」冊子配布拡大

・セカンドキャリアの活用促進

・保健師バンクの活用促進

②看護関連情報および協会の事業活動の更新 ③ホームページ上の各支部ページの充実 ④ホームページの活用に関する評価 (4) マスコミを通じた広報活動 ①取材依頼への積極的対応 ②協会事業のマスコミへのPR活動 (5) 社会貢献活動の広報 ①関連イベントへの協力 (6) 「看護の日・看護週間」事業による看護の心の普及促進 (7) 会員募集（新入会・継続入会）に関する広報	・登録推進と協会事業への参画 ・総会、研修会、イベント等への参加への働きかけ
4) 会員の表彰・福利厚生等 (1) 叙勲・表彰等候補者の推薦 (2) 兵庫県看護協会会長表彰等の実施 (3) 慶弔見舞、災害見舞 (4) 看護職賠償責任保険制度加入の推進 (5) 協会・支部出務に係る保険運用	・叙勲・褒章 ・日本看護協会会長表彰 ・兵庫県看護功績賞 ・神戸市看護のとしび賞 ・名誉会員 ・兵庫県看護協会会長表彰 ・兵庫県看護協会会長感謝状 ・まちの保健室ボランティア表彰 等 会員の福利厚生 ・慶弔見舞 5 件 ・災害見舞 0 件 職員研修会 メンタルヘルス研修 メンタルヘルスチェックシート

令和 3 年度 新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県看護協会の取り組みの概要

1 新型コロナウイルス対応の看護職確保

本会では、コロナ感染者の療養を支援するため、医療機関、高齢者介護施設、訪問看護ステーション、健康福祉事務所（保健所）などに加えて、各種相談窓口、ワクチン集団接種会場、宿泊療養施設等臨時で設置される施設など、感染拡大に伴い、様々な施設において多くの看護職の確保が必要とされた。対応する看護職の確保のため、ナースセンターを中心に、e ナースセンター登録者、届出サイト「とどけるん」登録者、プラチナナース等に就業を働きかけたほか、本会ホームページ、マスコミ等を活用して潜在看護職を掘り起こし、再就業への働きかけを行った。

さらに、復職支援のための相談、マッチング、各種研修、交流会等を実施し、多くの潜在看護職の復職を支援した。

1) ナースセンター復職支援 新型コロナウイルス感染症対策のための潜在看護師確保

令和 3 年度

求職者数	求人数	紹介人数	採用数
983	639	986	512

*主な紹介先

医療機関、高齢者介護施設、健康福祉事務所（保健所）、ワクチン集団接種会場、宿泊療養施設、自宅療養者健康観察、各種相談対応、県外派遣 等

2) 新型コロナワクチン接種筋肉注射技術研修

本会会館 実施回数：31回 受講者数：341名

ナースセンター・サテライト北播 実施回数：6回 受講者数：12名

内容 ・「新型コロナウイルス感染症について」
・「接種会場の業務」
・「上腕三角筋への筋肉注射」
・「ワクチンの取扱い」
・「アナフィラキシーショックへの対応」

3) 保健師バンク登録・IHEAT 登録支援（県補助事業）

災害・健康危機時に協力できる保健師の登録制度を開始し、コロナ禍での保健師不足に対する支援体制の仕組みづくりにつながった。

（1）登録者数（令和 4 年 3 月 31 日現在）：260 名

（2）復職紹介先：

健康福祉事務所（保健所）、市町、新型コロナウイルス入院コーディネートセンター（CCC）、ワクチン集団接種会場、自宅療養者健康観察、各種相談対応等

（3）保健師バンク登録者交流会

令和 4 年 2 月 14 日 参加者：19 名

内容 ・「保健師バンク・IHEAT について」 兵庫県健康福祉部健康増進課 中前日里 氏
・「保健師バンク登録状況」 兵庫県ナースセンター 太期美恵子
・シンポジウム 座長：兵庫県看護協会 西口久代
活動報告 「保健所応援の立場から」 美濃千里 氏
「自宅療養者健康観察応援の立場から」 山田雅子 氏
「コールセンター応援の立場から」 鳥居久美子 氏

4) プラチナナース交流会

令和3年10月28日 参加者：20名

内容 「積み重ねてきたキャリアを活かそう」

西宮敬愛会病院

岡光光代 氏

小規模特別養護老人ホーム花の森

長友幹夫 氏

訪問看護ステーション神楽

合志美代子 氏

兵庫県ナースセンター

太期美恵子

令和4年1月20日 参加者：9名

内容 「積み重ねてきたキャリアを活かし、ずっとずっと大好きな看護を続けよう」

兵庫県看護協会

北野 貞

しあわせ訪問看護ステーション

山本みどり 氏

兵庫県ナースセンター

太期美恵子

セカンドキャリアナース登録数（令和4年3月31日現在） 143名

2 専門性の高い看護職の派遣

高齢者福祉施設等での感染症発生直後から感染拡大防止を図るために、平時から派遣協力が得られる感染管理認定看護師を登録、施設からの派遣要請があった場合に派遣調整を行い、早期に適切な感染防御の対応が行えるように支援する仕組みを兵庫県と協力して構築。多くのクラスターが発生し、初動期の感染管理認定看護師の派遣のほか、派遣が困難な状況下においては電話による個別支援等を行った。

また、少し落ち着いた時期には次の感染拡大に備えて、各施設の感染対策が強化されるよう、リソースナースを講師に派遣した。

1) 社会福祉施設等の感染者発生時における初動体制構築のための感染管理認定看護師等の派遣（県補助事業）

(1) 感染管理認定看護師の確保（施設代表、感染管理認定看護師の承諾を得てリストを作成）

登録者数（令和4年3月31日現在）：62名

(2) 施設からの派遣要請により感染管理認定看護師を派遣（看護協会で派遣調整）

派遣者数：33名

派遣した施設：高齢者施設 25、福祉施設 8

2) 高齢者施設感染対策支援 リソースナース講師派遣（県補助事業）

派遣者数：35名

派遣した施設：特別養護老人ホーム、老人保健施設、サービス付き高齢者向け住宅 等

3 新型コロナワクチン接種に関すること

県内の自治体からワクチン接種に向けて看護職の人材確保について依頼や相談があり、eナースセンターやホームページ等に情報を掲載するとともに、eナースセンター登録者にメールを配信して周知を図り、また、紹介を行うなどにより、看護職の確保に努めた。

また、ワクチン接種に従事する潜在看護師等を対象に技術研修の実施したほか、ナースセンター登録者で本会が実施した研修を受講しワクチン接種業務に従事した者を対象とする「就業準備金支援申請」に関する支援を行った。

一方、神戸市からの委託をうけ、大規模接種会場を含むワクチン集団接種会場7会場に、潜在看護師、大学教員、大学院生等の登録者の中から、各接種会場の看護師リーダーを含めて必要な人数を確保し、従事調製を行った。

- 1) 新型コロナワクチン接種に従事する潜在看護師確保
 - (1) 新型コロナワクチン接種筋肉注射技術研修（再掲）
 - (2) 兵庫県内集団接種求人への潜在看護師マッチング
- 2) 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保事業（日本看護協会補助事業）
 - (1) 潜在看護職等のワクチン接種業務への就業支援
 - (2) 就業準備金支給申請に関する支給対象者への支援
- 3) 神戸市ワクチン集団接種業務（神戸市委託事業）
 - (1) 潜在看護師等看護職の人員確保・従事調整
 期間：令和3年4月～11月
 派遣人数：実人数 106名 延べ人数 2,185名（13,545時間）
 派遣会場：BB プラザ、JR 灘駅舎、IHD ビル、キャンパススクエア、兵庫区役所、
 神戸ハーバーランドセンタービル、ノエビアスタジアム神戸
 - (2) 大学と連携した大学教員、大学院生等の従事調整

4 新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康観察事業（兵庫県委託事業）

兵庫県からの委託により令和3年2月から自宅療養者の健康観察を実施、健康観察アプリを活用して健康観察を行った。第5波においては1日に最大1,000人を超える療養者に対応したが、第6波ではそれをはるかに上回り、1日3,000人以上の療養者に対応した。

第4波、第5波、第6波のそれぞれの特色に応じて対応。病床がひっ迫する中、自宅での過ごし方をアドバイスし、急変の可能性があるとは判断したときには健康福祉事務所（保健所）に連絡し入院調整を行うなど、適切な対応を図った。

令和3年2月2日～6月30日（第3波末～第4波）	観察対象者総数	15,931名
	一日最大観察対象者数	568名（4月29日）
7月1日～12月19日（第5波）	観察対象者総数	47,016名
	一日最大観察対象者数	1,126名（8月31日）
12月20日～令和4年3月31日（第6波）	観察対象者総数	101,290名
	一日最大観察対象者数	3,159（令和4年2月2日）
計（令和3年2月2日～令和4年3月31日）	観察対象者総数	164,219名
対応した看護職等（4月1日～3月31日）	本会専門職	439名
	非常勤看護師	1,296名
	事務職	557名
	計	2,292名

5 神戸市宿泊療養施設への看護師派遣（神戸市との協定による事業）

神戸市との協定に基づき、宿泊療養施設の看護リーダーとなる看護職を確保し、派遣した。

派遣人数：実人数 2名 延べ回数 38回

6 沖縄県の医療人材不足に対応する職員派遣（沖縄県との協定による事業）

沖縄県の感染増加に伴う医療従事者の人材不足に対応するため、日本看護協会の広域人材派遣調整事業により、兵庫県から潜在看護師を1名、同県の宿泊療養施設に派遣した。

期間：令和4年1月24日～令和4年2月28日 派遣人数：1名

7 新型コロナウイルス感染症に関する各種相談（兵庫県委託・補助事業）

新型コロナウイルス感染症に関する各種相談を実施した。

- 1) 看護職向け「緊急メンタルヘルス電話相談」
- 2) 看護職向け「新型コロナウイルス感染症電話相談」
相談件数：27件
相談施設：病院、クリニック、精神科病院、訪問看護ステーション、養護学校、市役所 等
- 3) 「新型コロナウイルス感染症 看護職の電話 / メール相談」
- 4) 看護なんでも相談
- 5) 高齢者施設の感染対策相談
相談件数：49件
相談施設：特別養護老人ホーム、老人保健施設、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウス、
デイサービス 等
- 6) 福祉施設の感染対策相談
相談件数：28件
相談施設：就労事業所、障害者支援施設（身体・知的）、児童心理施設、障害者通所施設 等
- 7) 県民向け「まちの保健室電話相談」
相談件数：12件
相談内容：コロナについて、健康相談、メンタルヘルス 等
- 8) 訪問看護ステーション電話 / メール相談
相談件数：151件

8 新型コロナウイルス感染症に関する各種研修

看護職、介護施設等職員、県民等を対象に、新型コロナウイルス感染症に関する各種研修会を実施した。

- 1) Hyogo リソースナース net 研修会（認定看護師フォローアップ研修）
令和4年3月12日 受講者20名
内容：チームアプローチのためのコミュニケーションスキルトレーニング
佛教大学保健医療技術学部看護学科 教授 松岡千代 氏
- 2) 周産期における感染予防対策
令和3年11月26日 受講者17名
内容：「COVID-19感染症を踏まえて」
産科における感染予防対策、患者・家族のメンタルサポート 他
神戸市立西神戸医療センター 感染管理認定看護師 新井まゆ子 氏
- 3) 感染管理認定看護師交流会
令和3年7月27日 受講者26名
内容：クラスター初動支援に協力した ICN の活動報告、介護施設等の感染対策の課題
神戸協同病院 感染管理認定看護師 郭 華美 氏
ベリタス病院 感染管理認定看護師 西根昭吉 氏
北播磨総合医療センター 感染管理認定看護師 浅堀明美 氏
- 4) クラスター発生防止研修
令和3年7月12日 受講者9名
内容：高齢福祉施設における感染防止対策
協立病院 感染管理認定看護師 小川順子 氏

- 5) 感染対策エキスパートナース養成研修（ベーシックコースⅠ（3日間））
令和3年10月6日、10月15日、令和4年2月28日 受講者95名
内容：感染対策（隔離予防策）の基礎知識
自部署のラウンドの方法
演習 自施設の課題解決に向けたアクションプランの作成
川崎病院 感染管理認定看護師 萬井美貴子 氏
神戸市立医療センター中央市民病院 感染管理認定看護師 小倉明子 氏
- 6) 高齢者施設感染対策（BCP）研修
令和4年2月24日 受講者141名
内容：介護施設・事業所におけるBCP作成の基本事項（策定のポイント、手順）
姫路赤十字病院 感染管理認定看護師 八瀬和佳恵 氏
- 7) 新型コロナウイルス感染症対応研修（災害・健康危機対策委員会主催）
令和3年10月28日 受講者52名
内容：クラスター発生時の病院の対応と経験からの学び
萩原みさき病院 看護部長 深井功一郎 氏
- 8) 医療職団体協議会（本会主催）研修
令和4年2月12日 受講者108名
内容：新型コロナウイルス感染症 コロナ禍の医療職の活動報告
講演「兵庫県の新型コロナウイルス対策」
兵庫県健康福祉部感染症等対策室 室長 山下輝夫 氏
- 9) 支部での研修会 等

9 行政・関係団体との連携

兵庫県、神戸市、各種団体で開催された感染対策を検討する会議に参画したほか、連携や支援を行った。

- 1) 兵庫県知事及び県議会議長等への要望・渉外活動
- 2) 神戸市長及び市議会議長への要望・渉外活動
- 3) 兵庫県の関連会議への出席
- 4) 神戸市の関連会議への出席
- 5) 訪問看護ステーション勤務看護師のワクチン接種支援
- 6) 職域ワクチン接種への支援
- 7) 医療職団体協議会との連携

令和3年度業務執行理事会 協議・報告事項

1. 構成員:理事10名、事務局1名

2. 開催回数:4回

3. 開催状況

	日時	主な協議事項・報告事項	出席者数	
			理事	事務局
1	5月18日 17:00～18:00 (オンライン併用)	1 令和3年度職能集会・定時総会の運営方法について 2 2040年看護協会活動のあり方検討 3 新型コロナウイルス感染症に関する協会の取り組み 1)今年度の新型コロナウイルス感染症に関する協会の取り組みについて 2)ワクチン接種の体制確保に係る協力について	8	1
2	8月17日 16:00～17:30 (オンライン併用)	1 令和3年度総会・職能集会の評価、令和4年度総会・職能集会について 2 新型コロナウイルス感染症の取り組みの記録集の作成について 3 会員増の取り組みについて	8	1
3	令和3年9月28日 16:00～17:30 (オンライン併用)	1 令和4年度職能集会・定時総会について 2 令和4年度・5年度委員会の検討 3 新入会員確保強化プロジェクトチームについて 4 新型コロナウイルスに対する兵庫県の看護職の取り組み記録 5 近畿地区別法人会議について 6 母子のための地域包括ケアシステム推進会議について 7 その他連絡事項	9	1
4	<臨時> 令和3年11月2日 16:00～17:30 (オンライン併用)	1 令和3年度重点方策事業評価(案)・令和4年度重点方策事業(案)について 2 令和4年度・5年度委員会の検討 3 令和4年度職能集会・定時総会プログラムについて 4 その他連絡事項	8	1

令和3年度理事会 協議・報告事項

1. 構成員:理事20名、監事3名
2. 開催回数:11回
3. 開催状況

	日時	主な協議事項・報告事項		出席者数	
				理事	監事
1	4月10日 10:00～12:15 (オンライン併用)	<協議事項> 1 兵庫県看護協会謝金規程等の一部改正について 2 兵庫県看護協会受講規約の一部改正について 3 令和3年度改選役員候補者の推薦について(追加) 4 令和3年度支部代表補佐の選任(案)について 5 兵庫県看護協会会長感謝状贈呈候補者の推薦(追加)について(案) 6 令和3年度兵庫県看護協会定時総会・職能集会の運営について 7 令和3年度定時総会に向けた代議員会について <報告事項> 1 令和3年度改選役員候補者の推薦について 2 令和3年度日本看護協会代議員研修会について 3 新オンライン研修システム登録状況の報告 4 リソースナース登録状況の報告 5 ホームページでの県民向け情報提供の強化 6 会館内ネットワーク更改工事の終了 7 令和2年度副会長活動報告		19	1
2	5月22日 10:00～12:30 (オンライン併用)	<協議事項> 1 令和2年度決算報告(案)及び監査報告 2 令和3年度各委員会の委員の選任について(案) 3 令和3年度支部代表補佐の選任について(案) <報告事項> 1 日本看護協会理事会報告 2 2022(令和4)年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者について 3 令和3年度兵庫県看護協会定時総会・職能集会について 4 新型コロナウイルス感染症関連業務の状況について 5 令和3年度日本看護協会代議員研修会(5月22日(土) 13:30～16:00)		19	2
3	6月17日 16:15～16:30	<協議事項> 1 理事の役職選定の件について 2 専務理事代行者の順序決定の件について <報告事項> 1 専務理事及び常務理事の担当業務決定の件について		20	2
4	7月3日 10:00～12:30 (オンライン併用)	<協議事項> 1 兵庫県看護協会活動のあり方(案)について 2 令和4年度政府・兵庫県・神戸市予算編成に対する最重点要望事項について 3 役員選任関係規程の整備について 4 令和3年度各委員会の委員の選任について 5 令和3年度支部代表補佐の選任について <報告事項> 1 日本看護協会理事会報告 2 令和3年度定時総会・職能集会報告ならびに令和3年度改選役員選出選挙結果報告 3 令和3年度理事・支部・委員会合同会議について 4 兵庫県看護協会 謝金基準の改定について 5 Hyogoリソースナースnetについて 6 令和3年度第1回施設代表者会(8月19日(木)午後開催)について 7 令和3年度兵庫県看護大会(7月15日(木)午後開催)について		20	3

	日時	主な協議事項・報告事項		出席者数	
				理事	監事
5	8月19日 11:00～12:30 (オンライン併用)	<協議事項> <報告事項>	1 令和4年度本会代議員及び予備代議員選出人数について 1 令和4年度改選役員、推薦委員及び選挙管理委員候補者の推薦について 2 予算編成要望の提出について 3 令和3年度兵庫県看護大会報告	20	3
6	10月2日 10:00～12:00 (オンライン併用)	<協議事項> <報告事項>	1 令和4年度定時総会・職能集会について(案) 1 兵庫県知事への令和4年度予算編成に対する最重点要望について 2 協会施設の修繕計画について	18	3
7	11月6日 10:00～12:30 (オンライン併用)	<協議事項> <報告事項>	1 令和3年度重点方策及び重点事業評価(案)・令和4年度重点方策及び重点事業(案)について 2 令和4年・5年度委員会(案)について 2-2 組織図の見直しについて 3 令和3年度支部代表補佐の選任について(案) 1 副会長の上半期職務執行状況報告 2 2021年度近畿地区職能委員長会報告 3 令和3年度教育研修事業中間評価、教育実施状況 4 2021年度ナースバンク事業実績報告(中間評価) 5 2021年度災害支援ナース派遣調整合同訓練 6 「メール送信パッケージシステム」の導入について	19	3
8	12月4日 10:00～12:10 (オンライン併用)	<協議事項> <報告事項>	1 令和4年度重点方策及び重点事業(案)について 2 令和4年・5年度委員会(案)について 3 2月会員会の開催について 4 令和4年度本会代議員会について 5 兵庫県看護協会会長感謝状候補者の推薦について(案) 6 兵庫県看護協会代議員等の准看護師選出について 1 日本看護協会理事会報告 2 令和3年度上半期予算執行状況監査結果について 3 副会長の上半期職務執行状況報告 4 令和4年度日本看護協会名誉会員候補者推薦、会長表彰候補者推薦 5 マナブル利用状況のアンケート調査結果 6 令和4年度認定看護管理者教育課程について 7 令和3年度看護実践研究会報告	20	2
9	1月22日 10:00～12:20 (オンライン併用)	<協議事項> <報告事項>	1 令和4年度支部活動計画について 2 令和4年度委員会活動計画について 3 2023年(令和5年)度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出(案)について 4 令和4年度定時総会議長団候補者の選出について 5 コロナ後のオンライン等での理事会運営について 1 令和3年度(2月開催)支部会員会について 2 令和3年度第2回施設代表者会について 3 令和2年度看護職員の確保状況等に関する実態調査報告(病院・施設)	18	2

	日時	主な協議事項・報告事項		出席者数	
				理事	監事
10	3月3日(木) 10:00～11:20 (オンライン併用)	<協議事項> 1 兵庫県看護協会令和3年度補正予算(案)について 2 兵庫県看護協会令和4年度事業計画(案)について 3 兵庫県看護協会委員会規則の制定及び改正について 4 兵庫県看護協会令和4年度予算(案)について 5 2023(令和5)年度日本看護協会代議員・予備代議員の理事会推薦(案)について 6 令和3年度支部代表補佐の選任について(案) 7 令和4年度 兵庫県看護協会「まちの保健室」ボランティア表彰候補者の推薦について(案) <報告事項> 1 日本看護協会理事会報告 2 令和4年度改選役員候補者の推薦について(追加) 3 令和4年度教育研修計画について 4 定時総会について(次第、運営方法等) 5 令和4年度会議行事日程(再修正版) 6 施設代表者会について		17	2
11	3月19日 10:00～12:20 (オンライン併用)	<協議事項> 1 令和3年度重点方策及び重点事業報告 2 令和3年度支部活動報告 3 令和3年度委員会活動報告 4 令和4年度支部代表補佐の選任について(案) 5 令和4年度定時総会における書面による議決権行使について 6 令和4年度定時総会における役員等の選出にかかる選挙管理委員会規則の特例の制定について 7 職員就業規則等の改正について 8 公印管理関係規程の整備について 9 支部における個人情報等の管理について 10 兵庫県看護協会名誉会員候補者の推薦について(案) 11 兵庫県看護協会会長表彰候補者の推薦について(案) 12 兵庫県看護協会会長感謝候補者の推薦について(案) <報告事項> 1 令和3年度2月会員会について 2 全国職能委員長会報告 3 令和3年度教育認定部報告 4 令和4年度役員賠償責任保険の取扱いについて 5 新規会員特典について		19	2

令和3年度 各委員会活動報告

令和3年度 委員会	
職能委員会	保健師職能委員会
	助産師職能委員会
	看護師職能Ⅰ委員会
	看護師職能Ⅱ委員会
職能集会資料 参照	
委員会	選挙管理委員会
	推薦委員会
	教育企画委員会
	看護実践研究会企画委員会
	倫理審査委員会
	医療安全委員会
	ナースセンター運営委員会
	ヘルシーワークプレイス推進委員会
	災害・健康危機対策委員会
	まちの保健室委員会
	地域ケア・地域看護推進委員会
	広報委員会

令和 3 年度 選挙管理委員会 活動報告

■委員名	委員長：則定清美 副委員長：中野保江 委員：松村安代・目抜ゆかり・辻井美津子・谷口由美子・西岡綾 大上ゆかり・柴田紀代美
■開催回数	5 回
■活動目標	定款並びに細則、選挙管理委員会規則に従い、本会の役員、推薦委員及び選挙管理委員、本会代議員及び予備代議員並びに日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者の選挙を公正に行う。
■活動内容	1. 看護ひょうご秋号（令和 3 年10月発行）に令和 4 年度改選役員、推薦委員及び選挙管理委員（以下「役員等」という。）並びに本会代議員及び予備代議員（以下「本会代議員等」という。）への立候補について公示を行った。 2. 推薦委員会から提出された令和 4 年度本会代議員等の名簿について確認した。 3. 令和 4 年 2 月に開催する支部会員会の日程等を確認し、各支部担当者を決定した。 4. 支部会員会において、本会代議員等の選挙を管理し、投票結果を支部会員会議長に報告するとともに、看護ひょうご春号（令和 4 年 4 月発行）で会員に向けて当選者を公示した。 5. 推薦委員会より提出された令和4年度役員等並びに2023（令和 5）年度日本看護協会代議員及び予備代議員（以下「日看協代議員等」という。）の候補者名簿を受理し、看護ひょうご春号（令和 4 年 4 月発行）に掲載する議案を確認した。 6. 令和 4 年度定時総会における役割について確認した。 [予定] 7. 定時総会において、令和 4 年度役員等及び2023（令和 5）年度日看協代議員等の選挙を管理するとともに、投票結果を総会議長に報告する。また、当選者については、看護ひょうご夏号（令和 4 年 7 月発行）で会員に向けて当選者の公示を行う。
■活動の評価	定款等の規定に従い、計画どおり任務を遂行することができた。
■今後の課題	令和 4 年度の定時総会に向け、引き続き適正に任務を遂行していく。

令和 3 年度 推薦委員会 活動報告

■委員名	委員長：佐々木 愛 副委員長：植木みどり 委員：今田優子・立部巴・亀井由香里・有間千恵・長田瑞穂 芦田真知子・今西香奈子
■開催回数	5 回
■活動目標	定款並びに細則、役員等の推薦及び推薦委員会規則に従い、本会の役員、推薦委員及び選挙管理委員、本会代議員及び予備代議員並びに日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者の推薦を公正に行う。
■活動内容	1. 令和 4 年度に改選となる役員の職名並びに推薦委員及び選挙管理委員、本会代議員及び予備代議員（以下「本会代議員等」という。）の改選数について確認するとともに、地区理事に候補者の推薦を依頼した。 2. 看護ひょうご秋号（令和 3 年10月発行）に令和4年度改選役員、推薦委員及び選挙管理委員（以下「役員等」という。）並びに本会代議員等の選出のための公示を行った。 3. 令和 4 年度本会代議員等選出名簿、役員等の候補者を確認した。 4. 2023（令和 5）年度日本看護協会代議員及び予備代議員（以下「日看協代議員等」という。）の人数を確認するとともに、地区理事に候補者の推薦を依頼した。 5. 2023（令和 5）年度日看協代議員等の候補者を確認した。 6. 令和 4 年度役員等候補者の確定にあたり、候補者本人に承諾書を送付し、期日までの返送の依頼をした。また、公示のために、候補者としての抱負についても提出の依頼をした。 7. 確定した令和 4 年度役員等候補者について、その抱負とともに、看護ひょうご春号（令和 4 年 4 月発行）に掲載し、会員へ通知した。 8. 確定した令和 4 年度役員等並びに本会代議員等及び2023（令和 5）年度日看協代議員等候補者名簿を選挙管理委員会へ提出した。 9. 令和 4 年度定時総会における役割について確認した。
■活動の評価	定款等の規定に従い、計画どおり任務を遂行することができた。
■今後の課題	令和 4 年度の総会に向け、引き続き適正に任務を遂行していく。

令和3年度 教育企画委員会 活動報告

■委員名	委員長：矢吹浩子 副委員長：芝崎閑 委員：丸岡洋子・日野千奈美・段久美・臼井尚子・松田絵利子・北野貞・長崎麻子
■開催回数	6回
■活動目標	1. 資質向上につながる教育研修計画立案のために、現場及び会員の視点で協議を行う 2. 教育研修の実施状況を確認し教育計画を評価する
■活動内容	1. 資質向上につながる教育研修計画立案のために、現場及び会員の視点で協議 1) 研修希望に関するアンケート調査 (1) 会員施設548施設、1施設5名で計2,740名を対象として実施(令和2年度事業)。 (2) 45.5%の回収率で集計し、結果を分析した。 ①ラダーⅠ、Ⅱでは「心電図」「検査所見の見方」などの実践的な研修の希望が多く、ラダーⅣ、Ⅴでは「意思決定支援」「アングーマネジメント」などの理論的な研修の希望が多い傾向だった。 ②各ラダーおよび教育担当者に共通して希望が多かったものは「認知症看護」「高齢者看護」「感染管理」などだった。 ③研修方法では、全体の約30%が集合研修、約70%がオンライン研修を希望していた。 ④結果は「看護ひょうご」およびホームページに掲載し、フィードバックした。 2) コロナ禍のニーズから新たな研修企画を教育認定部に提案 (1) zoomに関する研修について、令和4年2月28日に「オンライン研修を企画しよう！」のタイトルでオンライン開催した。53名が参加し、94%が主任以上の職位だった。ホスト側の準備や操作の講義のほか、実際にグループワークやアンケート回答などのシミュレーションも行った。 3) コロナ禍における新人教育の現状から課題を抽出するための検討会開催 (1) 令和3年9月末開催を予定したが政府の緊急事態宣言により延期し令和3年11月29日に開催した。参加者は教育側から2名、病院側から4名、訪問看護側から3名と委員7名、協会から2名の合計18名であった。オンライン併用で実施し、教育側の工夫、学生の特徴、臨床現場での新人教育などについて意見交換を行い、今後の教育を考えるうえでの手がかりを共有した。 2. 教育研修の実施状況を確認し教育計画を評価 1) 教育認定部の最終報告を受け、コロナ禍でも随時工夫を加えながら計画を完遂したことを高評価する反面、次年度はオンライン研修時のグループワークの運営と参加のさせ方が課題であることが明らかになった。
■活動の評価	・アンケートの実施、回収、分析、報告は計画通りに実施でき、ラダー別研修ニーズを明らかにできたため、教育認定部が策定する研修企画に反映できると思われる。 ・「コロナ禍における新人教育の現状から課題を抽出するための検討会議」から、教育側、臨床側の現状が明らかとなり、それぞれ課題の示唆を得た。 ・zoomに関する研修は、事後アンケート(回収率95%)で満足が49%、まあまあ満足が37%であり、コロナ禍で研修を企画する側のニーズをほぼ満たせたと思われる。
■今後の課題	新人看護師とくにZ世代の理解と支援方法に関する研修を企画する。

令和3年度 看護実践研究会企画委員会 活動報告

■委員名	委員長：平野通子 副委員長：石井俊行 委員：奥村和代・片山恵・崎濱富美・田川由香・永富宏明・鷺田幸一・北野貞
■開催回数	6回
■活動目標	1. 県内の参加者・発表者のニーズをアセスメントして企画し、参加者数の維持・増加を目指す。 2. コロナ禍での看護実践研究会のあり方を企画検討する。
■活動内容	令和3年度看護実践研究会の開催とそれに向けた企画委員会の開催をした。 1. 看護実践研究会の概要 ・開催時期：令和3年11月20日 ・開催方法：オンライン併用開催 ・対象者：県内の看護職者 メインテーマ：新たな看護の創造 教育講演： テーマ「臨床現場での実践をどのように研究につなげるかー実践編ー」 講師 東京大学大学院医学系研究科 教授 山本則子 氏 事例を提示し、事例をもとに実際に講師とのディスカッションを重ねる方式をとる。 活動報告：兵庫県看護協会訪問看護ステーションより ・尼崎市における認知症初期集中支援チームの活動 ・新型コロナウイルス感染症自宅療養者への訪問看護 口演発表：研究報告部門6題、実践報告部門4題 オンライン4題、会場6題（口演発表のみ） 参加人数：オンライン85名 会場35名（計120名） 委員9名、職員10名 係員必携に沿って運営した。 参加者を対象に看護実践研究会についてアンケート調査を行った。 2. 看護実践研究会を企画 ・演題および一般参加の募集要項について検討 ・演題および一般参加の再募集について検討 ・特別企画教育講演の検討（テーマ、講師、内容） ・当日のプログラム、運営スケジュール、係員必携の検討 ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、看護実践研究会の運営方法を検討した。 ・集録集の内容、構成について検討 3. 査読を通して研究および実践報告活動を支援した。 ・応募演題の査読および採否決定 査読基準に従って、発表成果につながるサポートをした。 査読は期日までにすべて終了し、2演題（実践研究）が辞退した。 委員からの査読に対する意見等もあり、今後の査読のあり方について検討する予定である。

■活動の評価	1. 令和3年度看護実践研究会の企画検討を行うことができた。 1) 参加者・発表者のニーズに沿う企画を行うことができた。 2) 演題登録者に対し、査読者が丁寧なフィードバックを行った。また、研究者を査読によってサポートする形をとり、看護職者の研究する力を育む環境を各委員が作った。 3) コロナ禍で集合できない状況であったため、会議はオンライン・会場のハイブリット方式により効率的効果的に運営し、タイミングよく課題解決及び意思決定をしていくことができた。 2. 令和3年度看護実践研究会の開催 1) コロナ禍での参加人数や開催方法の評価 2) 参加者アンケートの評価 3) 教育講演の評価 4) 口演発表の評価 5) 全体の運営の評価
■今後の課題	1. 次年度も参加者・発表者のニーズをアセスメントして企画し、参加者数の維持・増加を目指す。 2. 査読プロセスもこれまでの方針を踏襲し教育的に関わっていく。また、査読規定の見直しを図る。 3. 研究会当日に活発な議論が促進されるよう企画運営していく。 4. コロナ禍でもできる看護実践研究会の企画運営を模索していく。

令和3年度 倫理審査委員会 活動報告

■委員名	委員長：北野貞 副委員長：長崎麻子 委員：鈴木みゆき・梅田節子・花岡澄代・中筋美子・柳修平・吉田こずえ
■開催回数	なし
■活動目標	本会会員が所属する機関に倫理審査委員会等がないために、申請がある場合及び本会の事業目的を達成するために、各委員会より申請のあった調査研究の倫理審査を行う。
■活動内容	1. 倫理審査申請件数：なし 2. 委員会開催：なし 第1回令和3年8月20日・第2回令和3年11月12日・第3回令和4年2月11日 委員会は申請なしのため、開催せず。
■活動の評価	今年度申請はなかったため活動はなし。
■今後の課題	倫理審査委員会等がない施設で調査・研究の倫理審査について利用できる場があることを周知していく。

令和 3 年度 医療安全委員会 活動報告

■委員名	委員長：西川博子 副委員長：井奥雅子 委員：池村忍・酒井弘美・金田直美・中村美津・庄司勝子・森下藍子 足立記代子・北野貞・長崎麻子
■開催回数	6 回（うち 1 回はメール会議）
■活動目標	1. 兵庫県内の医療の質の向上と安全を推進し、医療安全に携わる人への支援を行う。 2. 各支部間との連携を図り医療安全管理活動に取り組む。
■活動内容	1. 医療安全の推進と啓発 1) 病院、クリニック、介護施設への医療安全推進の支援 令和元年、出前講座を行うための資料として作成した「KYT」は、いくつかの施設で新人へのオリエンテーション・委員会等で授業を実践したものの、コロナ禍の影響もあり、出前講座の依頼は無かった。 依頼が無いのは周知不足や、地域への広報活動が不十分と捉え、地域の安全を高め、広めることのひとつとして積極的に「出前講座を周知する」ことに重点を置き、リーフレットを作成し会員施設等へ配布した。リーフレットには、「あなたの施設の医療安全活動をお手伝いします」というキャッチコピーを入れ、研修内容と、申し込み方法を記載した医療安全委員会ホームページにつながる QR コードを盛り込んだものを作成した。 今年度「出前講座」の依頼が 3 件あった。出前講座を行うに当たり、最初の窓口は看護協会とし、委員長・副委員長へメール配信、対象地域の委員と依頼施設が直接交渉を行う等、受け入れ体制を整えた。依頼のある支部の委員が講師を務めるようにした。初めての出前講座で委員自身が体験していないこともあり、今年度は講師とファシリテータを委員が担当した。令和 4 年 2 月予定していた講座は、コロナ禍や依頼者側の都合により中止となった。初回は看護学校からの依頼で令和 4 年 3 月 3 日 ZOOM での講義を実施した。委員が講師及びファシリテータを務め 3 名で実施した。3 件目は、令和 4 年 6 月に予定している。 研修の評価として評価報告書の統一したフォーマットがなかったため、作成が必要と考える。講義は ZOOM ではあったが、「医療安全とは」という概念を伝える事は出来たと考える。ただ、病院やクリニックと異なり、基礎教育現場の学生の場合、看護師免許がなく、看護の現場を殆ど知らないため、場面を想定しながら聞く事は難しかったと推測する。色々な場面を想定した研修資料の幅を広げる必要がある。 また、日本医療機能評価機構などから発行される「医療安全情報」による注意喚起の 1 つとして、施設での活用を行っているが、小規模施設やクリニック、介護施設など、冊子が届かない施設もあり、医療器具や薬剤などの啓蒙が行き届かないという現状があることがわかった。 今年度は、「看護ひょうご」、および医療安全委員会ホームページに、胃瘻（腸瘻）チューブ、令和 2 年コネクター切り替えへの周知として、「医療安全だより」として掲載した。 委員はリーフレット作成班とホームページ班のグループで活動した。 2) 医療安全活動に関する相談窓口の確立 医療相談窓口の確立については、協会に毎年数件の相談が寄せられるとのことであった。委員で実施する場合、相談を受けた後のフォローをどのようにするか、誰が回答するか、責任の所在など、委員が関わるには責任と負担があるという意見が多数あった。しかし、医療安全の推進と啓発は、相談機能の充実ではなく、出前講

	座を切り口として、前項 1) の小さな組織の隅々にまで、安全について語ることで質の向上に努めることが大切なことなのではないかと考える。 2. 研修会評価の見える化 1) 本部と全支部で共有したアンケートを使用し、医療安全の研修に参加状況を把握する。 2) 医療安全研修参加の結果をホームページに掲載し情報共有を図る。 これについては、次回以降の委員会で取り組む予定である。
■活動の評価	出前講座の活用を促すためのリーフレットを作成し、会員施設に配布した。その結果、1 施設からの出前研修要請、2 施設からの問い合わせがあり、リーフレットの効果があったのではないかと考える。
■今後の課題	1. 出前講座を行う中で課題の修正や他の安全教育について、内容、方法について検討 2. 依頼施設の状況に応じた研修資料作成への対応の検討 3. 出前講座修了後の評価報告書の作成

令和3年度 ナースセンター運営委員会 活動報告

■委員名	委員長：太田圭子 副委員長：洪愛子 委員：平山ミツヨ・足立育子・山本陽子・菰野朱美・勝間収子・奥村眞司 下山義裕・須田保之・鈴木克司・大迫しのぶ・木谷恵
■開催回数	5回
■活動目標	1. ナースセンター事業の活動を支援し、効果的な広報を行う。 2. 看護職員需要・離職に関して調査を行う。
■活動内容	1. ナースセンター事業の活動を支援し、効果的な広報を行う。 今年度は、ナースセンターの認知度をさらに向上させるため、ナースセンターが取り組んだ新たな広報活動について情報共有し検討した。また、若年層に向けた看護領域への進学を推進するナースセンター事業については、県内の看護専門学校・看護系大学に関して、できるだけ多くの高校生に情報提供するために、ナースセンターにおいて進学説明会参加者に対して、看護領域の教育機関の情報を一覧表にしてまとめたものを配布しているところを、さらに対象者を増やす広報の方法について検討した。 2. 令和2年度看護職員の需要・離職調査実施について 県内、病院（看護職Ⅰ分野）、訪問看護ステーション・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護医療院（看護職Ⅱ分野）を対象に看護職の需要・離職の状況を調査した。調査期間は令和3年4月1日から1か月予定で開始したが、新型コロナウイルス感染症による現場の煩雑さを考慮し期間を2か月延長すると共に、未提出の対象者に回答を促した。回答率は、病院92.5%、看護Ⅱ領域44.6%であった。分析結果については、報告書参照（6月上旬、各施設に調査報告冊子を送付予定）。課題の一つとして抽出されたのは、令和2年度の介護老人保健施設、介護老人福祉施設の1年未満の既卒者退職率が41.4%（非常勤より常勤の退職率が高い）と高いことであり、次年度調査で確認する必要がある。また、今年度の調査内容では、新型コロナウイルス感染症との関連性について確認できなかったため、次年度の調査項目に「新型コロナウイルス感染症に関連する退職」を追加した。
■活動の評価	1. ナースセンター事業の活動状況の情報共有を行い、集計結果を分析し、1つでも改善に活かせるよう課題を明確にしていく必要がある。 2. 看護職Ⅱ分野については、施設範囲が広く一緒に分析するには、施設ごとの課題を見極めることが難しい状況である。このことから、これまで看護職Ⅱ分野を1つの調査用紙で調査していたが、次年度より訪問看護ステーション（705施設）と介護老人保健施設・介護老人福祉施設・介護医療院の2領域に分けた調査用紙を作成し分析する必要がある。
■今後の課題	実態調査において、看護Ⅱ分野の回答率が低いことが課題である。回答率を上げるには、対象者が、調査に回答する手間以上のメリットを感じられるように、調査結果が何につながっているか可視化し、調査結果を活かした新たな改善案を提案することが必要と考える。また、看護職Ⅱ分野の離職率が高いことの更なる分析のために追加した質問項目についての評価を行うことを課題とする。

令和3年度 ヘルシーワークプレイス推進委員会 活動報告

■委員名	委員長：井上眞由美 副委員長：宮原明美 委員：阿波栄子・池澤加代子・内田雅英・尾崎淳子・勝間収子・肥塚喜子 竹内悦子・馬場敦子・濱田啓子・前田志眞子・山中恵・大迫しのぶ 木谷恵
■開催回数	6回
■活動目標	1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 2. その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。
■活動内容	1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営 1) 施設のヘルシーワークプレイスの現状に関する情報収集を実施し、問題点を明らかにして支援方法を検討する。 (1) 訪問看護ステーションの勤務環境に関する問題を訪問看護総合支援センターが実施するアンケート結果を基に分析し、支援方法を検討していく計画であるが、支援センターの進捗に合わせ今後検討する予定である。 (2) 令和3年8月24日看護管理者情報交換会を通して、下記にあるような新型コロナウイルス感染症に対する看護管理者の取り組みや課題を共有した。 課題 ・新型コロナウイルスの具体的な感染対策 ・職員のメンタルヘルス ・クラスターへの対策整備 ・地域の病院との連携、相談体制 ・リソースナースの活用 2) ヘルシーワークプレイス推進研修 テーマ：「ヘルシーワークプレイス推進研修 ～看護職が働き続けられる職場を目指して～」 時期：令和4年1月27日 対象者：後輩を持つすべての看護職・看護管理者等 WLB 取り組み報告：東宝塚さとう病院 講演：「叱り方が変われば、組織は変わる！！」 講師：ひょうご仕事と生活センター外部相談員、有限会社 OFFICE HARMO 代表 取締役 喜田菜穂子 氏 参加者：137名（オンライン130名） 3) 勤務環境改善に取り組む施設の支援 (1) 令和3年度医療従事者のインデックス調査の助成及び支援 WLB に継続して取り組んでいる5施設に対して、WLB インデックス調査の実施と助言等の支援を実施する予定であったが、令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症への対応に医療現場が注力している現状から、実施時期について検討中である。 (2) WLB 取り組みについての報告会 ヘルシーワークプレイス推進研修と併せて令和元年度医療従事者の WLB インデックス調査を実施した東宝塚さとう病院が取り組みについて報告した。

	4) 関係機関と連携を図る。 兵庫県看護協会ナースセンター、兵庫県看護協会各支部の他、本委員会の外部委員を通じて、兵庫県健康福祉部健康局医務課、兵庫県労働局雇用環境・均等部指導課、兵庫県社会保険労務士会、ひょうご仕事と生活センター等、兵庫県内の関係機関と連携し、様々な観点からの情報交換及び議論を踏まえて活動を実施した。 5) ヘルシーワークプレイスの啓発活動 ヘルシーワークプレイスに関連する資料、リーフレットの配布は、次年度に実施する。 6) コロナ禍における看護管理者のための情報交換会を実施 テーマ：「コロナ禍におけるヘルシーワークプレイスの実現を目指して ～今こそ看護管理者の取り組みを共有しよう～」 時 期：令和3年8月24日15:00～16:00 対象者：看護管理者（会員・非会員を問わず） 施設発表：兵庫県立尼崎総合医療センター 神戸朝日病院 参加者：45名
■活動の評価	1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営 1) 施設のヘルシーワークプレイスの現状に関する情報収集を実施し、問題点を明らかにし、支援方法を検討した。 (1) 今まで訪問看護ステーションの施設に焦点をあてる機会が少なく、現状を知る機会がなかったが、アンケート結果を通して詳細を知ることができる考えた。訪問看護総合支援センターが実施する勤務環境に関するアンケート結果を待ち、それを基にヘルシーワークプレイス推進委員会として検討する予定である。 (2) 令和3年8月24日に実施した看護管理者情報交換会を通して、各施設の管理者がコロナ禍における施設運営の対処について貴重な体験や悩み等の情報交換を行った。コロナ禍にある問題点として、新型コロナウイルスの具体的な感染対策、職員のメンタルヘルス、クラスターへの対策整備、地域の病院との連携、リソースナースの活用等が挙げられた。オンライン形式であったが、コロナ禍で他施設との交流が少ない時期に情報交換の場を設けたことで、参加者の97%から「施設発表が参考になった」、87%が「情報交換会がよかった」とのアンケート回答が得られた。また、コロナ禍において管理者が感じている課題も一部明らかにすることができた。看護管理者としてヘルシーワークプレイスの視点から整備や、準備が必要なことの発見や気づきの場となり、意義のある研修会であったと考える。 2) 令和4年1月27日にヘルシーワークプレイス推進研修会を実施した。 (1) WLB 取り組みについての報告 令和元年度医療従事者のWLB インデックス調査を実施した東宝塚さとう病院が取り組みの報告会を実施した。2年前の調査によるものであるが、他病院のWLBへの取り組みについて知るよい機会になった。 (2) ハラスメント防止を目的に組織にプラスに働く「叱り方」のテーマで講師を招聘し、来館・オンラインの併用で実施した。対象を、後輩を持つすべての看護職・管理者等と幅広くし、さらにオンライン・グループ参加可の条件も相まって多くの参加があった。アンケート結果より、94%が「新たに気付いたことがあつ

た」77%が「実務への活用について期待できる」とあり、ワークを通して、自分を振り返ることができた、講義内容をより具体的に理解できた、との感想があった。講師からは、可能であれば対面での研修実施が効果的とのことであったので、時期によっては対面での研修を企画する。

3) 勤務環境改善推進に取り組む施設の支援

- (1) 医療従事者のインデックス調査の助成及び支援については、3年間は継続して支援する予定である。昨年度より新型コロナウイルス感染症への対応で医療現場が疲弊している現状から、時期として適切ではないと判断し実施時期を延長している。対象施設の前回実施時期との期間が長くなっていることも勘案し、次年度は調査内容の検討も含め施設にとって適切な時期を計画していく。

4) 関係機関との連携を実施

- (1) 昨年度に引き続き研修会の講師を、ひょうご仕事と生活センターの支援を受け、外部相談員である講師を派遣していただいた。
- (2) 当委員会構成員は兵庫県内の関係機関から構成されており、様々な観点からの勤務環境改善及びヘルシーワークプレイス推進に関する情報や意見を得ることができている。

5) ヘルシーワークプレイスの啓発活動

ヘルシーワークプレイスに関連する資料、リーフレットの配布は次年度に実施する。

■今後の課題

- ・施設のヘルシーワークプレイスの現状に関する情報収集を行い、それに対する具体的な支援方法及び委員会活動の今後のあり方について検討する。
- ・ヘルシーワークプレイスの啓発方法を検討する。

令和3年度 災害・健康危機対策委員会 活動報告

■委員名	委員長：神崎初美 副委員長：雑賀逸平 委員：池田輝美・松本ゆかり・深井功一郎・井上初代・前川啓子・松田豊 吉村信恵・中永映子・中道一義・並河直子・西口久代・中野奈保子
■開催回数	6回 *委員会の他、災害支援ナース養成研修や新型インフルエンザ等研修会の企画・運営、防災訓練等への参加
■活動目標	1. 地域における連携支援体制の構築及び、災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発 2. 健康危機関連規定集の見直しと充実化を図る。 3. 災害支援ナースの登録推進・育成研修 4. 地域の防災訓練への参加、地域住民への減災教育、防災力強化の取り組み 5. 新型インフルエンザ等感染症の研鑽として、新型コロナウイルスに関する研修会の開催
■活動内容	1. 委員会の開催 災害・健康危機における地域の連携支援についての意見交換を実施、特に病院・施設・保健所などの COVID-19患者受け入れ・対応や連携状況などの情報共有 2. 健康危機規定集の見直しと充実化を図る。 受援マニュアル策定ガイドを配布し周知を図った。 3. 災害支援ナース養成研修・災害支援ナース対象研修の企画・運営 災害支援ナースの養成研修、フォローアップ研修、（交流会）を通じて、活動へのモチベーションの維持向上につながった。 災害支援ナース（基礎編） 7月26/27日 25名 7月28/29日 18名

	7. 新型コロナウイルス感染症（新型インフルエンザ等感染症）研修会の企画、運営 新型コロナウイルス感染症をテーマとして、オンライン研修会を開催 令和3年10月28日 参加者52名
■活動の評価	災害支援ナースの育成12年目となり、約380名の登録となっている。地域での災害訓練等は積極的に参加を促しているが、コロナ禍で開催機会が減っている。平時の施設内での活動・役割を検討する必要がある。コロナ禍においても、感染防止対策を徹底し、災害支援ナース養成研修を実施した。 1 期を 2 回に分けるなど工夫して研修を実施することができた。 施設内の災害対策への意識の高まり、災害支援ナースの活動意欲向上にもつながったと思われる。 災害時受援マニュアル策定ガイドを配布したが、さらに施設内での活用を推進する。コロナ禍での経験から平時からの災害・健康危機時の地域でのネットワークづくりが課題である。
■今後の課題	連携協働体制の強化のための平時からの地域でのネットワークづくり

令和3年度 まちの保健室委員会 活動報告

■委員名	委員長：是川こはる 副委員長：吉原康子 委員：西原勝彦・矢持恵美・山口みゆき・谷口久美・滝野都・大原由子 橋本あゆみ・中前日里・藤田佐江子・大迫しのぶ・中野奈保子
■開催回数	7回
■活動目標	1. 県民の視点に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。 2. 健康寿命の延伸を図るため、受診勧奨および地域における創造的な活動によって県民の健康支援を行う。 3. 「まちの保健室活動」をwithコロナの時代に沿った活動としていく。
■活動内容	1. 県民の視点に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。 1) 新型コロナウイルス感染症の影響により一部を除きほぼ休止となったが、withコロナ時代における活動のあり方を検討した。阪神南支部ではオンラインでの子育て相談を開催し、コロナ禍でもできる健康啓発や「看護の日」にちなんだパンフレット配布など計画したが、感染拡大により活動を断念した支部もあった。 2) 「コロナ禍でのまちの保健室開催時の注意点」等を支部に情報共有した。 2. 地域の特徴にあった支部における特徴的な活動を創造する。 新型コロナウイルス感染症の影響により活動休止が多い中でも、自施設内での「まちの保健室」やオンラインでの子育て支援等工夫を行った。看護師や多職種対象の研修会については各支部で企画・計画中である。 阪神南：オンラインでの子育て相談等 神戸西部：神戸市看護大学「心と身体の看護相談」・「子育て支援」 市民公開オンライン講座「コロナ禍における人とのつながりと健康」等 東播：ふれあいプラザ明石西「健康相談」・加古川駅前子育てプラザ「子育て支援」・出前隊活動 神戸中部：地域医療機能推進機構神戸中央病院・しあわせの村健康クラブ・甲栄台結核ハイリスク健診・世界糖尿病デー in 川崎病院 出前隊活動 実績：拠点活動46件（昨年21件）活動ボランティア61名（昨年94名）来所者376名（昨年462名） 出前隊70回（昨年11回）、来所者1024名（昨年137名） 3. まちの保健室研修会の開催 テーマ：「まちの保健室」の過去から未来へ ～ボランティア活動を支えるものは？～ 開催日：令和4年2月19日 場所：兵庫県看護協会会館 基調講演：兵庫方式「まちの保健室」の始まりから今日まで ～つくり・ふりかえり・つなぐ～ 講師：但馬支部 コーディネーター 原田 瑠璃美 氏、西垣 悦代 氏 参加者：20名（オンライン16名） 受講後 グループワーク

■活動の評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、まちの保健室活動は、例年の10%程度にとどまった。研修会は感染対策をとった上で、オンライン併用で行い、グループワークでは今後のまちの保健室活動の在り方の意見交換ができた。
■今後の課題	With コロナの時代に「まちの保健室活動」をフェーズ2に向けてイメージを広げていく。また、長期に活動できていない状況であり、看護ボランティアの確保やボランティアが活動する上で役立ててもらえるような研修の提供

令和3年度 地域ケア・地域看護推進委員会 活動報告

■委員名	委員長：久山かおる 副委員長：小川かおり 委員：濱田智子・住田博美・茨木ゆかり・笹山留美・菅原かおり・森本敦子 永良直子・出口里美・藤原恵美子・大迫しのぶ
■開催回数	4回
■活動目標	1. 看看連携の現状を把握し、課題を明らかにする。 2. 地域包括ケアシステム推進における看看連携のネットワークを明らかにし、専門性を発揮した看看連携の強化を図る。
■活動内容	・本委員会における看看連携の定義と目的について検討した。 ・各支部と委員の連携により、地域で活動している看看連携・多職種連携ネットワークの情報を収集した。 ・看看連携のネットワークの一覧表を作成し、可視化した。 ・県内の多様な場で勤務する看護職への、ネットワークの周知方法を検討した。
■活動の評価	・「看看連携」の定義と目的を整理し、活動の方向性を定めることができた。 ・活動している看看連携と多職種連携のネットワークを、支部との連携により、リストアップした。 ・ネットワークの一覧表を作成したことにより、看護師も構成員となっている多職種連携の会が多く、看看連携は少ないことがわかった。各支部において先駆的な事例が実践されているが、その情報が周知されていない状況が明確になった。 ・委員は情報収集および支部の連携の状況を対面やメール、郵送などにより情報収集を行い、委員会後には活動内容を支部に伝達し周知ができた。委員会の活動内容や支部のネットワークについて報告会などを開催し、支部との連携が広がった。この、委員が各支部で情報収集と情報共有をしていく過程が、支部の看看連携を推進し、ネットワーク構築の一助となった。
■今後の課題	看看連携においては、看護職間の情報共有の場が少ないこと、支部の圏域が広く組織的に動くことの難しさがある。支部・地域の実情に応じて情報の周知を行い、看看連携のネットワークを強化していく必要がある。2040年に向かっては、まず、現在取り組んでいる地域包括ケアに向けての取り組みを深めていく。支部または地域の医療福祉の実情に即した規模での看看連携を行い、実践の成果を明らかにしていく。地域の成功事例を定期的に共有する。併せて患者を生活者としてとらえることや患者の生活をイメージして看護することは、地域包括ケアシステムの一翼を担う看護師の重要な役割である。そのための周知方法について検討していく。一方、在宅における看護提供体制を強化のために、離職を希望する看護職についての地域循環型の再就職支援の体制を病院、在宅間の連携などについて検討していく。

令和 3 年度 広報委員会 活動報告

■委員名	委員長：西口久代 副委員長：大迫しのぶ 委員：森田康子・石田貴美子・生田美苗・三崎修子・福原智昭・木谷恵 西田珠貴・古山良美・古川さと
■開催回数	7 回
■活動目標	1. 公益法人として本会活動に幅広い理解を得るとともに、適宜適切な情報を提供するなど会員サービスの一層の向上を図り、また、令和 3 年度本会重点方策である組織力の強化を推進するため、効果的な広報を実施する。 2. 新規入職者に看護職能団体としての看護協会の目的、理念、活動の理解を深めるとともに、キャリア支援、離職防止支援につなぐため、新入会員研修を開催する。 3. 会員等からの意見を聴取し、広報活動に活かしていく。
■活動内容	広報誌発行を通じ、本会の活動を幅広く、看護職、県民に周知し、看護への理解を深めていただくとともに、ホームページで適宜適切な情報を提供するなど会員サービスの一層の向上を図るなど、令和 3 年度本会重点方策である組織力の強化を推進するため広報を強化した。 1. 「協会ガイド」、「看護ひょうご」、「ささえ」の企画、立案、編集、発行 （1）協会ガイド 14,500部 2年ぶりに全面改訂を行い、各会員施設への定数と希望数を加えて作成・配布した。紙面では本会ホームページへの直リンクを増やすなど工夫した。 （2）会員向け広報誌 看護ひょうご（年4回発行）32,000部×4回 新型コロナウイルス感染症関連情報や新たに開設した訪問看護総合支援センターの紹介、特定行為に係る研修制度等関心を持って読んでもらえる話題性のある内容の記事を工夫して掲載した。また、表紙には会員からの写真投稿を募るなど、会員が興味関心を持てるよう変更した。 （3）県民向け広報誌 ささえ30,000部 コロナ感染拡大の影響により、紙媒体での資料配布の機会が限られ、従来のような活用が困難であることから、県民向け広報媒体のあり方を検討し、紙面を減らし、あらゆる機会に気軽に多くの県民に手に取ってもらえるようなものに工夫した。 2. ホームページの充実 コロナ関連の情報等タイムリーな内容の掲載、こまめな更新に努めた。 3. 新入会員研修 新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を延期し、感染状況等を勘案して実施時期をうかがっていたが今年度も開催を見合わせることにした。それに代わるものとして、看護協会紹介動画を作成し、YouTube にアップした。再生回数 531回 4. 会員等からの意見の聴取 委員会では会員の声、ニーズに見合った広報活動となるよう、現場の意見を尊重して進めた。また、会議や研修会等様々な機会を通じ、本会（活動）に対する意見の聴取に努めた。 5. 「ナース川柳 “ひょうご”」はコロナ禍により中止

■活動の評価	1. 広報誌については、看護協会活動を周知し看護に理解を深める重要な媒体であるが、コロナ禍において紙媒体を効果的に活用し配布することが困難となった。 会員向け広報誌では、タイムリーな情報を提供に心がけ、会員からの投稿ページや写真応募等を増やすなど会員の関心が深まるように工夫した。 県民向け広報誌では、あらゆる機会に県民に配布できるよう記載の内容を工夫し、潜在看護師、看護補助者、中高校生等に呼びかける内容を掲載した。 2. ホームページについては、タイムリーな内容の掲載、こまめな更新に努めた。看護協会の活動の理解を深めるために、「兵庫県看護協会の概要」を動画にしてホームページ上で見る事が出来るようにした。 3. 新入会員研修については、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、やむなく中止となった。
■今後の課題	1. 広報委員の活動内容としては、広報誌の発行、ホームページの充実更新、投稿記事の作成等の作業に費やす時間がかかなり多くなっている。 社会情勢や保健医療看護の動向を踏まえて、効果的な広報活動のあり方を検討して推進していく委員会として運営を見直す。 2. 委員会では「適切な広報のあり方に関すること」、「効果的な情報収集・情報提供」、「広報活動の評価」等について協議し、効果的な広報活動が推進できるよう、本会の広報会議と協働して進めていく。 3. ホームページ、SNS の活用等を充実していく。ホームページ利用促進に向けては、広報誌、チラシ等の紙媒体の QR コード活用を進める。

令和3年度 教育認定部事業報告 認定看護管理者教育課程

項 目	内 容																																			
I 教育目的	【ファーストレベル】 ・看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識・技術・態度を習得する。 【セカンドレベル】 ・看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。																																			
II 開催期間	【ファーストレベル】 総時間数105時間（18日間） ・Ⅰ期：令和3年5月20日～6月25日（週末コース） ・Ⅱ期：令和3年7月12日～8月6日 ・Ⅲ期：令和3年11月16日～12月10日 ・Ⅳ期：令和4年1月12日～2月4日																																			
	<table><tr><th></th><th>定員</th><th>応募数</th><th>受講決定者数</th><th>受講数</th><th>修了者数</th><th>R 受講</th></tr><tr><td>Ⅰ期(週末型)</td><td>60名</td><td>51名</td><td>51名(42+再募集12・辞退3)</td><td>51名</td><td>51名</td><td>35名</td></tr><tr><td>Ⅱ期</td><td>60名</td><td>71名</td><td>64名(受講不可4・辞退3)</td><td>64名</td><td>64名</td><td>58名</td></tr><tr><td>Ⅲ期</td><td>60名</td><td>74名</td><td>63名(受講不可8・辞退3)</td><td>63名</td><td>63名</td><td>63名</td></tr><tr><td>Ⅳ期</td><td>60名</td><td>61名</td><td>61名</td><td>61名</td><td>61名</td><td>61名</td></tr></table>		定員	応募数	受講決定者数	受講数	修了者数	R 受講	Ⅰ期(週末型)	60名	51名	51名(42+再募集12・辞退3)	51名	51名	35名	Ⅱ期	60名	71名	64名(受講不可4・辞退3)	64名	64名	58名	Ⅲ期	60名	74名	63名(受講不可8・辞退3)	63名	63名	63名	Ⅳ期	60名	61名	61名	61名	61名	61名
	定員	応募数	受講決定者数	受講数	修了者数	R 受講																														
Ⅰ期(週末型)	60名	51名	51名(42+再募集12・辞退3)	51名	51名	35名																														
Ⅱ期	60名	71名	64名(受講不可4・辞退3)	64名	64名	58名																														
Ⅲ期	60名	74名	63名(受講不可8・辞退3)	63名	63名	63名																														
Ⅳ期	60名	61名	61名	61名	61名	61名																														
	1. 受講者属性 1) 平均年齢：Ⅰ期45.5歳・Ⅱ期：44歳・Ⅲ期：45.4歳・Ⅳ期：45歳 2) 管理経験年数：Ⅰ期4年6ヶ月・Ⅱ期5年2ヶ月・Ⅲ期5.5年・Ⅳ期：5.3年 3) 職位：Ⅰ期 師長職29%・主任職63% ・Ⅱ期 師長職42%・主任職55% Ⅲ期 師長職38%・主任職57% ・Ⅳ期 師長職38%・主任職56% 4) 所属施設：※200床以下施設からの受講：平均40%前後（Ⅰ期（週末型）：61%） ・Ⅰ期（週末）：病院92% 他⇒訪問看護 St（2施設）、介護保険・社会福祉（2施設） ・Ⅱ期：病院100% ・Ⅲ期：病院98%・他⇒訪問看護 St（1施設） ・Ⅳ期：病院98%・介護保険・社会福祉施設（1施設）																																			
	2. 実施内容 新型コロナウイルス感染状況の為Ⅰ・Ⅱ期共にオンライン受講推奨を図り、Ⅰ期35名（69%）・Ⅱ期58名（90%）がオンライン受講とした。Ⅰ期・Ⅱ期の集合研修は統合演習及び科目レポート担当講師の授業日に限りとしⅠ期は9日間、Ⅱ期は6日間であった。受講者人数に合わせ、研修会場はハーモニーホールを利用した。その際、感染予防の見地と研修スペースを見据え個別チェアを利用したの受講となった。Ⅲ期・Ⅳ期は蔓延防止対策の最中の為、基本、全オンライン受講とした。オンライン受講の不安を軽減するために、研修開講前にはチャット使用と画面共有等の操作練習を実施した。その結果、受講中のGW発表等にはPPTを作成し発表するなど問題なく習熟できていた。また、受講者間のネットワーク促進を目的に講義終了後の20分間グループワークの時間として「終わりの会」を設けた。																																			
	3. 閉講時アンケート結果 1) 研修全般：「教育目的の達成」「自己課題の明確化」「満足度」「管理実践への活用」は100%が【思う・やや思う】であった。週末コース受講者は、平日現場、週末研修で大変な中にも学んだことを、すぐ現場に活用することが出来る良さを実感している声が聞かれた。また、多くの受講者は、研修期間中、受講者同士の刺激を受け充実して過ごせていたとの感想であった。課程における教育内容への満足度は高い。しかし、18日間の研修期間では、追い込みによる余裕のなさからか学習達成度には不安や自信の無さが伺えた。学習カード（任意）は8割以上の受講者が提出したが、しんどいながら継続して書くことで整理できるとの回答があった。統合演習の相互支援に対する満足度は高いが、演習支援者に対しては、ファシリテーターの役割以上に個別指導を望む傾向があり満足度は低かった。 2) オンライン研修：オンライン受講の良かった点として、感染予防対策上での安心感との回答が多かった。また協会まで通う時間がなくなるため時間を効率的に使えたことを挙げており、対面授業と遜色なく満足感が得られていた。感染予防対策上の制限がより厳しい状況にあっても、オンライン受講という授業形態はむしろ学習面では高い満足感が得られると考える。これらの結果から、今後は感染状況を見つつオンラインでの受講を中心に考えていく。																																			

4. 次年度課題

- ・研修開始前に任意ではあるが論理的思考と論文の書き方研修を企画し、76.7%の受講者が受講した。学習カードおよび科目レポート作成で8割の受講者が活用できていると回答しており今後も継続していく。統合演習では15時間内での演習支援者による個別指導の設定が困難であり、受講者同士の相互支援の効果が大きいことから次年度から相互支援とする。

【セカンドレベル】・令和3年8月25日～10月8日 総時間数180時間

定員	応募者数	受講決定者数	受講者数	修了者数
60人	56人	56人	56人	56+1 (令和2年修了者)

1. 受講者属性：平均年齢：48.7歳、実務経験平均28.8年、管理職経験年数：13.5年、職位：看護部長2・副部長8・看護師長42・副師長1・係長1・主任2、所属施設：病院100%
2. 実施内容：開催時期は緊急事態宣言下と重なった。昨年と比較し組織のオンライン環境が整備でき、講師も受講者も全オンライン授業となった。統合演習の看護管理実践計画書は県内のCNA8名による演習支援の協力和相互支援を得て最終日に至った。臨地実習は新型コロナ感染症拡大で施設の受け入れ困難が推測されたため、目的に応じて地域で活躍する6名のシンポジストの協力を得、シンポジウムを開催した。受講者の発表等から臨地実習を超えた学びを得ることが出来ていた。

3. 閉講時アンケート結果

「教育目的の達成」では「達成、やや達成」が98%、「研修の満足度」は「満足、やや満足」が100%であった。全オンライン受講については、不安があるが操作上の経験を通して協会までの往復時間が学習に充てられることや感染リスクが減らせるメリットを実感できている。集合研修のGW以上にオンラインでのGWは、グループの意見をPPT作成等で画面共有した話し合いで集合研修時より理解しやすいと感じていた。又、オンラインによる孤独感・不安感の軽減として、終わりの時間を利用した受講者同士の交流時間を設けたことで、集合研修では体験できない多くの受講者との交流ができたとの声が聞かれた。

看護管理実践計画書の支援者による演習支援は98%の受講者は「有効」と答えていたが、2%は「有効と思わない。」と答えていた。又、研修期間中のメール相談は約半分が利用していなかった。その理由として「メール相談するまで自身の整理ができていない。」が58%で、10%は「組織の上司の支援がある。」であった。

- ・次年度課題：「統合演習：臨地実習」の企画の再検討

【看護管理実践発表会 3回目】・令和3年2月26日

定員	応募者数	受講決定者数	参加者数141名	発表者37名/課程受講者数
200人	150人	150人	①発表者37名 ②一般参加104名	セカンド：25/36名 (69%) サード：12/25名 (48%)

- ・参加者：看護部長：27名(20%)副部長：34名(24%)看護師長73名(52%)主任6名(4%)
- ・第1部：記念講演 講師：吉川久美子氏(日本看護協会常任理事) 講演テーマは「病院看護管理者のマネジメントリーダー 求められる地域まで見据えた看護管理」
- ・第2部：口演発表：令和2年サードレベル修了者12名・令和2年セカンドレベル修了者25名による看護管理実践の口演発表(オンライン発表含む)

アンケート結果及び課題

今年もコロナ禍での開催となったが、本会のオンライン環境の調整が整備でき、一般参加者もオンラインでの参加が可能となった。今回は、発表者を修了者に限らず県内のCNAにも広げ、定期広報紙以外に講師及び演習支援者にも広報を呼び掛けたが一人の申し込みもなかった。アンケートでは、発表会の参加理由は「活用できる情報を得るため。」が一番多く、実践報告の活用度については「大いに活用できる・だいたい活用できる。」が100%、発表会への満足度についても「大いに満足・だいたい満足」が100%だった。自由記載には「今後も機会があればぜひ参加したい。」「実践報告を聞いて励みになった。」「実践へのヒントがたくさんあり有益な場だった。」などの意見があった。今後は修了者に留まらず県内CNAの発表を促進すると共に、発表演題ごとの質疑だけでなく群ごとにディスカッションする形態としフロアーとの意見交換・交流を図る場づくりを検討していきたいと考える。

令和3年度 教育認定部事業報告 認知症看護認定看護師教育課程B課程

項 目	内 容
I 教育目的	1. 看護専門職業人として、自己の責任において継続的に研鑽し、変化する医療や社会のニーズに対応できる能力を養う。 2. 看護専門職として地域から急性期病院のあらゆる場において、高い臨床推論力と病態判断力に基づいて、対象を全人的に捉える能力を養う。 3. 多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を高める。 4. 看護専門職業人として質の高いサービスを提供するために、ネットワークを構築し活用できる能力を養う。
II 開催期間	令和3年4月6日～令和4年3月11日 総時間数806時間
III 受講者の概要	定員：20名 出願者数：64名 受験者数：61名 受講者数：20名（女性17名、男性3名、平均年齢42歳）施設種別：100～199床10%、200～499床55%、500床以上25%、訪問看護ステーション10%、修了者数：18名 退学者数：2名
IV 実施と評価	1. カリキュラムについて 教科目と単元は日本看護協会認定看護師教育課程基準カリキュラムに準じている。 2. 課程運営について 1) 4月から7月までのeラーニングによる共通科目の履修 eラーニング取り組みの工夫と勤務と学習の調整方法の共有、そして、受講者間の交流を目的に月1回のホームルームを開催した。アンケート結果では、オンラインによるホームルーム開催について、「満足・ほぼ満足」が100%であった。悩みを共有することで学習に対する不安や孤独感が解消された、回数を増やして欲しいという意見があった。eラーニングによる学習効果につなげるために、次年度も開催時期や回数を検討し、ホームルームを活用する。 2) 7月下旬からの集合研修による認定分野専門科目、特定行為区分専門科目 緊急事態宣言下では、オンラインによる講義も併用した。看護倫理やケアマネジメントなど、ディスカッションで学習を深める教科目については、感染予防対策を講じ、できる限り対面講義とした。アンケート結果では、「入講当初掲げていた目標の達成」では、「達成・やや達成できた。」が100%、「教育目的の達成」では「やや達成できた。」が89%、「自己課題の明確化」では、「明確化できた、やや明確化できた。」が94%であった。老年看護学に携わる大学講師に加え、認知症看護認定看護師の実践を踏まえた講義を受けることが目標達成に繋がっていると考える。 兵庫県内の認知症看護認定看護師の活用として、講師の選定も今後の課題である。 3) 特定行為研修共通科目演習・実習 日本看護協会の演習・実習の手引きに沿って実施した。アンケート結果では、「フィジカルアセスメント」「医療推論」の満足度が100%、「医療安全」60%、「チーム医療論」94%であった。医療安全に関するアンケート結果では、「所属組織の背景の違いから場面設定が難しかった。」「時間が足りなかった。」という意見があった。演習前に目的等を説明し意識統一を図っていたが、次年度はより丁寧に演習の進め方を説明する。

4) 臨地実習（認知症看護分野）

見学実習（3日間）と病院実習（16日間）を実施した。指導者、教員間で情報共有を図り、指導体制を修正しながら実習目標が達成されるよう支援した。「実習における課題達成」では、「達成・やや達成できた。」が67%であった。病態や病期をアセスメントし、根拠のある看護を言語化することの困難が多く挙げられていた。しかし、統合演習であるケーススタディをまとめる中で、個々の看護実践に意味づけができていたと考える。このことは、受講者の「自己課題の明確化」94%に反映されていると考える。

5) 特定行為研修

「特定行為における課題達成」では、「達成・やや達成できた。」が72%であった。「あまり達成できなかった。」は28%であった。「あまり達成できなかった。」の回答者の実習場所は、他施設、自施設、その両方を含んでいた。理由は、個人的な理由に加え、医師とのディスカッション時間の確保、手順書の作成と活用に課題があった。指導時間の確保の依頼と手順書に沿った特定行為研修に関しては、次年度の実習説明会の際により丁寧に説明して依頼する。

6) 本教育課程全体の運営について

「教育課程の満足度」は「満足、やや満足」が94%であった。理由としては、著名な講師の選定、オンラインの活用、学習できる環境が整っていたなどの意見があった。しかし、eラーニングや特定行為研修中、ケーススタディに取り組む期間は、孤独に感じることもあったという意見が数件あった。このことから、次年度は、ホームルームの回数の検討、特定行為研修中の帰講日を検討する。

3. 次年度への課題

実習指導者より、特定行為研修がカリキュラムに加わったことやオンライン研修が多かった影響か、認知症患者への患者理解、実践能力が例年に比較して苦戦したという意見もあった。認定看護師としての基礎力が養われるよう講義、演習、臨地実習に、より一層の工夫が必要である。また、特定行為研修に関しては、指導医と受講者ともに実習に当たり、取り組むべき範囲などについてさらに丁寧に説明する。

令和3年度 Hyogoリソースナースnet 活動報告

項 目	内 容																																																							
I 事業目的 (事業概要)	専門的な知識・技術を持った看護師（リソースナース）の組織を超えた活用促進を図ることで、兵庫県全体の看護の質向上と、地域ネットワークの構築を目指すことを目的とする。																																																							
II 事業実施の経緯	平成24年度から29年度まで CNS/CN/看護管理者交流推進委員会として活動後、平成30年度より CNS/CN/看護管理者ネットワークとして本会教育認定部が担当、名称変更を経て現在に至る。内容：リソースナースの登録と活用/リソースナースのスキルアップ支援																																																							
III 実施状況	1) Hyogo リソースナース net の登録状況 <table><tr><th>区 分</th><th>平成29年度</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th></tr><tr><td>認定看護管理者</td><td>8</td><td>9</td><td>14</td><td>16</td></tr><tr><td>CNS</td><td>7</td><td>11</td><td>25</td><td>33</td></tr><tr><td>CN</td><td>52</td><td>72</td><td>98</td><td>117</td></tr><tr><td>医療安全管理者</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>感染制御実践看護師</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>67名</td><td>92名</td><td>138名</td><td>167名</td></tr></table> ※令和2年度より新たに Hyogo リソースナース net として登録開始 2) リソースナースの活用状況 <table><tr><td>高齢者施設感染対策研修講師</td><td>依頼54件 派遣 のべ35名 感染管理認定看護師・感染制御実践看護師</td></tr><tr><td>高齢者施設研修講師 (認知症・皮膚ケア・摂食嚥下)</td><td>依頼7件 派遣 1名 皮膚・排泄ケア認定看護師</td></tr><tr><td>社会福祉施設等への感染対策専門家派遣事業</td><td>33件 感染管理認定看護師</td></tr><tr><td>小規模施設等への医療安全推進支援講師</td><td>1件 医療安全委員会看護師</td></tr><tr><td>施設等の研修会講師</td><td>依頼9件 派遣 のべ9名 認知症看護認定看護師・慢性呼吸器疾患看護認定看護師 救急看護認定看護師・感染管理認定看護師など</td></tr><tr><td>一般研修 講師・支援者</td><td>のべ103名 〈内訳〉認定看護師：79名 専門看護師：22名 認定看護管理者：2名</td></tr><tr><td>認知症看護認定看護師教育課程講師</td><td>19名 〈内訳〉認定看護師：12名 専門看護師：6名 認定看護管理者：1名</td></tr><tr><td>ファーストレベル・セカンドレベル：講師・支援者 看護実践発表会：座長</td><td>のべ59名 認定看護管理者</td></tr></table> 3) リソースナースのスキルアップ支援のための研修会開催 <table><tr><td>CNS/CN/認定看護管理者実践報告会</td><td>参加者 16名</td></tr><tr><td>チームアプローチのためのコミュニケーションスキル</td><td>受講 20名</td></tr></table>	区 分	平成29年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	認定看護管理者	8	9	14	16	CNS	7	11	25	33	CN	52	72	98	117	医療安全管理者		0	0	0	感染制御実践看護師			1	1	合計	67名	92名	138名	167名	高齢者施設感染対策研修講師	依頼54件 派遣 のべ35名 感染管理認定看護師・感染制御実践看護師	高齢者施設研修講師 (認知症・皮膚ケア・摂食嚥下)	依頼7件 派遣 1名 皮膚・排泄ケア認定看護師	社会福祉施設等への感染対策専門家派遣事業	33件 感染管理認定看護師	小規模施設等への医療安全推進支援講師	1件 医療安全委員会看護師	施設等の研修会講師	依頼9件 派遣 のべ9名 認知症看護認定看護師・慢性呼吸器疾患看護認定看護師 救急看護認定看護師・感染管理認定看護師など	一般研修 講師・支援者	のべ103名 〈内訳〉認定看護師：79名 専門看護師：22名 認定看護管理者：2名	認知症看護認定看護師教育課程講師	19名 〈内訳〉認定看護師：12名 専門看護師：6名 認定看護管理者：1名	ファーストレベル・セカンドレベル：講師・支援者 看護実践発表会：座長	のべ59名 認定看護管理者	CNS/CN/認定看護管理者実践報告会	参加者 16名	チームアプローチのためのコミュニケーションスキル	受講 20名
区 分	平成29年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																				
認定看護管理者	8	9	14	16																																																				
CNS	7	11	25	33																																																				
CN	52	72	98	117																																																				
医療安全管理者		0	0	0																																																				
感染制御実践看護師			1	1																																																				
合計	67名	92名	138名	167名																																																				
高齢者施設感染対策研修講師	依頼54件 派遣 のべ35名 感染管理認定看護師・感染制御実践看護師																																																							
高齢者施設研修講師 (認知症・皮膚ケア・摂食嚥下)	依頼7件 派遣 1名 皮膚・排泄ケア認定看護師																																																							
社会福祉施設等への感染対策専門家派遣事業	33件 感染管理認定看護師																																																							
小規模施設等への医療安全推進支援講師	1件 医療安全委員会看護師																																																							
施設等の研修会講師	依頼9件 派遣 のべ9名 認知症看護認定看護師・慢性呼吸器疾患看護認定看護師 救急看護認定看護師・感染管理認定看護師など																																																							
一般研修 講師・支援者	のべ103名 〈内訳〉認定看護師：79名 専門看護師：22名 認定看護管理者：2名																																																							
認知症看護認定看護師教育課程講師	19名 〈内訳〉認定看護師：12名 専門看護師：6名 認定看護管理者：1名																																																							
ファーストレベル・セカンドレベル：講師・支援者 看護実践発表会：座長	のべ59名 認定看護管理者																																																							
CNS/CN/認定看護管理者実践報告会	参加者 16名																																																							
チームアプローチのためのコミュニケーションスキル	受講 20名																																																							

IV 評価と課題 1. 登録者数	登録者数の増加に向けての取り組み ・令和元年度より登録者数増加を目標に、ホームページから登録が可能な登録フォームを作成した。並行して登録推進のチラシを作成し配布、理事会、施設代表者会、委員会、研修会等で説明し登録の目的、活動について説明し登録を依頼した。 ・年々登録者は増えてきたが、県内の認定看護師、専門看護師、認定看護管理者の登録者数（令和4年2月末現在1,066名）の15.2%にとどまっている。特に認定看護管理者の登録は8%と低い。登録者が増えない要因分析ができていないので、今後は現場の声を聞き、現状を明らかにする必要がある。リソースナースの派遣や研修講師などの活動を通して、未登録者へは周知活動をしていく。
2. 活用推進	リソースナースの活用推進の取り組み ・感染管理認定看護師の派遣内容については、介護施設への新型コロナウイルス感染予防対策の講義や演習、クラスター発生時の初動対応など多くの派遣を実施した。現場ですぐに実施できる内容を指導してもらうことで感染拡大を最小限にとどめることができた、日頃からの準備、早めの対応が重要であることなど職員の意識が変わったという声が聞かれた。さらに看護職だけでなく介護職員や理学療法士、栄養士、事務職、運転手等多職種の参加施設も多くあり、組織で感染予防に取り組むよう支援できたと考える。しかし、派遣後の施設・職員の評価までは本会では把握できておらず、リソースナースへのフィードバックができていないのが現状である。また、派遣後リソースナースと施設との連携につながったかどうか把握できていない。今後は連携も含め評価し、さらなる活用と地域でのネットワーク構築への支援をしていく。 ・本会事業の中での研修講師やファシリテータの活用はかなり件数も増えており、依頼を受けたリソースナースはモチベーションアップにつながっているようである。今後も多くの分野のリソースナースの活用ができるよう支援していく。
3. スキルアップ支援	・リソースナースのスキルアップ支援のための研修会を2回計画、実施し延べ36名が参加した。 コロナ禍での研修は内容と方法、時期を十分考える必要がある。実践の場での報告や研修を通して多くのリソースナースの情報共有ができ、看護実践能力向上につながる活動ができるよう支援していく。

令和3年度 教育認定部事業報告 教育研修

項 目	内 容																																				
I 概要	- 本年度は、当初87研修を企画し、年度途中に11研修を追加企画した。そのうち、7研修は中止した。理由は COVID-19の影響（3研修）、講師の事情（2研修）、応募者少数（2研修）であった。また、COVID-19第5波への対応として、10研修は開催日程を延期した。 - 本年度より、manaable 研修システムを使用したオンライン研修を導入し、ハイブリッド（対面・オンライン併用）開催を基本とした。																																				
II 実施状況	*開催方法別実績（実施した91研修） <table><tr><th rowspan="2">開催方法</th><th rowspan="2">研修数</th><th rowspan="2">応募者数</th><th colspan="2" rowspan="2">受講者数 (人)</th><th colspan="3">アンケート結果</th></tr><tr><th>ねらい 達成度 ※1</th><th>内容の 理解度 ※2</th><th>今後への 活用度 ※3</th></tr><tr><td rowspan="2">オンライン併用</td><td rowspan="2">55</td><td rowspan="2">2,813</td><td rowspan="2">2,548</td><td>オンライン 1,886</td><td rowspan="2">98%</td><td rowspan="2">98%</td><td rowspan="2">99%</td></tr><tr><td>対面 662</td></tr><tr><td>対面(集合)</td><td>22</td><td>1,354</td><td colspan="2">1,100</td><td>99%</td><td>100%</td><td>99%</td></tr><tr><td>オンライン</td><td>14</td><td>593</td><td colspan="2">538</td><td>95%</td><td>100%</td><td>97%</td></tr></table> ※1: ねらいについて「達成」「だいたい達成」と回答した者の割合 ※2: 内容の理解について「理解できた。」「だいたい理解できた。」と回答した者の割合 ※3: 今後への活用について「できる。」「まあまあできる。」と回答した者の割合 1. 応募状況 - 応募者総数は4,760人であった。定員に対する応募率は85.2%で、昨年（88.7%）と大差は無かった。 - ハイブリッド研修では、オンライン受講が、74%を占めた。 - 研修分類別の応募率では、「診療報酬関連研修」が139.3%と最も多く、次いで「ラダーと連動した継続教育（JNA ラダー）」111.7%、「教育体制の充実に向けた継続教育」93.3%であった。一方、少なかったのは、「ラダーと連動した継続教育（CLoCMiP）」43.8%であった。 2. 受講者アンケート結果 「研修のねらいを達成したか」「内容は理解できたか。」「実践に活用できるか。」という問いに対し4段階（できる・だいたい・あまり・できない）の回答を求めた。肯定的回答(できる・だいたい)の率の平均値は3項目ともに98～99%であった。その中で、90%に満たない項目があったのは5研修であった。 3. 講師公募について - 今年度の新しい取り組みとして、幅広い人材を起用すること、県内のリソースナースの活動を推進するために、研修講師を公募した。延べ27名の応募があり、そのうち13名に講師を依頼した。外部での講義経験の少ない講師には、事前の打ち合せを丁寧に行った。 4. オンライン研修 - オンライン受講した受講者の受講後のアンケートから、感染リスクの軽減だけでなく、移動が不要であることをメリットと感じている受講者が多かった。	開催方法	研修数	応募者数	受講者数 (人)		アンケート結果			ねらい 達成度 ※1	内容の 理解度 ※2	今後への 活用度 ※3	オンライン併用	55	2,813	2,548	オンライン 1,886	98%	98%	99%	対面 662	対面(集合)	22	1,354	1,100		99%	100%	99%	オンライン	14	593	538		95%	100%	97%
開催方法	研修数						応募者数	受講者数 (人)		アンケート結果																											
		ねらい 達成度 ※1	内容の 理解度 ※2	今後への 活用度 ※3																																	
オンライン併用	55	2,813	2,548	オンライン 1,886	98%	98%	99%																														
				対面 662																																	
対面(集合)	22	1,354	1,100		99%	100%	99%																														
オンライン	14	593	538		95%	100%	97%																														

	・運営上は、試行錯誤を繰り返しながら、徐々に機器操作に慣れた。 ・受講者側が不慣れな場合には、グループワークがスムーズに進行できないこともあった、受講者の意見等を聞きながら、事前の丁寧な説明を心掛け、徐々に改善している。受講者からは、「操作に慣れないので話し合いが進まなかった。」という意見だけでなく「オンラインでも支障なくグループワークができた。」「話しやすかった。」という意見も聞かれた。 ・受講者側に、受講の準備が整わない（1人1端末が準備できていない、カメラ・マイクが設定されていない）、自身の映像を表示しない、自身の氏名表示が徹底されない、グループワークに参加しない等のケースもみられた。これらにより、受講者の受講状況の把握がしにくく、運営に支障をきたす場合もあった。
III 評価	・コロナ禍の中でも受講できることをねらい、オンライン研修を導入したが、応募者数に顕著な変化は見られなかった。しかし、ハイブリッド研修では、オンライン受講の選択が多いことから、オンライン開催の意義はあると考える。応募者総数が伸びないのは、コロナ禍により現場が多忙である影響が考えられるが、研修企画自体がニーズを満たしているか考えることも必要である。 ・研修分類別の応募状況から、診療報酬関連の研修や JNA ラダーに関連した研修のニーズが高く、看護実践力の育成につながる研修が期待されていると考える。次年度は、教育企画委員会が実施したニーズ調査の結果を踏まえた研修を企画する。 ・受講者アンケートの結果で評価が低かった研修について検討したところ、講義自体はポイントがおさえられたわかりやすい内容であっても、受講者のレディネスが講師の想定を満たしていないという状況も見受けられた。今年度の公募により依頼した講師は、積極的に熱心に取り組まれた反面、思いが強かったことが一因であったとも考えられる。研修担当者は、その点を考慮しながら、事前の調整を進める必要がある。 ・オンライン研修は、運営側・受講者側ともに不慣れなところからスタートしており、ひとつひとつ課題を解決していく必要があった。運営側からの丁寧な説明が不可欠であることは十分認識しているが、受講者の協力も欠かせない。受講する際の準備や、受講中のルールについての周知を強化する。 ・新たに導入したオンライン研修システムについては、概ね順調に運用できている。導入当初は、利用登録や受講申込に対する問い合わせが相次いだが、できる限り具体的に丁寧な説明を心掛け、徐々に問い合わせも減少している。しかし、研修サイトの使用について利用施設を対象に行ったアンケートによると、まだ周知できていない事項もあることが確認できた。より多くの会員が利用できるよう、ホームページ上に「Q&A」を掲載する、会議等での周知、資料配布等により、理解を得られるよう取り組む。また、より使いやすくなるような機能改善について、業者に依頼していく。

令和3年度 教育研修実施状況（分類1～4）

カテゴリー		No.	研修名	開催日	定員	申込者数	受講者数			アンケート結果			
							総数	会場	オンライン	ねらいの達成度	内容の理解	今後の活用	
「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	社会ニーズに対応する能力支援のための研修	100	病棟ナースが知っておきたい在宅療養の実 際	R4/2/7(月)	60	73	56	0	56	100%	100%	100%	
		101	スタッフナースが取り組む退院支援	11/15(月) 11/16(火)	60	76	72	17	55	100%	97%	100%	
		102	退院支援実務者研修	10/11(月) 10/12(火) 10/14(木) 2/9(水)	60	65	51	18	33	82%	100%	100%	
		108	知ってお きたい認 知症看護	1) 認知症の病態と治療	7/7(水)	60	37	35	8	27	97%	97%	100%
		109		2) 老年看護の基礎的知識	11/27(土)	60	18	11		11	100%	100%	100%
		110		3) アセスメントの視点	11/9(火)	40	54	41	41		98%	98%	98%
		111		4) アセスメントに基づくケア	10/7(木)	40	41	35	35		100%	100%	100%
		112		5) コミュニケーションと生活療養環境づくり	11/6(土)	40	21	21	21		100%	100%	100%
		113	高齢者の暮らしを支えるケア	1) 健康障害を予防する感染管理	10/12(火)	40	53	44	3	41	100%	100%	97%
		114		2) 健康障害を予防する認知症ケア	11/9(火)	40	40	36	8	28	100%	100%	94%
		115		3) 健康障害を予防する摂食嚥下障害ケア	12/7(火)	40	35	32	6	26	96%	96%	96%
		116		4) 健康障害を予防するスキンケア	R4/1/19(水)	40	45	40	16	24	100%	100%	100%
		117	人生の最終段階の意思決定支援 ー最善の医療とケアのためにー①	7/1(木)	60	70	66	16	50	99%	99%	95%	
		118	人生の最終段階の意思決定支援 ー最善の医療とケアのためにー②	7/13(水)	60	50	43	11	32	99%	99%	95%	
		119	ELNEC-J 高齢者カリキュラム看護師教育プログラム	11/10(水) 11/11(木)	42	30	30		30	100%	100%	100%	
		120	新たな国民病「慢性腎臓病（CKD）」の重症化を予防する！	11/30(火)	60	43	34	9	25	91%	94%	100%	
		121	おさえておきたい！透析看護のポイント	11/1(月)	60	33	29	6	23	100%	100%	100%	
		123	災害が発生したらどう対応しますか？ ー被災病院における初動対応ー	12/13(月)	60	47	44	44		100%	100%	100%	
		132	今日から使えるアンガーマネジメント ーイライラ、怒りの感情と上手に付き合う方法ー	8/7(土)	60	54	45	45		97%	100%	93%	
		133	再発見！わたしの職業人生 ーキャリアヒストリー法を通して振り返り、見通すー	中止	30	7	ー	ー	ー	ー	ー	ー	
		134	看護研究はじめの一步	2/3(木)	60	21	20	1	19	100%	100%	100%	
		135	臨床における看護研究と支援のポイント ー研究の過程を楽しめることを目指そうー	12/9(木) 12/16(木)	40	30	28	3	25	71%	79%	100%	
		136	新生児蘇生法（NCPR）Sコース （兵庫医科大学病院共催研修）	中止	24	10	ー	ー	ー	ー	ー	ー	
		137	妊産褥婦と一緒に取り組む母乳育児	10/1(金)	40	12	8		8	100%	100%	100%	
		138	助産師のための超音波診断スキル	12/21(火)	20	9	9	3	6	100%	100%	100%	
		139	周産期における感染予防対策について ー COVID-19感染症を踏まえてー	11/26(金)	40	22	17	3	14	100%	100%	100%	
		140	「産後ケア事業」における助産師に必要な小児看護の知識と技術	10/14(木)	40	15	13	3	10	100%	100%	100%	
		141	准看護師のための看護過程と急変対応	12/8(水)	30	17	15	8	7	100%	100%	100%	
		142	介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会①	7/7(水) 7/8(木)	40	20	20	20		100%	100%	100%	
		143	介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会②	12/22(水) 12/23(木)	40	63	58	58		100%	100%	100%	
		173	クラスター発生防止研修 兵庫県健康福祉部少子高齢局高齢政策課共同研修	7/12(月)	300	9	9	2	7				
		175	感染対策エキスパートナース養成研修 ベーシックコースⅠ	10/6(水) 10/15(金) 2/28(月)	60	99	95	1	94	98%	100%	100%	
		176	介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会フォローアップ研修ー指導者情報交換会ー	R4/3/12(土)	40	14	11	5	6	83%	83%	100%	
		177	裁判例から学ぶ法的責任に基づいた看護実践	12/7(火)	70(100)	142	130	22	108	100%	100%	100%	

カテゴリー	No.	研修名		開催日	定員	申込者数	受講者数			アンケート結果		
							総数	会場	オンライン	ねらいの達成度	内容の理解	今後の活用
「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	社会ニーズに対応する能力支援のための研修	178	ウィズコロナ社会に対応する新人看護師の育成	12/24(金)	60	78	78	18	60	100%	100%	100%
		181	Hyogo リソースナース net 企画 チームアプローチのためのコミュニケーションスキルトレーニング	3/12(土)	40	21	20		20	100%	100%	100%
	診療報酬に関連した研修	182	B C P 策定支援研修	2/24(木)	280	162	141		141	91%	97%	97%
		144	糖尿病重症化予防（フットケア）研修「糖尿病合併症管理料」に対応	10/13(水) 10/19(火) 10/20(水)	50	61	46	46		100%	100%	100%
		145	医療対話推進者養成研修	9/19(日) 9/25(土) 9/26(日)	60	45	38		38	100%	100%	100%
		146	認知症高齢者の看護実践に必要な知識①【JNA収録DVD研修】「認知症ケア加算」に対応	10/25(月) 10/26(火)	60	145	64	64		100%	100%	100%
		147	認知症高齢者の看護実践に必要な知識②【JNA収録DVD研修】「認知症ケア加算」に対応	12/14(火) 12/15(水)	60	122	95	95		100%	100%	100%
		148	看護職員認知症対応力向上研修①	6/1(火) 6/2(水) 6/9(水)	60	104	57	57		100%	100%	100%
		149	看護職員認知症対応力向上研修②	2/1(火) 2/8(火) 2/14(月)	60	62	38	38		100%	100%	100%
		0	医療安全管理者養成研修（演習）①【JNA受託研修】	9/30(木)	65	65	64		64	—	99%	99%
		0	医療安全管理者養成研修（演習）②【JNA受託研修】	12/16(木)	65	65	63	63		—	100%	100%
	研究会等	169	看護実践研究会	11/20(土)	150	128	120	85	85			
		170	特定行為にかかる研修修了者の実践報告	R4/3/19(土)	0	34	36	29	29	94%	100%	100%
		171	CNS/CN/認定看護管理者実践報告会	R4/3/17(木)	50	17	16	16	16	70%	100%	70%
		172	感染管理認定看護師交流会	7/27(水)	80	28	26	17	9	100%	100%	100%
リーダーと連動した継続教育	JNAリーダー	200	1) フィジカルアセスメント（呼吸・循環）	6/21(月)	60	80	80	80		98%	100%	100%
		201	2) 看護倫理	8/19(木)	60	97	89	49	40	100%	100%	100%
		202	3) 救命救急処置技術	10/18(月)	60	92	82	43	39	97%	96%	96%
		203	4) 高齢者へのケア	11/4(木)	60	83	74	34	40	100%	100%	97%
		204	看護だからできる摂食嚥下ケア	10/26(火)	60	51	46	14	32	100%	100%	100%
		205	楽しく学ぼう循環器！ 一心不全患者の理解と看護	10/29(金)	60	74	73	24	49	75%	77%	85%
		206	人工呼吸器の基礎知識と装着中の看護 — 基本を熟知し、観察ポイントを外さない！ —	7/15(木)	60	65	59	13	46	93%	100%	95%
		207	ケアの質を高める看護倫理 — 患者・家族の意思決定を支える —	10/29(金)	60	79	75	28	47	99%	100%	97%
		208	今日から役立つせん妄ケア — 高齢入院患者のせん妄を防ぐ —	10/22(金)	60	45	39	39		96%	100%	96%
		209	フレイルから摂食嚥下障害へ進むかは入院中の関りで変わる！	11/2(火)	40	38	37	23	23	97%	100%	100%
		210	重症化・急変予測に必要なスキル — 臨床判断力を磨こう —	12/6(月)	60	134	121	92	92	97%	98%	98%
		211	みんなで学ぼう！糖尿病患者のフットケア	2/22(火)	50	26	19	19	19	99%	100%	94%
		212	最新！がん化学療法 — 求められる看護師の役割 —	12/10(金)	60	42	36	22	22	100%	100%	100%
		213	地域と病院をつなぐ外来看護 — 在宅療養支援における外来看護師の役割 —	6/26(土)	60	35	30	18	18	100%	100%	100%
		214	在宅療養支援における外来看護管理者の役割	2/25(金)	60	31	28	28	28	100%	100%	100%
	C O O C M I P	215	1) 産褥期の看護	6/23(水)	40	25	25	25		100%	100%	100%
		216	2) 新生児の看護	7/21(水)	40	25	24	24		100%	100%	100%
		217	3) 妊娠期の看護	12/13(月)	40	27	26	13	13	100%	100%	100%

カテゴリー		No.	研修名		開催日	定員	申込者数	受講者数			アンケート結果			
								総数	会場	オンライン	ねらいの達成度	内容の理解	今後の活用	
ラダーと連動した継続教育	C O C M I P	218	新人助産師集合研修	4) 分娩期の看護	11/19(金)	40	27	26	8	18	100%	100%	100%	
		219	指導に活かそう！妊娠から授乳期における栄養と知識 (CLOCMiP®Ⅲ申請対象研修)			6/10(木)	40	12	12	2	10	100%	100%	100%
		220	胎児モニタリングと分娩管理 (CLOCMiP®Ⅲ申請対象研修)			6/18(金)	40	7	7	0	7	100%	100%	100%
		221	妊娠期から産褥期の異常時の対応 (主に出血に対して) (CLOCMiP®Ⅲ申請対象研修)			6/30(水)	40	11	10	0	10	100%	100%	100%
		222	助産記録 (CLOCMiP®Ⅲ申請対象研修)			7/9(金)	40	6	6	2	4	100%	100%	100%
		223	臨床推論 CLOCMiP®Ⅲ申請対象研修)			中止	40	1	中止	—	—	—	—	—
		224	周産期に関する倫 (CLOCMiP®Ⅲ申請対象研修)			中止	40		中止	—	—	—	—	—
看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	看護管理者対象研修	300	主任のための役割講座			6/28(月) 6/29(火)	60	86	61	14	47	98%	96%	99%
		301	師長のための基軸づくりと役割講座			7/8(木) 7/9(金)	60	38	36	9	27	100%	100%	100%
		302	論文の書き方①	一論理的思考・記述力アップー		5/11(火)	80	56	55	17	38	100%	100%	100%
		303		一論理的思考・記述力アップー		6/26(土)	80	35	35	2	33	100%	100%	97%
		304		一論理的思考・記述力アップー		8/10(火)	80	54	54	13	41	100%	98%	100%
		305		一論理的思考・記述力アップー		11/9(火)	80	53	52		52	98%	100%	100%
		306		一論理的思考・記述力アップー		1/5(水)	80	44	44		44	97%	100%	100%
		307	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修①【JNA収録DVD研修】			11/2(火)	60	51	46	46		100%	100%	100%
		308	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修②【JNA収録DVD研修】			11/5(金)	60	48	48	48		100%	98%	100%
		313	ファーストレベル公開講座①	看護サービスと記録		11/28(日)	30	10	9		9	100%	100%	100%
		314	看護チームのマネジメント	1/21(金)		30	32	26		26	96%	100%	96%	
		315	セカンドレベル公開講座①	師とレスマネジメント・タイムマネジメント		中止	30	—	—	—	—	—	—	—
316	災害対策	中止		30	—	—	—	—	—	—	—	—		
専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	施設内の教育体制の充実に向けた研修	400		JNAラダーを自分のキャリア開発に活かすために		10/21(木)	60	15	15	15	15	100%	100%	100%
		401	新人看護職員卒後臨床研修事業	実地指導者研修①		7/14(水) 11/18(木) 12/17(金) 2/9(水)	50	44	43	27	27	100%	100%	100%
		402		実地指導者研修②		8/4(水) 12/2(木) 10/6(水) 2/21(月)	50	35	35	27	27	100%	100%	100%
		403		教育担当者研修		6/14(月) 6/24(木) 8/17(火) 8/18(水) 2/16(水)	60	56	54	33	33	100%	100%	99%
		404		研修責任者研修		5/28(金)	30	31	26	13	13	100%	100%	100%
		405	【中止】管理者として生涯キャリアを見直し、スタッフのキャリア形成を促すーキャリアヒストリー法の活用ー			9/7(火)	30	中止	中止	—	—	—	—	
		410	オンライン研修を企画しよう!!			R4/2/28(月)	50	48	43	—	43	95%	98%	100%
	教員・実習指導者を対象とした研修	406	保健師助産師看護師実習指導者講習会＜一般分野＞			6/24(木)～ 8/6(金)	60	54	54	54				
		407	保健師助産師看護師実習指導者講習会＜特定分野＞			11/10～12/2	30	20	20	20				
		408	兵庫県看護学校協議会共催研修①			9/5(日)	0	194	169	11	158	100%	99%	98%
409	兵庫県看護学校協議会共催研修②			R4/2/19(土)	0	147	137	137		89.9%	100%	95%		

令和 3 年度 図書室運営報告

項 目	内 容																																										
I 資料の所蔵状況	1. 蔵書数冊…5,815冊 今年度受入図書145冊（購入63冊、寄贈82冊） 2. 定期入荷雑誌43誌（年度途中での廃刊 1 誌含む） 3. 定期購読新聞 4 紙																																										
II 利用状況	1. 開室日 204日 2. 利用者数 1,381名（7 名/日） 3. 図書貸出回数 865回（4 回/日） 4. 室内文献複写件数 682件（3 件/日） 5. ホームページ蔵書検索アクセス数 1,471回 6. 図書室利用者数（令和 2 年～令和 3 年） <table><tr><th>月</th><th>4 月</th><th>5 月</th><th>6 月</th><th>7 月</th><th>8 月</th><th>9 月</th><th>10 月</th><th>11 月</th><th>12 月</th><th>1 月</th><th>2 月</th><th>3 月</th><th>計</th></tr><tr><td>利用者数R 3</td><td>55</td><td>86</td><td>164</td><td>337</td><td>91</td><td>0</td><td>152</td><td>163</td><td>108</td><td>103</td><td>77</td><td>45</td><td>1381</td></tr><tr><td>利用者数R 2</td><td>11</td><td>0</td><td>293</td><td>212</td><td>164</td><td>320</td><td>289</td><td>239</td><td>207</td><td>78</td><td>59</td><td>40</td><td>1912</td></tr></table>	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	利用者数R 3	55	86	164	337	91	0	152	163	108	103	77	45	1381	利用者数R 2	11	0	293	212	164	320	289	239	207	78	59	40	1912
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計																														
利用者数R 3	55	86	164	337	91	0	152	163	108	103	77	45	1381																														
利用者数R 2	11	0	293	212	164	320	289	239	207	78	59	40	1912																														
III 図書室利用教育サービス	1. 図書室オリエンテーション実施状況 初回利用者の他に、長期研修受講者には集団での図書室オリエンテーション実施。 <table><tr><th colspan="2">長期研修会オリエンテーション(所要時間15分)</th></tr><tr><th>研修会名</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>ファーストレベルⅠ期</td><td>16</td></tr><tr><td>実習指導者養成講習会 一般</td><td>54</td></tr><tr><td>ファーストレベルⅡ期</td><td>64</td></tr><tr><td>認知症看護認定看護師 B 課程</td><td>20</td></tr><tr><td>実習指導者養成講習会 特定</td><td>20</td></tr><tr><td>合計</td><td>174</td></tr></table> 2. 文献検索支援 会員及び長期研修受講者に対し、医中誌 Web、最新看護索引 Web 等のデータベースを使用した文献検索支援を実施	長期研修会オリエンテーション(所要時間15分)		研修会名	参加人数	ファーストレベルⅠ期	16	実習指導者養成講習会 一般	54	ファーストレベルⅡ期	64	認知症看護認定看護師 B 課程	20	実習指導者養成講習会 特定	20	合計	174																										
長期研修会オリエンテーション(所要時間15分)																																											
研修会名	参加人数																																										
ファーストレベルⅠ期	16																																										
実習指導者養成講習会 一般	54																																										
ファーストレベルⅡ期	64																																										
認知症看護認定看護師 B 課程	20																																										
実習指導者養成講習会 特定	20																																										
合計	174																																										
IV 広報	1. ホームページに、新着情報、蔵書検索、利用案内、所蔵雑誌一覧表、Library News 及びLibrary News 番外編(各 4 回)、Magazine Library News(6 回)、こどもらいぶらりーにゅーす（3 回）を公開 2. 広報誌『看護ひょうご』に新着図書情報を掲載（4 回） 3. 4 階ホール、エレベーター、研修室（7 か所）に Library News のポスターを掲示 4. 研修室にて図書室利用案内スライドショーの上映																																										
V 評価	1. 図書室運営委員会開催 1) 回数 4 回 2) 内容 図書及び雑誌の選書、廃棄図書の選定、除籍規定の見直し等 2. 蔵書点検 点検結果 不明図書 3 冊、不明雑誌 0 冊 3. データベース 医中誌 Web で本会図書室所蔵雑誌にはアイコンが表示されるように設定。雑誌へのアクセスが効率よく行なえるようになった。 4. 除籍規定の見直し 製本雑誌の保存期間を刊行後20年から10年に変更 5. 利用状況の評価 利用者はコロナ禍のため減少している。コロナ禍でも利用してもらえるような新たな取り組みが必要である。																																										

◆訪問看護総合支援センター事業報告

I 事業の目的（事業の概要）

すべての人が、住み慣れた地域で、のぞむ暮らしを人生の最期まで過ごすことができるよう、訪問看護に関わるさまざまな課題に取り組み、地域における訪問看護提供体制の安定化を図る。そのために、県内の訪問看護事業所が、地域のニーズに応じた良質な訪問看護サービスを継続して提供できるよう支援する。

II 事業実施の経緯

兵庫県では、高齢者人口の増加、自宅等での終末期の療養を希望する人の増加等、在宅医療の充実が求められており、県により、さまざまな補助事業が実施されてきた。今年度、本会において、訪問看護の情報収集や各事業所への情報発信、訪問看護の人材確保や教育、事業所経営の安定化等の課題を解決するために、県の補助を受け訪問看護総合支援センターを設置した。

III 実施状況

1. 訪問看護総合支援センターの運営に関する事項

1) 訪問看護総合支援センターの広報

- ・チラシによる説明（定時総会、理事会、施設代表者会、会員会、訪問看護ステーション連絡協議会理事会）
- ・リーフレット配布（会員施設、県内訪問看護事業所、各医療職団体、地域包括支援センター）
- ・本会ホームページ掲載

2) 訪問看護推進会議の開催（年4回）

・検討内容

新卒訪問看護師・指導者等の交流会の開催、合同就職説明会への参画、離職防止、ICTによる情報共有、訪問看護現場の課題等

- ・ワーキンググループによる『新卒訪問看護師育成プログラム』の見直し

3) 訪問看護ステーション連絡協議会との合同会議の開催（年7回）

・検討内容

訪問看護総合支援センターが開催する研修等の企画、訪問看護事業所からの相談内容の共有、COVID-19関連等現場の情報共有等

2. 訪問看護事業所の人材確保・離職防止に関する事項

1) 他施設間における訪問看護師オンライン交流会

第1回（新卒訪問看護師交流会）

参加者：4名

開催日：令和3年10月26日

第2回（訪問看護師交流会）

参加者：16名

開催日：令和4年3月15日

グループ：新任訪問看護師、新任訪問看護師指導者、訪問看護管理者、男性訪問看護師

2) 合同就職説明会でのブース開設

令和4年2月5日

3) 相談

3. 訪問看護の質の向上に関する事項

1) 研修（オンラインと会場の併用）

- ・訪問看護導入研修『みんなで学ぼう 訪問看護』

参加者：①60名 ②32名

開催日：①令和3年5月29日 ②令和3年10月30日

場 所：兵庫県看護協会会館

内 容：訪問看護の現状、訪問看護に関する制度、訪問看護の実際、
グループワーク（事例検討）

・機能強化型訪問看護ステーション普及セミナー『訪問看護からはじめる小児看護』

参加者：19名

開催日：令和3年8月7日

場 所：兵庫県看護協会会館

内 容：機能強化型訪問看護管理療養費・県在宅看護体制機能強化事業の説明、小児の身体的特徴とアセスメント、医療的ケア児とは、小児訪問看護の実際、グループワーク（小児訪問看護の実践）

・訪問看護新任管理者研修『今日からできる、ほやほや管理者研修』

参加者：39名

開催日：令和3年10月9日

場 所：兵庫県看護協会会館

内 容：訪問看護運営の基礎、人材管理と人材育成、安全管理と労務管理、管理者の役割、グループワーク（安定的な経営を目指して）

・訪問看護管理者研修（労務管理）『訪問看護事業所の働き方改革』

参加者：15名

開催日：令和3年10月16日

場 所：兵庫県看護協会会館

内 容：労務管理の基本、働き方改革関連法に伴う訪問看護事業所に必要な労務管理、グループワーク（自事業所での取り組み）

・管理者交流会『地域で取り組む看護職のキャリア支援』

参加者：9名

開催日：令和3年11月27日

場 所：兵庫県看護協会会館

内 容：兵庫県の看護職需給状況、訪問看護と病院の勤務経験を活かしたキャリア、グループワーク（各施設での人材確保・育成の現状と課題）

・看看連携研修『ICT でつなげる看護』

参加者：41名

開催日：令和4年1月15日

場 所：兵庫県看護協会会館

内 容：各施設移行期の看看連携についてー ICT による情報共有の実際ー、グループワーク（退院支援に関する事例検討、看看連携を推進するための ICT 活用に関する現状と課題）

2) 相談

・訪問看護事業所から、センターにおける相談業務および社労士や連絡協議会会員を活用した相談対応

概要：制度、報酬請求、研修、COVID-19関連 等

4. 訪問看護事業所の経営の安定化、職場環境整備に関する事項

1) 問題解決支援に向け、兵庫しごと生活支援センターとの協働による勤務環境改善のための実態調査に向けた打ち合わせの実施

2) 新設事業所を対象とした実態調査 5事業所

3) 相談

※相談総数（上記2－4の項の相談合計）：154件

IV 事業のまとめ（次年度への課題）

県の補助事業として、本会に訪問看護総合支援センターを設置した。前年度までの研修等を継続したほか、訪問看護事業所のヒアリングや訪問看護ステーション連絡協議会の意見から、交流会等の新たな企画を実施した。また、相談は訪問看護事業所運営の基本的な内容からハラスメントまで多岐にわたった。

次年度は、事業所実態調査の結果を分析し、訪問看護事業所運営の課題を明らかにしていく。また、訪問看護ステーション連絡協議会との合同会議や訪問看護推進会議の意見を反映し研修企画を見直していく。さらに、ホームページやメールによる情報発信を、訪問看護関係者にとってより魅力ある内容にする。

◆訪問看護師・訪問介護員等の安全確保・離職防止対策事業

I 事業の目的（事業の概要）

訪問看護師・訪問介護員等の安全確保・離職防止を図るため、訪問看護利用者やその家族等からの暴力等に対する事業所の対応能力向上対策や職員のメンタルヘルス対策等を推進する。

II 事業実施の経緯

平成29年に本事業を開始し4年が経過した。外部委員も含めた暴力等対策検討会議で、現状の課題について検討し、『訪問看護師・訪問介護員が受ける暴力等対策マニュアル』の作成と本会ホームページへの掲載、および訪問看護師・訪問介護員等を対象とした研修を企画、実施してきた。また、本会において訪問看護師・訪問介護員等への相談窓口（お困り相談ひょうご）を開設し、対応しているところである。

III 実施状況

1. 訪問看護師・訪問介護員等に対する暴力等対策検討会議の開催

年3回

2. 研修会（オンライン）

第1回

テーマ：『訪問看護師・訪問介護員等への利用者・家族からの暴力等対策研修』（講義）

開催日：令和3年10月16日

参加者：184名

内 容：県が実施する介護現場のハラスメント対策、検討会議のこれまでの取り組み、安全確保・離職防止の視点から考える暴力・ハラスメント対策、利用者・家族からのハラスメントについての法的な視点

第2回

テーマ：『体験型：暴力・ハラスメントへの基本的な対応』（ロールプレイ）

開催日：令和4年2月19日

参加者：29名（訪問介護9事業所、訪問看護4事業所、居宅介護支援2事業所）

内 容：ハラスメント事例に対する基本的な対応方法をロールプレイで確認する。

3. お困り相談ひょうご（電話相談窓口）設置

相談日：月～金 13：00～16：00

相談件数：18件

IV 事業のまとめ（次年度への課題）

講義形式の研修は、初めての参加者が8割を占め、研修を継続することによる暴力等への認識の変化や対応力向上に一定の効果が期待できるのではないかと考える。特に、ロールプレイでの研修は、参加者にとってわかりやすいと満足度の高い研修になっている。しかし、参加できる事業所数が限られており、多くの人が参加できる工夫が必要である。また、相談の総件数は少ないものの、相談内容としては、サービス契約の解除に至るような深刻なケースもある。

次年度は、相談業務の充実、研修内容の変更、そして、ホームページの周知により、多くの事業所や関係者が、暴力等への対応能力を向上できるよう努める。

◆看護小規模多機能型居宅介護の設置推進及び普及啓発に関する委託事業（日本看護協会）

I 事業の目的（事業の概要）

県民が住み慣れた地域で生活を継続するために、24時間生活を支える介護サービス提供体制を整備できるように、行政、看護職、関連職種等を対象に、看護小規模多機能型居宅介護（以下、看多機）のサービス概要や役割・機能等について情報提供を行い、看多機の理解促進及び認知度向上を図る。

II 事業実施の経緯

平成24年に始まった看多機は、訪問介護・訪問看護・通い・泊まりの4つのサービスを1つの事業所から受けることができ、医療依存度の高い方や終末期の方の在宅療養において有用なサービスである。

しかし、現在の兵庫県内での設置数は49事業所で、他の介護サービスに比べ極めて少ない。そこで、日本看護協会から『看護小規模多機能型居宅介護の設置推進及び啓発に関する委託事業』を受け、下記の事業を実施した。

III 実施状況

1. 看多機に関するニーズ把握

1) 看多機事業所へのヒアリング調査

看多機の開設や運営における課題を検討するため、看多機事業所2か所と看多機開設を断念した施設の管理者（すべて看護職）に調査を実施した。

2) 県が実施した調査結果の共有

看多機は地域密着型サービスであり、設置推進には市町の協力が欠かせないため、市町の看多機設置数や看多機が普及しない原因を共有した。

3) 看多機設置推進・普及啓発委員会での分析

1) 2) の結果をもとに看多機の設置や運営の課題を明らかにした。

4) 研修後のアンケートによる評価

アンケートの結果から、看多機の認知度が低いことや設置数が増加しない原因を吟味した。

2. 看多機設置推進・普及啓発委員会の発足

構成員：県担当課長、看多機事業者連絡協議会会長、介護支援専門員協会常任理事、本会常務理事、地域ケア事業部長、訪問看護総合支援センター担当職員（6名）

目的：看多機事業所の設置推進と普及啓発に向け、情報共有や課題・今後の取り組みを検討する。

開催回数：4回

内容：看多機の設置推進や運営の課題、普及啓発のための研修やチラシの作成・配布について検討した。

3. 研修会（オンラインと会場の併用）

テーマ：『これからの在宅療養を支えるのは？～医療拒否により急遽退院し、看多機で心身の状態が改善した難病の事例～』

開催日：令和4年2月15日

内容：看多機について、加古川市の取り組みについて、退院時に看多機を利用した事例の紹介
参加者：109名（ケアマネジャー、看護職、市町の職員、その他）

場所：兵庫県看護協会会館

4. チラシ作成・配布

目的：看多機のシステムや活用事例について周知し、看多機の利用を促進する。

配布先：協会会員施設（医療機関）、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所

IV 事業のまとめ（次年度への課題）

日本看護協会から令和3年度の事業として受託した本事業であるが、本事業の目的に示す看多機の設置推進に向けた普及啓発に関しては十分ではなく、今後、看多機における看護職の役割の啓発など、継続した取り組みが必要だと考える。次年度は、本会事業として継続し、内容は、委員会運営の継続と、県担当課や看多機事業者連絡協議会との連携により、看護職を対象とした研修等の取り組みを検討する。

◆まちの保健室事業報告

I 事業の目的（事業の概要）

専門職によるボランティア活動は、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象とした地域住民の心身の健康、子育て、生活習慣病予防、介護などのさまざまな不安や悩みを、ゆっくり語れる「場」を提供し、気軽に健康に関する相談に応じる。また、少子高齢社会における看護の社会性を進め、住民のライフサポーターとしての存在となる。

II 事業実施の経緯

まちの保健室活動は、阪神・淡路大震災直後から避難生活を行う人々や、仮設住宅・災害復興支援住宅への救護、閉じこもり・孤独死等の予防支援活動を平成13年7月から活動を開始し、当初の10年間は震災復興を核に、その後の数年間は兵庫県全域に健康づくり活動を拡大してきた。現在は、まちの保健室ボランティアが地域のために貢献する、活性化と自律・自立を目指す発想をもって新たな段階へと進み始めている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により制限のある中、新たな「まちの保健室」のあり方について検討する。

III 実施状況

1. 組織運営に関する事項

- 1) まちの保健室委員会開催 7回
- 2) コーディネーター会議 1回
- 3) 「まちの保健室」研修会 オンライン併用開催 参加者：30名

開催日：令和4年2月19日

場 所：兵庫県看護協会会館

内 容：テーマ：『「まちの保健室」過去から未来へ～ボランティア活動を支えるものは～』

講演1「兵庫方式「まちの保健室」始まりから今日まで

～つくり・ふりかえり・つなぐ～

但馬支部コーディネーター 西垣悦代 氏

講演2「まちの保健室と私」語り継ぐ意味～誇りと勇気を～

但馬支部コーディネーター 原田琥珀美 氏

グループワークテーマ：「まちの保健室」ボランティア活動を支えるものは？

コロナ時代を経験し、新たな「まちの保健室」活動とは

まとめ：研修参加者のうちボランティア未経験者が67%であった。研修後アンケートおよびグループディスカッションでは、経験者より学ぶ機会となり勉強になったと回答があった。また、支部の委員やボランティアの現状は活動未経験者が増えていることから、支部でのマニュアルの整備や機材の取り扱い研修が必要であるとの指摘もあった。さらに、コロナ禍において現職の看護ボランティア確保が難しいことから、潜在看護職の登録も視野に、ボランティア確保が継続的な課題であることも意見交換が行われた。

2. まちの保健室活動

1) 定期開催の拠点活動

拠点活動は、新型コロナウイルス感染症拡大によるボランティア活動の制約、主催側の活動拠点の閉鎖によって118ヶ所のうち106ヶ所（90%）が開催できなかった。実施できたのは、12ヶ所合計46回の活動ができた。これらは、オンライン（一部対面）を活用した子育て支援10回、地域感染状況をふまえ感染対策を強化した上での対面での健康相談34回、講座2拠点で実施された。

各支部の拠点における健康相談・子育て支援活動

拠点	118ヶ所
健康相談回数	34回
子育て支援回数	10回
介護相談回数	0回
講座回数	2回

認知症対応型回数	0回
来場者数	376名
ボランティア登録者数	1,414名
活動ボランティア延べ数	61名

2) 出前隊活動（各団体主催のイベント等にまちの保健室として参加）

出前隊活動は、例年、出前隊の要請があるピンクリボン活動、乳がん自己検診法啓発活動、たばこ対策受動喫煙防止に関する指導活動は中止となった。オンライン子育て支援活動は出前隊としても実施された。

出前で実施された健康相談・子育て支援活動

出前隊件数	70ヶ所
健康相談回数	11回
子育て支援回数	55回
講座回数	2回
来場者総数	1,024回
活動ボランティア数	40名

3. 協会における「まちの保健室」活動

1) 「まちの保健室」電話相談窓口設置

期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日 12件

2) 「まちの保健室」月曜日開催（予約制） 0件

日時：令和3年10月25日～再開 13：00～15：00

4. 「まちの保健室」事業報告の作成に関する事項

1) 令和3年度事業報告の発行と配布

令和3年度事業報告書を1,400部作成し、施設会員、県健康福祉部に配布

5. その他

1) 「コロナ禍でのまちの保健室開催時の注意点」等を支部に情報共有

2) フェイスシールド、感染対策物品を配布

3) 血管年齢計や骨密度計については、本格的再開に向けて機材の整備に取り組んだ。タブレット型血管年齢計の拡充については測定年齢が80歳未満であるため、次年度導入検討を延期とした。

4) 委員やコーディネーターは、拠点での活動マニュアルの整備や関係者との交流が切れないよう心掛けていたとの意見があった。

IV 事業のまとめ（次年度への課題）

まちの保健室活動は、例年の10%程度にとどまった。活動については、支部ごとの感染状況の判断や地域特性に応じた検討がなされ、オンラインの活用、予約制等の工夫がなされた。参加したボランティアからは感染対策を徹底したことで来場者双方が安心して参加できた、また久々の開催に住民の方の再開を待ちわびていた声が聞かれたと報告があった。

研修会参加者の意見より、「まちの保健室」活動未体験者向けの支部マニュアルの整備と機材の取り扱い研修や、看護ボランティアの確保が課題であり、今後検討していきたい。

次年度に向けて、今年度活動できなかった拠点については、活動休止中も拠点関係者との交流の継続が重要である。また、図書館等の新規拠点開設や出前隊希望の問い合わせがあり、今後も状況を判断し住民のニーズに応える活動を模索したい。

◆神戸市いきいき健康サポート事業報告

I 事業の目的（事業の概要）

この事業は、主として地域福祉センター等で行われる地域住民による自主活動の際に、健康サポーター（看護職、その他登録医療職）を派遣し健康相談を実施することで、健康の維持増進や介護予防を図ると共に、地域住民による健康づくりや介護予防のための地域の取り組みの促進を図ることを目的とする。

II 事業実施の経緯

平成18年10月から神戸市の委託を受けて開始、平成29年度より看護職ボランティアの活動から多職種を混じえた協働活動へと拡充し現在に至る。

III 実施状況

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の都度、神戸市から全事業の停止の方針が出され、宣言解除時は実施できた拠点は3か所であった。今年度末で本事業は終了となった。

1. いきいき健康サポート事業に関する事項

実施地区	東灘	中央	兵庫	灘・北	長田	須磨	垂水	西	合計
実施回数	0	0	0	0	9	0	4	0	13
活動ボランティア 延べ数	25名								
被相談実人数	86名（延人数 103名）								

	重点健康相談							総合 健康 相談	合計
	高血圧	高脂血症	糖尿病	歯周疾患	骨粗鬆症	病態別	女性の 健康		
被相談 実人数	42	2	2	8	1	3	1	28	86

2. 教育に関する事項（健康サポーター研修・交流会）

1) サポーター研修会・交流会

日 時：令和3年7月8日 講義 13：30～15：30
交流会 15：40～16：40

テーマ：「フレイル予防に関して」

講 師：兵庫県理学療法士会 副会長兼事務局長 山本克己 氏

場 所：兵庫県看護協会会館

参加者：研修会15名 交流会10名

内 容：・神戸市のフレイル事業や、有酸素運動・認知症運動等
・活動についての意見交換と今後の取り組みについて
・新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種資料の配布

IV 事業のまとめ（次年度への課題）

新型コロナウイルス感染拡大の制約により拠点の意向に沿った形で継続的に実施できた拠点は3か所にとどまった。多職種協働においても、一部の方のみの活動となった。物品購入やリーフレット購入等を見合わせた。

サポーター研修会は、神戸市のフレイル事業等理解を深めることができ、交流会で情報共有することができた。

本事業は、神戸市の方針として今年度末で終了が決定した。拠点に対しては、神戸市の他の健康支援事業の活用を案内するとともに、健康サポーターに対しては本事業以外への協力の案内を行うことで、地域住民の健康づくりを支援していく。

◆神戸市シニア健康相談ダイヤル事業報告

I 事業の目的（事業の概要）

本事業は、主として神戸市役所内に看護専門スタッフを派遣し、主に高齢者に対して健康相談を実施することで、健康の維持増進や介護予防、適切な医療受診等を図ることを目的とする。

II 事業実施の経緯

令和3年11月から神戸市の委託を受けて開始、現在に至る。

III 実施状況

看護職相談員が、神戸市に居住する高齢者やその家族に対し、個々の身体状況に応じた生活習慣病の予防や健康づくりや、介護予防等に関する相談に対応した。

健康相談の中にはメンタル不調者に関する相談や新型コロナウイルス感染症関連やワクチン接種の問い合わせもあった。

1. シニア健康相談ダイヤル事業に関する事項

1) 対象：神戸市内に在住の、主に高齢者（65歳以上）およびその家族

2) 相談実績（平日 10：00～15：00）

実施月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	120	128	383	706	282	1619
延べ相談員数	40	40	38	36	44	198

2. 教育に関する事項（研修会）

1) 相談員説明会

日 時：令和3年10月27日 9：00～11：00

場 所：兵庫県看護協会会館

参加者：相談員 7名

内 容：事業の概要と業務内容について

2) 相談員対応力向上研修会

「電話相談の考え方・実践について」

講 師：兵庫県精神保健福祉センター心の健康相談員・臨床心理士 大森美恵 氏

日 時：令和4年3月28日16：00～17：30

場 所：兵庫県看護協会会館

参加者：相談員5名 神戸市担当者（オンライン参加）、協会担当者

内 容：老年期の特徴・電話相談に現れる諸問題・事例を用いた対応

IV 事業のまとめ（次年度への課題）

年度途中の新規事業として開始し、市の広報直後は特に多くの電話があり、新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えや孤立している高齢者と家族の様々な不安に対応した。5カ月間で1,619件の電話対応をしており、相談の振り返りの必要性を感じた。

相談員研修会では、メンタル不調を訴える高齢者の話を聞く際に、どのような対応をしたら良いか事例を交えて意見交換ができた。

次年度は、内容によって適切な紹介先につなぐこと、緊急性のある事例への対応方法についても、神戸市と検討し、相談員が看護の専門性を十分発揮できる体制づくりに努めていきたい。

◆神戸市地域拠点型一般介護事業における介護予防講座支援事業報告

I 事業の目的（事業の概要）

この事業は、地域の特性・ニーズに応じ、専門職による介護予防に関する正しい知識の普及を図ることにより、介護予防の認識と自覚を高め、健康寿命の延伸に資することを目的とする。

II 事業実施の経緯

平成29年から神戸市の委託を受けて開始、活動場所と活動数は徐々に増加し現在に至る。

III 実施状況

新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者の集いの場が少ない中、神戸市の方針を受け感染対策をとり会場閉鎖を除き計画通り拠点数34拠点で開催できた。

1. 介護予防講座支援事業に関する事項

実施地区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	合計
実施回数	16	22	1	8	6	15	0	20	1	95
活動 ボランティア数	95名									
参加者延べ人数	1035名									

講座プログラム：総合 / 社会参加、認知症予防、心の健康 / 閉じこもり予防、生活 / 季節に応じた健康づくり、【生活習慣】高齢者に起こりやすい病気、【生活】リクエストによる身体によいお話

2. サポーター研修会・交流会

日 時：令和3年7月8日 講義 13:30～15:30

交流会 15:40～16:40

テーマ：「フレイル予防に関して」

講 師：兵庫県理学療法士会 副会長兼事務局長 山本克己 氏

場 所：兵庫県看護協会会館

参加者：研修会15名 交流会10名

内 容：・神戸市のフレイル事業・有酸素運動・認知症運動（きっこう運動）・変形性膝関節の予防・ストレッチ・運動についての講義
・活動についての意見交換と今後の取り組みについて
・新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種資料の配布

まとめ：神戸市のフレイル事業・運動についての講義を受けた後、サポーターが講義内容を今後の介護予防講座でどのように活用するか意見交換ができた。

IV 事業のまとめ（次年度への課題）

活動状況は、活動地区によってばらつきがみられるが、サポーターの実施した講座に対してはそれぞれの活動拠点の講座受講者から好評を得ている。

相談の質向上を目指したサポーター研修会は、神戸市フレイル事業・運動についての講義を受けた後、講義内容の活用について意見交換ができた。

今年度末、介護予防講座のテーマの見直しが行われ、フレイル予防や介護予防について看護職と他職種（栄養士・歯科衛生士・薬剤師・リハビリ専門職）がそれぞれの専門性を発揮できる内容に次年度から変更されることになった。この事業は、地域の中でコロナ禍においても、高齢者の集いの場として孤独にならず普段から顔の見える関係性を築くために有用であると指摘されており、引き続き、活動の拡充を図り、地域住民の健康寿命延伸を支援していきたい。

令和3年度 ナースセンター部 事業報告

項 目	内 容																																																			
I 事業の目的 (事業の概要)	ナースセンターは無料職業紹介所として、看護職の就業を支援するとともに、潜在看護職が職場復帰の際に必要な各種研修や看護職の離職防止及び定着促進のための研修事業等を実施している。また、進学相談、就業に関する相談などに応じる相談事業「看護なんでも相談」、定年後も生き生きと働き続けられる「プラチナナース活躍推進事業」、「保健師バンク」を展開し、県内の看護職の就業促進及び確保定着に努め、安全な看護の提供と看護の質の向上を目指している。																																																			
II 事業実施の経緯	「看護師等の人材確保の促進に関する法律（平成4.6.26法律86）」に基づき、兵庫県看護協会が兵庫県よりナースセンターとして指定を受け、看護職の人材確保と定着の推進を目的として、以下の事業を展開している。																																																			
III 実施状況	I 看護師等の就業促進及び定着に関する事業（数値は令和4年3月31日現在） 1. ナースバンク事業 1) e ナースセンター（NCCS 登録者数） <table><tr><th>年間月平均求人登録数</th><th>年間月平均求職登録者数</th><th>年間登録者の就業数</th></tr><tr><td>1,982</td><td>1,135</td><td>965</td></tr></table> 2) コロナ関連求人求職（e ナースセンター内数） <table><tr><th colspan="3">相談問い合わせ</th><th rowspan="2">求職者数</th><th rowspan="2">求人数 (ワクチン 接種業務)</th><th rowspan="2">紹介人数</th><th rowspan="2">就業者数</th></tr><tr><th>看護職</th><th>施設</th><th>その他</th></tr><tr><td>2,910</td><td>56</td><td>0</td><td>976</td><td>631(566)</td><td>976</td><td>499</td></tr></table> 採用先：ワクチン接種業務445人、宿泊療養施設52人、コールセンター2人 3) 相談業務 「看護なんでも相談」 ●神戸本所 (1) 相談受付：月曜日から金曜日 10：00～12：00および13：00～16：00 (2) 相談日数：239日 (3) 相談件数：5,106件 <table><tr><th>来所</th><th>電話</th><th>郵送</th><th>お問合せ画面・eメール</th></tr><tr><td>463</td><td>2,477</td><td>0</td><td>2,166</td></tr></table> (4) 相談内容の内訳 <table><tr><th>求職</th><th>求人</th><th>労働環境</th><th>進学</th><th>登録</th><th>その他</th></tr><tr><td>4,115</td><td>121</td><td>19</td><td>16</td><td>539</td><td>296</td></tr></table> ●姫路支所 平成27年2月23日開所 (1) 相談受付：月曜日・水～金曜日 12：00～16：00 (2) 相談日数：189日 (3) 相談件数：352件 <table><tr><th>来所</th><th>電話</th><th>郵送</th><th>お問合せ画面・eメール</th></tr><tr><td>139</td><td>213</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	年間月平均求人登録数	年間月平均求職登録者数	年間登録者の就業数	1,982	1,135	965	相談問い合わせ			求職者数	求人数 (ワクチン 接種業務)	紹介人数	就業者数	看護職	施設	その他	2,910	56	0	976	631(566)	976	499	来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール	463	2,477	0	2,166	求職	求人	労働環境	進学	登録	その他	4,115	121	19	16	539	296	来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール	139	213	0	0
年間月平均求人登録数	年間月平均求職登録者数	年間登録者の就業数																																																		
1,982	1,135	965																																																		
相談問い合わせ			求職者数	求人数 (ワクチン 接種業務)	紹介人数	就業者数																																														
看護職	施設	その他																																																		
2,910	56	0	976	631(566)	976	499																																														
来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール																																																	
463	2,477	0	2,166																																																	
求職	求人	労働環境	進学	登録	その他																																															
4,115	121	19	16	539	296																																															
来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール																																																	
139	213	0	0																																																	

(4) 相談内容の内訳

求職	求人	労働環境	進学	登録	その他
261	59	17	0	1	14

●宝塚支所 平成27年10月5日開所

(1) 相談受付：月～金曜日 12：00～16：00

(2) 相談日数：239日

(3) 相談件数：1,250件

来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール
137	1,108	2	3

(4) 相談内容の内訳

求職	求人	労働環境	進学	登録	その他
1,093	148	1	4	0	3

●サテライト北播 平成28年9月6日開所

(1) 相談受付：月・木曜日13：00～16：00

火・水曜日12：00～16：00

(2) 相談日数：193日

(3) 相談件数：176件

来所	電話	eメール
44	131	1

(4) 相談内容の内訳

求職	求人	労働環境	進学	登録	その他
142	24	1	1	2	6

●サテライト但馬 平成28年12月15日開所

(1) 相談受付：毎週月曜日9：30～12：30

木曜日12：00～16：00

(2) 相談日数：85日

(3) 相談件数：38件

来所	電話	eメール
4	31	3

(4) 相談内容の内訳

求職	求人	労働環境	進学	登録	その他
16	21	0	0	0	1

「メンタルヘルス相談」

(1) 相談受付：毎週金曜日13：00～17：00

(2) 相談日数：45日

(3) 相談件数：52件

来所	電話	eメール
21	31	0

(4) 相談内容の内訳 (重複あり)

職場の人間関係	家族関係	就業	研修関係	その他
17	4	27	0	4

「医療安全相談」

- (1) 相談受付：随時 基本、教育研修部が担当
 (2) 相談件数：4件

「認知症・高齢者専門相談」

- (1) 相談受付：毎週水・木曜日10：00～12：00 13：00～16：00
 (2) 相談件数：158件

介護関係	認知症	高齢者虐待	その他
109	20	1	32

「ハローワークでの巡回相談」

ハローワーク	相談日	相談件数
神戸	月2回(第1,3木曜日)	58件
姫路	月1回(第3月曜日)	13件
西宮	月1回(第2木曜日)	54件
加古川	月1回(第4月曜日)	40件
伊丹	月1回(第4水曜日)	27件
尼崎	月1回(第3金曜日)	9件
明石	月1回(第1火曜日)	14件

4) 求人登録及び協会ナースセンターとの連携強化の為に施設訪問

期 間： 令和3年10月～令和4年2月
 訪問施設数： 23件(オンラインで実施)

圏域	東播	西播	北播	丹波	阪神北	阪神南	神戸
件数	2	3	4	1	2	2	4

2. 「ナースセンターだより」の発行

年4回発行し、求職者へ情報提供

- 1) 4月・7月・10月・1月(15日発行)
 2) 「看護ひょうご」のページの一部として掲載

3. 看護職の労働環境に関する検討委員会の設置

看護職の労働環境および就業条件等に関する検討を行う。以下の委員会を設置する。

- 1) ヘルシーワークプレイス推進委員会
 2) ナースセンター運営委員会

4. 看護職員離職防止及び復職支援対策に関する研修

1) 復職支援に関する研修

開催場所：兵庫県看護協会会館

研修名	開催日	内容	参加者数
復職支援研修 (5日コース) (中止)	令和3年8月31日～ 9月4日	看護の動向、フィジカルア セスメント、高齢者看護、 薬剤、感染管理、医療安全、 看護基礎技術 等	15名
復職支援研修 (1日コース)	令和3年5月18日 5月18日、5月25日 7月13日、7月20日、 7月27日、 令和4年1月18日、 1月25日、2月1日	看護の動向、フィジカルア セスメント、高齢者看護、 薬剤、感染管理、医療安全、 看護基礎技術 等	128名
看護基礎技術 研修 神戸	毎週水曜日 13:00～15:00 計25回実施	採血・静脈注射・点滴・吸 引の講義、演習	120名
BLS 研修 神戸	毎週水曜日 10:00～11:30 計25回実施	最新のガイドラインに基づ いた、講義と演習	58名
採血・静脈注 射技術研修 姫路	毎月第1、第3火曜日 13:30～14:30 14:30～15:30 計38回実施	採血・静脈注射・点滴技術 の講義と演習	53名
BLS 研修 姫路	毎月第1火曜日 10:30～12:00 計10回実施	最新のガイドラインに基づ いた、講義と演習	21名
採血・静脈技 術研修 北播	毎月第1、第3金曜日 13:30～14:30 14:30～15:30 計34回実施	採血・静脈注射・点滴技術 の講義と演習	14名

※新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発出のため8/20～9/30休
講

※神戸では、5/19～8/4の間及び10～12月の第1週水曜日は新型コロナウイル
スワクチン接種筋肉注射技術研修のため中止

2) 新型コロナウイルスワクチン接種筋肉注射技術研修

開催場所	開催日時	内容	参加人員
神戸	毎週水曜日 (4/7～5/12 9:15～10:15、 5/12～8/4、10/6、1/10、 12/1 10:00～11:30 及び13:00～14:30) 31回実施	・新型コロナウイルス感染症の基礎知識 ・ワクチン接種に関する基礎知識 ・ワクチン接種の筋肉注射手技に関する知識・技術の習得	各回 6～18名 341名修了
北播	兵庫県ナースセンターサテライト北播 10～12月 第3金曜日 (10/15、11/19、12/17) 13:30～14:30 及び14:30～15:30 6回実施		各回 3名 12名修了

※新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発出のため8/20～9/30休講

5. プラチナナース活躍推進事業

1) プラチナナース研修(宝塚支所) 令和3年8月26日 中止

2) プラチナナース研修(施設対象)(神戸)

開催日: 令和3年10月28日 13:30～15:30

開催場所: 兵庫県看護協会会館

対象: 施設管理者、雇用関係者

参加者数: 20名

内容: ①プラチナナース雇用に関する期待と兵庫県ナースセンターの役割

②プラチナナース雇用に関する施設側の取り組み

③再就業したプラチナナースから施設に希望すること

3) プラチナナース研修(姫路支所)

開催日: 令和3年12月14日 13:30～15:30

開催場所: 姫路・西はりま地場産業ビル(じばさんびる)・オンライン併用

対象: プラチナナース

参加者数: 6名

内容: ①プラチナナース雇用に関する期待と兵庫県ナースセンターの役割

②交流会

4) 退職者、プラチナナース研修会参加者へのプラチナナース登録推奨

令和4年3月末現在 登録者延べ143名

5) 新型コロナ相談コールセンター・保健所への協力依頼

6) 広報活動 クリアファイル配布

6. 合同就職説明会

1) 開催場所：兵庫県看護協会会館

説明会名	開催日	内容	参加数
第1回合同就職説明会	令和3年9月4日 中止		
第2回合同就職説明会 (来館・オンライン併用)	令和4年2月5日	兵庫県内の病院、診療所、老人保健施設、事業所等による面接	27事業所 18名

2) 地域での合同就職説明会

説明会名	開催日	内容	参加数
合同就職説明会 in 西播 (オンライン開催)	令和4年1月16日	兵庫県内の病院、診療所、訪問看護ステーション、老人保健施設、事業所等による面接相談	25施設 90名
阪神南圏域看護職合同就職説明会	令和4年3月12日	阪神南ではハローワーク、ナースセンターの就業相談を実施	12施設 19名
北播地域合同就職説明会	令和3年5月29日 中止 (第2回見送り中止)		

7. 勤務環境改善推進事業

1) 施設におけるワーク・ライフ・バランスインデックス調査への助成

参加施設：継続5施設 調査を次年度へ延期

2) ヘルシーワークプレイス推進研修(来館・オンライン併用)

開催日：令和4年1月27日 参加者数：137名

内容：①インデックス調査施設の取り組みの成果報告
(東宝塚さとう病院)

②講演「叱り方が変われば、組織は変わる!!」

講師：喜田菜穂子 氏

8. ナースセンター機能強化事業

1) 兵庫県ナースセンター支所・サテライトの運営

※再掲(1. ナースバンクジグ事業 3) 相談業務参照)

2) 看護職地域合同就職説明会開催事業

※再掲(地域での合同就職説明会)

3) ナースセンター届出制度周知事業

(1) 届出状況 (届出制度開始から現在までの登録数)

平成27年10月1日～令和4年3月31日 届出総数：163,035件

現在の状況	人数
就業していない	39,636
就業していないが求職中	42,397
就業中・就業予定（看護師等）	56,606
就業中・就業予定（看護師以外）	7,158
学生	2,195
その他	5,565
就業区分設定なし（不明）	9,478
計	163,035

(2) 登録者への支援

毎月、就業に関する最新の情報提供実施

コロナ関連（宿泊療養、保健所、ワクチン接種等）随時メール配信

(3) 広報活動

①交通広告：車内広告ポर्टライナー（届け出制度：とどるけん）

②リーフレット作成：ハローワーク配布（e ナースセンター求人登録のお願い）

4) ナースセンター充実強化事業

(1) 広報活動

①記事掲載：県民だより 8 月・3 月号（ナースの応援団）

②広報用ノベルティ作成：（マスキングテープ）

③FM ラジオ放送広告：kissFM（ナースの応援団）

④看板広告：ポर्टライナー三宮駅：（兵庫県ナースセンター看板）

⑤電照広告：JR 元町駅西口（兵庫県ナースセンター看板）

⑥リーフレット作成：（看護なんでも相談「看護管理者向け」）

⑦兵庫県ナースセンター冊子印刷：（ハローワーク巡回相談内容変更）

⑧ポスター・ちらし印刷：

・（ナースの応援団）5,000枚、県内イオン27店舗3,000枚配架

・（看護の日、看護フェア、合同就職説明会、進学説明会、メンタルヘルス相談）

⑨看護ひょうご掲載：（ナースセンターだより）にて全会員へ

⑩ SNS 関係

・ホームページ随時更新

・ナースセンター公式 Twitter：月 4 回程度更新

フォロアー数 604名

9. 看護系大学・看護学校への出張講義

看護協会およびナースセンター周知のための出張講義を実施（9 校）

学校名	実施日	参加者数	対象者	方法
公立八鹿看護専門学校	令和 3 年11月10日	16名	3 年生	出張
西宮市医師会看護専門学校	令和 4 年 2 月16日	78名	3 年生	出張
丹波市立看護専門学校	令和 4 年 2 月21日	39名	3 年生	オンライン
姫路赤十字看護専門学校	令和 4 年 2 月24日	40名	3 年生	オンライン

姫路医療センター附属看護学校	令和4年2月24日	47名	3年生	オンライン
明石医療センター附属看護専門学校	令和4年3月1日	42名	3年生	出張
宝塚市立看護専門学校	令和4年3月2日	39名	3年生	出張
尼崎健康医療財団看護専門学校	令和4年3月7日	67名	2年生	出張
神戸市医師会看護専門学校	令和4年3月9日	62名	3年生	オンライン
計		430名		

Ⅱ 看護師等の需給・就業の動向に関する実態調査

1. 令和2年度看護職員需要・離職調査

1) 病院、福祉施設等の調査（病院のみ兵庫県医務課と協働で実施）

病院347施設、訪問看護ステーション705施設、介護老人保健施設164施設・
介護老人福祉施設420施設、介護医療院17施設 1,653施設に配布

2) 病院321施設、施設583の結果をナースセンター運営委員会がまとめ報告書を作成

Ⅲ 看護のこころ普及事業

1. 看護の日ならびに看護週間記念事業

1) 看護の日 PR イベント

開催期間：令和3年5月7日～6月30日

会場：兵庫県看護協会

主催：兵庫県、兵庫県看護協会、神戸3支部 後援：神戸市

内容：看護職写真展示、白衣の変遷・看護の歴史展示、「第7回ナース川柳“ひょうご”」受賞作品展示

2. 看護への適切な進路情報の提供

1) 「看護師をめざすあなたへ」冊子2021年度版作成および関係機関への配布

2) 高等学校進路指導担当者へ「看護師への道」説明会開催

令和3年6月25日 18校 19名参加

内容：看護師体験談、看護系大学・看護専門学校教員による説明

3) 「ナースの訪問授業」を県内高等学校対象に実施

実施校18校（気象警報発令のため1校中止） 参加者数467名

16施設より看護職23名派遣 ※兵庫県補助事業

4) 進学説明会開催

事業名	開催日	場所	内容	参加数
進学説明会 大学・看護師3年課程・ 看護師進学課程	令和3年7月18日、 25日	兵庫県看護協会会館	大学、看護師3年課程、 看護師進学課の各学校（来館・オンライン併用）	大学12 看護師3年課程13校、 2年課程1校、 短期大学（通信制課程）1校 計27校 参加者72名

3. 看護フェアの開催

※令和3年度兵庫県福祉・介護啓発委託事業の一環として実施

開催日：令和3年11月13日～令和4年3月31日

会場：兵庫県看護協会

テーマ：「フレイル予防 with コロナ」

内容：本会及び8団体（兵庫県理学療法士会、兵庫県作業療法士会、兵庫県言語聴覚士会、兵庫県栄養士会、兵庫県臨床検査技師会、兵庫県放射線技師会、兵庫県社会福祉協議会、兵庫県歯科衛生士会）の動画配信を実施

アクセス数 16,838件

4. ふれあい看護体験

参加施設44施設、実施施設：14施設、参加者数：210名

5. 看護の出前授業 ※日本看護協会との共催

実施学校数：12校中（新型コロナウイルス感染症拡大の影響で1校中止）

高等学校 4校107名 中学校7校731名 小学校1校 36名

参加者計：874名

10施設より看護職16名を派遣

IV 訪問看護師養成講習会

1. 訪問看護 e ラーニング

開催期間：令和3年5月22日～10月21日（195時間・13単位）

受講者：83名 修了者：78名

2. 訪問看護 e ラーニング修了後の訪問看護ステーション実習5日間

実施期間：e ラーニング修了～令和4年2月10日まで

実習修了者：19名

V その他の補助事業

1. 看護職員離職防止対策事業

1) 看護管理者等研修

場所：すべて兵庫県看護協会会館

回数	開催日	主な内容	参加者数
1	令和3年8月24日	ヘルシーワークプレイス推進研修 (看護管理者情報交換会) 「コロナ渦におけるヘルシーワークプレイスの実現を目指して～今こそ看護管理者で取組を共有しよう～」 発表：宮原明美 氏 竹内悦子 氏	オンライン 45名
2	令和3年11月26日	看護管理者研修 「労働法に関する最新の情報を知って働きやすい職場をめざそう」 講師：和田朋子 氏	来館5名 オンライン 65名

3	令和3年12月11日	相談員の資質向上研修 「相談員が知っておきたい労働法について」 講師：和田朋子 氏	来館8名 オンライン 11名
4	令和4年1月27日	ヘルシーワークプレイス推進研修 ワーク・ライフ・バランス（WLB）取組施設の報告 1施設 「叱り方が変われば、組織は変わる」 講師：喜田菜穂子 氏	来館7名 オンライン 130名

VI 関係機関との連携および会議および研修出席

1 会議出席

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
令和3年度ナースセンター事業担当者会議	日本看護協会（オンライン）	令和3年5月21日	大迫しのぶ 木谷 恵
令和3年度都道府県看護協会看護労働担当者会議	日本看護協会（オンライン）	令和3年5月19日	大迫しのぶ 木谷 恵 岡本美佐子
都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会（近畿地区）	オンライン	令和3年9月13日	大迫しのぶ 木谷 恵
令和3年度広報担当会議	日本看護協会（オンライン）	令和3年11月12日	西口久代 木谷 恵
新型コロナウイルス感染症対応看護職員の人材確保事業説明会	日本看護協会（オンライン）	令和4年2月14日	大迫しのぶ 木谷 恵
令和3年度近畿地区看護協会人材確保・定着担当者会議	オンライン	令和4年1月24日	大迫しのぶ 木谷 恵
第1回ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議	兵庫県看護協会会館（オンライン）	令和3年11月11日	大迫しのぶ 木谷 恵 松田たえ子
第2回ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議	兵庫県看護協会会館（オンライン）	令和4年3月8日	大迫しのぶ 木谷 恵 松田たえ子
ナースセンター・ハローワーク連携事業第1回ケース会	兵庫県看護協会会館（オンライン）	令和3年11月30日	新村裕子 松田たえ子 清水真由美 村松知子 桐月順子
ナースセンター・ハローワーク連携事業第2回ケース会議	兵庫県看護協会会館（オンライン）	令和4年2月25日	新村裕子 松田たえ子 清水真由美 村松知子
福祉人材センター運営委員会	兵庫県福祉センター	令和4年3月17日	木谷 恵

第1回看護職員離職防止確保対策会議	兵庫県（オンライン併用）	令和3年8月23日	成田康子 大迫しのぶ 木谷 恵
第2回看護職員離職防止確保対策会議	兵庫県（オンライン併用）	令和4年1月21日	成田康子 大迫しのぶ 木谷 恵
人材確保対策推進協議会（兵庫労働局担当）	オンライン	令和3年11月18日	木谷 恵

VII その他

1. 兵庫県保健師バンク機能強化事業（新規）

1) 兵庫県保健師バンク登録者数 254名

2) IHEAT 登録者数：221名

3) 保健師バンク研修

場所：兵庫県看護協会会館

開催日：令和4年2月14日

受講者：12名

内容：①保健師バンク・IHEAT の運用、登録者に期待する役割

②シンポジウム「COVID-19における保健師バンク登録者の活動報告」

IV まとめ・次年度への課題

1. 看護職の確保及び定着に関する事業

この事業では、①求職者および求人側への無料就業斡旋（マッチング事業）、②相談業務、③ハローワーク巡回相談業務、④離職時届出制度対応業務、⑤プラチナナース活躍推進事業、⑥広報等を行っている。令和3年度の特徴は、新型コロナウイルス感染症関連の復職案内等が功を奏してか、求職数が増加、採用数も増数した点である。他の業務についても、コロナ渦でも工夫をして展開をすすめてきた。

今後の課題としては、復職を呼びかけ新型コロナワクチン接種業務に従事した看護師が、さらなる活躍するための研修事業や、コロナ渦に従事している看護職の離職防止を目的とする、令和4年度新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業「潜在看護職員研修事業」および「看護職員離職防止相談事業」を、よりよく遂行することである。また、相談業務においては、求職者の個々のニーズを相談員と復職研修担当者とは情報共有するなどシームレスなチーム対応を検討していく。プラチナナース活躍推進事業は引続き、より周知に努め、本所及び支所にて、多様な勤務形態の提案を兼ねた求人開拓に力を入れていきたい。

2. 看護師等の需給・就業の動向に関する実態調査

令和2年度の調査では、看護職Ⅰ分野病院は回答率が2%上昇し、看護職Ⅱ分野では14.2%減少した。今後、回答率の上昇のための方策を検討する。さらに、今後のナースセンター事業への活用等、具体的な方策が必要である。

3. 看護の心普及事業

コロナ禍であっても、ふれあい看護体験や、中学校や高校へ近傍施設の看護職による「看護の出前事業」や「ナースの訪問事業」、オンライン進学説明会を実施できた。看護系学校入試一覧表の作成配布を実施し、進学説明会は、進路指導担当者研修への看護学校教員の講師依頼により、看護職を目指す学生が増加することを目指してきた。今後より一層、若年世代へのアプローチ「看護の日」イベントについても、若年層参加が期待できる内容の工夫を努めていく。

令和3年度 地域ケア事業部 事業報告

I 組織の運営に関する事項

1. 兵庫県看護協会立事業所（尼崎・出石・神戸）の統括、及び健全運営の支援

1) 協会立居宅サービス事業所所長会の定期開催による、情報の共有及び課題整理と対策の検討

開催回数：概ね月1回（年間10回実施）対面での会議を実施、参加数：4～5名/1回

開催場所：尼崎事業所等

各事業管理及び尼崎訪問看護ステーションは令和3年10月から管理者の体制を見直した。

2) 年度初め及び下半期の2回「訪問看護OJTガイドブック」による評価を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大で、直行直帰等の訪問看護提供体制が多くなったことで、面接時間の確保が困難となり実施できなかった。

3) 尼崎市認知症初期集中支援推進業務（認知症初期集中支援チーム業務）を実施した。

4) メンタルヘルス対策事業として、1回/年のストレスチェック及び随時希望により面談を実施した。 今年度は新型コロナウイルス感染症関係のアンケート調査を追加して行った。

5) 「兵庫県訪問看護ステーション教育支援強化事業の教育ステーション」として、県立尼崎医療センターからの研修を受け入れた。感染状況が落ち着いている時期に、利用者からの同意をいただき、同行訪問を実施することができた。

令和3年から導入したタブレットを利用しオンライン研修を実施した。

6) 機能強化型訪問看護ステーション（尼崎）の地域等への貢献活動としての「まちの保健室」の開催は、新型コロナウイルス感染拡大予防のために自粛した。

2. 兵庫県看護協会主催の事業（看護の日、看護フェア等）は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

II 人材育成及び臨地実習生の受け入れは、各訪問看護ステーションで実施した。

1. 訪問看護人材育成事業（基金事業）の支援

1) 在宅連携強化事業の「看看連携研修」は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

それに代わる研修として「ICTで繋がる看護」に参加した。

2. 多様化する在宅ケアに対応できる人材の確保と人材育成の強化

1) 職員に対する職場研修は、感染対策等を主に実施した。

派遣研修及び自己研鑽研修支援は感染状況をみて再開した。自己研鑽研修はオンライン研修の参加を推奨した。

2) 他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣を一部受けた。

3) 介護職員への喀痰吸引・経管栄養等の実地研修を行った。

4) 職業能力評価シートを作成し、個別評価を実施した。

3. 臨地実習生の受入

認定看護師教育課程受講生・看護学生・医科大学生・高等学校衛生看護科生等の臨地実習生等

【尼崎訪問看護ステーション】

区分	施設名	人数	延日数
認定看護管理 セカンドレベル	兵庫県看護協会	3	1
認定看護師	徳島大学大学院 医歯薬学研究部看護リカレント教育センター	3	12

区分	施設名	人数	延日数
病院看護師	県立尼崎医療センター	13	5
看護学生	武庫川女子大学 看護学部	6	17
	園田学園女子大学 人間健康学部人間看護学科	3	14
	神戸大学 医学部保健学科看護学	10	10
	関西労災看護専門学校	6	14

【神戸訪問看護ステーション】

区分	施設名	人数	延日数
看護学生	神戸市看護大学 看護学部	4	24
	武庫川女子大学 看護学部	4	18
	神戸常盤大学 保健学部 看護学科	4	16
	神戸常盤大学 短期大学部 看護学科通信制課程	3	6
	神戸看護専門学校	4	28
	福岡看護専門学校	1	2
	兵庫県看護協会認知症看護認定看護師教育課程（B 過程）	2	6

【出石訪問看護ステーション】

区分	施設名	人数	延日数
看護学生	兵庫県立日高高等学校 看護専攻科	4	30
	大阪府病院協会看護専門学校	1	2

4. 訪問看護支援事業の継続

衛生材料の共同購入事業を、業者との連携により実施。令和2年3月末参加事業所 4ヶ所

III 関連機関、関係団体との連携および会議出席

会 議 名	回数	開催場所	内 容	出席者名
兵庫県訪問看護ステーション 連絡協議会総会・理事会・幹 部会	年12回	兵庫県看護協会 オンライン開催	兵庫県訪問看護ステーション 連絡協議会の活動・予算決 算・情報提供等	並河直子
多職種連携による口腔機能管 理に関する専門部会	—	開催なし	多職種連携による口腔機能管 理に関する現在と課題の整理 等	並河直子
近畿地区看護協会立訪問看護 ステーション統括者・管理者 交流会	年1回	オンライン開催	近畿地区看護協会立訪問看護 ステーションの情報交換及び 意見交換	並河直子

【尼崎訪問看護ステーション、尼崎ケアプランセンター、尼崎ヘルパーステーション】

会 議 名	会議場所	会議開催年月日	出席者名
尼崎市医療・介護連携協議会	中央北生涯学習プラザ オンライン開催	毎月第4週（木曜日）	原田広美
尼崎市地域ケア会議代表者会議	オンライン開催	年間2回程度 感染状況に応じて中止あり	畑中文恵
尼崎市地域ケア会議 アドバイザー会議	オンライン開催		畑中文恵
兵庫県訪問看護ステーション 連絡協議会阪神南ブロック 尼崎支部定例会	オンライン開催	2か月に1回程度	原田広美
尼崎居宅介護支援事業連絡会	中小企業センター 中央北生涯学習プラザ	令和3年4/6、5/11、6/18、 7/20、8/27、9/24、10/19、 11/12、令和4年1/18、2/15、 3/25	木田義彦

【神戸訪問看護ステーション】

会 議 名	会議場所	会議開催年月日	出席者名
兵庫県医療的ケア運営委協議会	兵庫県民会館	令和3年7月6日 令和3年11月11日 令和4年1月27日	二宮園美
医療的ケア児支援連携協議会	紙面開催	令和4年3月22日	二宮園美
日本訪問看護財団 新型コロナウイルス感染防護具 対策支援事業	オンライン開催	令和3年5/26、6/23、7/28、 9/29、10/12、11/17、12/16、 令和4年1/25、3/31	二宮園美
中央区訪問看護ステーション連 絡会	オンライン開催	令和3年8/26、11/29、 令和4年2/17	二宮園美
中央区在宅医療・介護連携推進 協議会	中央区医師会 (オンライン会議)	令和3年6/23、9/9、11/11、 令和4年1/20、3/10	清水文絵
神戸市ケアマネジャー連絡会、 理事会	神戸市福祉センター	令和3年4/22、5/20、7/15、 9/16、11/18、 令和4年1/13、3/17	清水文絵

【出石訪問看護ステーション】

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者名
豊岡市在宅医療 介護連携推進協議会	豊岡市医師会館 豊岡市役所 豊岡市民プラザ	令和3年8月4日 令和3年9月1日 令和3年10月27日	松田直美 松田直美 松田直美

IV 行政の審査会議等への出席

1. 尼崎市保健所運営協議会 出席者：並河直子
2. 尼崎市介護認定審査 出席者：並河直子 東根聖子 原田広美
3. 尼崎市地域包括支援センター運営部会 出席者：並河直子

Ⅵ 事業目標実績 令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 訪問看護事業

区分			尼崎		出石		神戸
介護保険	年間訪問延件数	訪問看護 リハ60分1件	8,391		3,062		3,420
医療保険	年間訪問延件数	訪問看護	8,768		2,560		1,511
新型コロナ自宅療養陽性者への訪問			25名（142日）				29名（144日）
担当職員	職種		看護師	理学療法士	看護師	理学療法士	理学療法士
	正規職員数		13	1	2	0	5
	非正規職員数		11	1	5	1	2
	常勤換算数		20.51	1.8	4.7	1.0	6.8

2. 居宅介護支援事業

		尼崎	神戸
介護度		計画策定延件数	計画策定延件数
要支援		267（534）	108（216）
要介護		1,376	602
計		1,643	710
担当職員1人当たり件数 （要支援＝0.5件）		30.4/月	30/月
担当職員	正規職員数	5	2
	非正規職員数	0	0
	常勤換算数	5.0	2.0

3. 訪問介護事業（尼崎）

障害福祉	年間訪問延件数	居宅介護	1,277
		重度訪問介護	1,195
介護保険	年間訪問延件数	専門型訪問介護	246
		訪問介護	3,645
担当職員	正規職員数	3	
	非正規職員数	7	
	常勤換算数	7.23	

◆尼崎市認知症初期集中支援事業の報告

1. 目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるように厚生労働省が策定した認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）の中で、「認知症初期集中支援チーム」は認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的として、平成30年度までに全ての市町村に設置することが義務付けられた。尼崎市はそのチームを訪問看護ステーションへ設置することを決定、当ステーションが受託し平成29年10月より活動開始した。

2. 活動実績

1) チーム構成員

尼崎訪問看護ステーションから3名、併設する尼崎ケアプランセンターから1名を主チーム員とする他、認知症疾患医療センター機能をもつ県立尼崎総合医療センターの精神科医を嘱託医とし、同病院の認知症認定看護師1名、行政の担当者1名で構成される。

2) 令和3年度（令和4年3月まで）の対象者の概要

今年度支援した対象者48件のうち新規依頼は40件、男性18名（45%）、女性22名（55%）、年齢65歳～90歳で、70歳代が16名と最も多かった。単独世帯20名（50%）、夫婦世帯15名（37.5%）家族同居5名（12.5%）であった。介入依頼理由は「本人の受診拒否が強い」「本人・家族が介護サービスの必要性を感じていない、拒否している」が最も多かった。認知機能レベルはDASC27～72点（平均46.7点）、HDS-R1～95点（平均12.8点）であった。

3. 活動の評価

1) 対象者訪問と特徴

自宅訪問は1人あたり介入開始から終了までの訪問回数は3.9回/人であった。介入期間は最短7日、最長は118日で、1～2か月で終了したケースは66.6%であった。独居者が半数をしめ、高齢者夫婦世帯と独居世帯で87%にのぼった。

2) 支援の状況

介入時医療未受診は11名、医療中断13名と60%が医療を受けていない状況であった。医療機関への受診に繋げる支援を行い、16名が受診の開始及び再開をすることができた。そのうち5名が認知症鑑別診断を行っている。未受診、医療中断者のうち4名は現在支援中

介護保険未申請20名、サービス利用なし8名と合わせて68%の対象者が介護保険サービスを利用していない状況であった。介入後介護保険申請者は13名となり、14名がサービスを開始した。介護保険未申請のまま入院となっているケースもある。

3) チーム員の取り組み

訪問看護の実績を活かし、医療機関（専門医療機関を含む）への受診、介護保険サービスの利用が本人、家族にとってメリットがあることについて丁寧に説明し、心理的サポートも同時に行った。また医療機関との連携や受診同行を積極的に行い、受診しやすい環境を整えたことで、受診困難ケースも医療に繋げることができたと考えている。鑑別診断、相談先のサポートにより2名は精神科疾患と診断されている。また認知症看護認定看護師により認知機能の具体的なアセスメントを行い、対象者の状態に合わせたかかわり方が行えるよう、家族やチーム員、地域包括支援センター、介護支援専門員などの関係者と情報共有を行った。

4) その他

看護実践研究会にて活動報告を行った。対象者は徐々に年齢が低下してきており、70代が増加している。認知症と精神疾患が混在している、または精神疾患の可能性が高い対象者への支援をチームとしてどこまで支援するか課題である。地域保健と協力しながら方向性を検討した。

◆兵庫県訪問看護ステーション教育支援強化事業（教育ステーション）の報告

1. 目的

この事業は、在宅医療推進の要となる24時間対応が可能な訪問看護ステーションを増加し、在宅看護の効率化を図るために、「在宅看護拠点整備事業」「特定行為研修受講支援事業」とともに、兵庫県が在宅看護体制機能強化事業として実施する事業のひとつである。

身近な地域において訪問看護ステーションの訪問看護師が実践的な研修・助言等が受けられる仕組みを整備し、在宅看護体制の強化を促進するとともに、訪問看護師の定着促進・離職防止を図ることを目的として令和元年度から開始している。

2. 事業内容

教育ステーションとなる指定要件は、機能強化型訪問看護管理療養費を算定している事業所で、指導者として専門看護師、認定看護師、それに準ずる看護師がいることである。指定された教育ステーションは、県内の小規模訪問看護ステーションや医療機関に勤務中の看護職者へおこなった同行訪問や集合研修に対して補助を受ける。同行訪問は、医療依存度が高い事例や支援困難事例への対応が習得できるように、教育ステーションで実施する場合と、依頼側のステーションで実施する場合がある。

3. 活動実績

1) 県立尼崎医療センターの病院看護師を5日間で13名の同行訪問を実施した。

自分が病院で指導していた内容は、退院後の生活を見据えてしていないことがわかった、在宅でのキーパソンが誰かがサービスを決定するうえでとても重要であることがわかった、独居でもALSの利用者が在宅で生活しているのを見て、在宅では無理だろうと判断しそうながん末期や難病の利用者も帰せると思った、等の意見があった。

2) 集合研修

令和3年12月までは、新型コロナウイルス感染拡大で研修が思うように開催できなかった。

(1) 令和4年1月26日 16時30分～18時30分(2時間)

「疼痛マネジメント」研修を実施。当日参加者10名、また、YouTube配信の参加者36名であった。

YouTube配信は、自分の都合で見ることができると言う意見があった。

(2) 令和4年3月24日 16時30分～18時30分(2時間)

「認知症の認知機能を知りアセスメントに活かす」研修を実施。当日参加者22名、また、YouTube配信の参加者75名であった。前頭機能低下に関して、精神疾患、性格、認知症なのか区別しにくい、また、具体的な対応方法が知りたかった、等の意見があった。今後の研修に組み入れシリーズ化していく事を検討している。

(3) 令和4年3月23日 18時30分～19時30分(1時間)

令和4年3月25日 18時30分～19時30分(1時間)

2日間で「ZOOM レベルアップ研修」を実施、参加者10名であった。

ZOOMに参加は何とかできていたが、自分が主催する側の勉強ができ、今後の研修やZOOM会議の企画がしてみたい、等の意見があった。

4. 活動の評価

コロナ渦での研修や同行訪問は思うように進めていくのが難しい面もあったが、この2年間でZOOM(オンライン)の活用が進んだことで研修計画が立てやすくなった。今回、学んできたことや工夫してきたことを生かしながら訪問看護ステーション連絡協議会の支部や地区と連携し、共催での研修等を積極的に行って行きたい。また、尼崎市内の訪問看護ステーションで連絡協議会へ加入している施設は約半数である一方、連絡協議会未加入の訪問看護ステーションの殆どが小規模ステーションであり、そのステーションは連絡協議会で討議される内容や情報共有ができず、訪問看護サービスの質の担保が難しい状況にある。それらのステーションの質を向上させる実践的な支援ツールとして教育ステーションを有効活用してもらうためには、広報方法を検討していく必要があると考える。

◆機能強化型訪問看護ステーション(尼崎)の地域等への貢献活動としてまちの保健室活動の報告

1. 目標

地域住民の健康意識を高めることを目的として平成27年度から開催しているまちの保健室は、当ステーション近隣のスーパーマーケットで年2～3回開催している。今年も継続開催することを目標として活動を実施する。

2. 活動実績

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催は自粛した。

令和3年度 支部活動報告

阪神南 支部

支部代表氏名 坪井 幸代

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和3年4月18日	【アクタ西宮振興会事務所にて】 令和2年度 第10回理事会報告 看護フェスタ開催について 阪神南圏域合同就職説明会報告 令和3年度地域別看護職員ネットワークづくり事業企画について 西宮市医療連盟からの撤廃について	7名
2	令和3年6月10日	【メール会議】 報告事項：①令和3年度第1.2回理事会 検討事項：①令和3年度会員会開催（案） ②令和3年度阪神南支部年間予定・支部役員一覧 ③令和3年度地域別看護職員ネットワークづくり事業企画について ④西宮市医療連盟からの撤廃物品について	8名
3	令和3年6月16日	西宮医療会館 保管荷物の整理・運搬	7名
4	令和3年7月29日	【兵庫県看護協会 研修室7にて】 報告事項：①令和3年度第3.4回理事会 ②西宮医療会館 引き上げ道具の保管 ③令和3年度阪神南支部行動計画 検討事項：①令和3年度地域別看護職員ネットワークづくり事業企画について ②西宮医療連盟に関わる活動について（さくらFM）	8名
5	令和3年9月9日	【メール会議】 報告事項：①令和3年度第5回理事会 検討事項：①令和4年度の役員推薦について ②令和3年度地域別看護職員ネットワークづくり事業企画開催否か ③阪神南圏域合同就職説明会について	8名
6	令和3年10月7日	【兵庫県看護協会 研修室にて】 報告事項：①令和3年度第6回理事会 ②各委員会報告	8名
7	令和3年12月9日	【兵庫県看護協会 研修室にて】 報告事項：①令和3年度第7回理事会 ②各委員会報告 検討事項：①阪神南圏域合同就職説明会について	8名

8	令和4年2月10日	【兵庫県看護協会 研修室にて】 報告事項：①令和3年度第8回理事会 ②各委員会報告 検討事項：①令和4年度看護フェスタの開催について ②会員会の打ち合わせ ③来年度の活動について	6名
9	令和4年3月10日	【メール会議】 報告事項：①令和3年度第10回理事会 ②看護フェスタの現在までの経過 ③令和4年度阪神南支部の役員割について	8名
10	令和4年4月7日	【西宮振興会事務所】 報告事項：令和3年度第11理事会 検討事項：令和4年度看護フェスタ開催の打ち合わせ	8名

2. 支部委員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和3年7月29日	兵庫県看護協会会館	西口理事より 兵庫県看護協会事業計画説明会 報告事項 ①令和3年度役員紹介 ②令和3年度活動計画	20名＋ オンライン 参加者あり
2	令和4年2月10日	兵庫県看護協会会館	兵庫県看護協会代議員・予備代議員 選挙 成田会長より 日本・兵庫県看護協会の令和4年度重点事業について	10名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	5回	9名
2	まちの保健室委員会	5回	8名
3	医療安全委員会	3回	9名
4	災害・健康危機対策委員会	4回	7名（令和4年1月より6名）

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
災害支援ナース強化プロジェクト①（災害時における感染管理）	令和3年11月	Youtube 配信	兵庫医科大学病院 石川かおり 氏	—
第15回医療安全ネットワーク 会議（交流会）	令和3年11月17日	西宮市民会館	—	5名

5. 地域看護活動に関する事項

- 1) 看護の日 中止
- 2) 看護フェア 中止
- 3) 阪神南圏域合同就職説明会

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和4年3月12日	西宮市職員会館	合同就職説明会	17施設参加 72名参加

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	2箇所	
	健康相談活動回数	9回	
	子育て支援活動回数	8回	
	活動ボランティア数	24名	
出前隊	出前隊件数	58件	
	活動ボランティア数	4名	

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
令和3年度第1回尼崎市社会保障審議会	オンライン参加	令和3年4月22日	関西労災病院 坪井幸代
令和3年度第1回社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会	オンライン参加	令和3年7月1日	関西労災病院 坪井幸代
令和3年度第2回社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会	オンライン参加	令和3年11月15日	関西労災病院 坪井幸代
令和3年度第3回社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会	オンライン参加	令和4年1月25日	関西労災病院 坪井幸代
令和3年度第1回阪神南地域医療構想調整会議兼第1回阪神南圏域健康福祉推進協議会医療部会	西宮神社会館	令和3年10月8日	西宮市立中央病院 恩田朋子 関西労災病院 坪井幸代
尼崎市社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会	オンライン参加	令和3年11月15日	関西労災病院 坪井幸代
令和3年度第2回阪神南地域医療構想調整会議兼第1回阪神南圏域健康福祉推進協議会医療部会	西宮市立勤労会館	令和3年11月22日	西宮市立中央病院 恩田朋子
尼崎市社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会	オンライン参加	令和4年1月25日	関西労災病院 坪井幸代

尼崎地域保健問題審議会	オンライン参加	令和4年1月27日	尼崎総合医療センター 三浦智恵
令和3年度第3回阪神南地域医療構想調整会議兼第1回阪神南圏域健康福祉推進協議会医療部会	西宮神社会館	令和4年2月15日	関西労災病院 坪井幸代
尼崎市社会保障審議会	オンライン参加	令和4年3月23日	関西労災病院 坪井幸代
社会福祉法人西宮市社会福祉事業団第56回評議会	西宮市民会館	令和4年3月11日	西宮市立中央病院 恩田朋子
西宮医療連盟活動「さくらFM」への健康番組提供	西宮コミュニティ放送	令和3年5月26日	関西労災病院 足立理恵
西宮医療連盟活動「さくらFM」への健康番組提供	西宮コミュニティ放送	令和3年8月25日	笹生病院 山根栄美
西宮医療連盟活動「さくらFM」への健康番組提供	西宮コミュニティ放送	令和3年11月24日	西宮協立脳神経外科病院 木下直子
西宮医療連盟活動「さくらFM」への健康番組提供	西宮コミュニティ放送	令和4年3月3日	明和病院 森知佐子

8. その他報告内容

1) 阪神南圏域合同就職説明会に関わる会議

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
第1回合同説明会調整会議	兵庫県看護協会会館 オンライン併用	令和3年10月7日	役員全員
第2回合同説明会調整会議	兵庫県看護協会会館 オンライン併用	令和3年12月9日	役員全員

令和3年度 支部活動報告

阪神北 支部

支部代表氏名 竹原 三千代

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和3年7月2日	役員・委員長・委員合同会議：新旧役員・委員会の引継ぎ、自己紹介、令和3年度事業日程の計画	34名
2	令和3年7月30日	役員・委員長会議：会員会打ち合わせ	9名
3	令和3年11月5日	役員・委員長オンライン会議：理事会報告、委員会報告、各地域・圏域会議報告、地域別看護職員ネットワークづくりについて検討	7名
4	令和3年12月22日	役員・委員長オンライン会議：理事会報告、委員会報告、地域看護職員ネットワークづくりについて、シルバー作品展における健康相談コーナーの依頼について、第2回会員会打ち合わせ、令和4年度年間計画案（役員会と各委員会予定表）、令和4年度の役員・委員長・委員交代について	9名
5	令和4年1月28日	役員・委員長オンライン会議：理事会報告、各委員会報告、支部役員・委員長が持っているUSB等の取り扱いについて検討、会員会打ち合わせ、次年度看護の日およびイベント開催について検討	8名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和3年7月30日	宝塚商工会議所	地区理事あいさつ、理事会報告、新役員紹介、各委員会活動報告、令和3年度阪神北支部活動計画	24名
2	令和4年2月25日	宝塚商工会議所	地区理事あいさつ、兵庫県看護協会より活動報告、代議員予備代議員選出、支部活動報告と理事会報告、各委員会活動報告、支部活動計画、各委員会活動計画	26名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	5回	8名
2	まちの保健室委員会	3回	12名 コーディネータ含
3	医療安全委員会	5回	6名

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
災害看護	令和3年10月16日	兵庫県看護協会会館 オンライン	協立病院 救急看護認定看護師 迎山愛 氏	31名
認知症看護	令和3年11月27日	兵庫県看護協会会館	宝塚市立病院 精神看護専門看護師 武藤教志 氏	22名
医療安全交流会①	令和3年8月19日	宝塚商工会議所	「インシデントレポートの報告・分析・活用における日頃の工夫や疑問について語ろう」	中止
医療安全交流会①	令和3年12月16日	宝塚商工会議所	インシデントレポートの報告・分析・活用における日頃の工夫や疑問について語ろう」 医療安全委員	21名
倫理研修	令和4年1月29日	兵庫県看護協会会館	日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 上山崎悦代 氏	19名

2) 看護研究発表会

発表演題数	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
14演題	令和4年2月19日	兵庫県看護協会会館		35名

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年5月13日	宝塚ソリオ広場		中止

2) 看護フェア

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年6月		猪名川健康フェア	中止
令和4年3月		伊丹健康フェア	中止
令和4年3月		伊丹シルバー作品展・健康相談コーナー	中止

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	26箇所	
	健康相談活動回数	0回	
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	0名	
出前隊	出前隊件数	0件	
	活動ボランティア数	0名	

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
丹波圏域健康福祉推進協議会	柏原総合庁舎職員福利センター	令和3年8月2日	菅村幸代
宝塚市医療推進協議会	宝塚医療会館	令和3年8月5日	竹原三千代
第2回阪神北医療構想調整会議 (兼第1回健康福祉推進協議会医療部会)	伊丹シティホテル	令和3年10月7日	竹原三千代
第1回伊丹市保健医療推進協議会	伊丹市役所	令和4年2月2日	竹原三千代
第3回阪神北医療構想調整会議 (兼第2回健康福祉推進協議会医療部会)	伊丹シティホテル	令和4年2月3日	竹原三千代

令和3年度 支部活動報告

神戸東部 支部

支部代表氏名 柴田 美由紀

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議報告（項目のみ）	出席者数
1	令和3年5月24日	オンライン開催 理事会報告	5名
2	令和3年6月28日	理事会報告 新役員紹介など	7名
3	令和3年8月23日	オンライン開催 理事会報告 支部研修やオンライン会議の運用について	6名
4	令和3年10月18日	オンライン開催 理事会報告 各委員からの報告	5名
5	令和3年12月20日	オンライン開催（各委員長も参加） 理事会報告 各委員より活動報告及び意見交換	10名
6	令和4年1月24日	オンライン開催 理事会報告 各委員からの報告	6名
7	令和4年3月28日	オンライン開催 理事会報告 各委員からの報告	5名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加人数
1	令和3年7月20日	兵庫県看護協会会館	地区理事挨拶「支部活動とは」ミニレクチャー 役員紹介 委員会計画発表 協会活動方針と、マナブルの活用推進やリソースナースへの登録について（協会より）	22名 (オンライン 7名)
2	令和4年2月22日	兵庫県看護協会会館	代議委員・予備代議員選挙(文書で案内) 各委員より活動状況などを発表 協会からの報告	22名 (オンライン 16名)

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員参加数
1	教育委員会	2回	9名
2	まちの保健室委員会	5回	コーディネーター 3名 委員 5名
3	医療安全委員会	4回	11名
4	地域連携窓口委員会	7回	12名

4. 教育に関する事項

1) 研修会（教育委員会）

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
事例を通して学ぶ高次 機能障害患者の看護	令和3年7月31日	兵庫県看護協会 会館	神戸赤十字病院 脳卒中リハビリテーション認 定看護師 福井陽子 氏	15名

2) 研修会（医療安全委員会）

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
チームステップス研修	令和3年11月5日	兵庫県看護協会会館	宮崎浩彰 氏	20名

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年5月8日	兵庫県看護協会会館		中止

2) 看護フェア

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年11月13日	兵庫県看護協会会館	「フレイル予防 in コロナ」とし、県民の皆 さまに継続してフレイル予防に取り組んで いただけるよう企画	集客は中止

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容	回 数	備 考
拠点における活動	拠点数	0回	新型コロナウイルス感染症のため中止
	健康相談活動回数	0回	〃
	子育て支援活動回数	0回	実施なし
	活動ボランティア数	0名	新型コロナウイルス感染症のため中止
出前隊	出前隊件数	0件	〃
	活動ボランティア数（累計）	0名	〃

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
神戸圏域地域構想調整会議 地域包括ケア推進部会			中止
神戸市地域医療推進協議会	神戸市医師会館	令和3年9月24日中止 令和3年11月26日 令和4年3月25日	柴田美由紀
神戸マラソンメディカル協議会	兵庫県民会館 (オンライン)	令和4年2月24日	柴田美由紀

8. その他報告内容

「フレイルを支える看護職のネットワーク」の会

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年5月19日	オンライン会議	アメリオ保健室担当計画について他	7名
令和3年7月21日	オンライン会議	アメリオ保健室実績報告他	7名
令和3年11月17日	オンライン会議	アメリオ保健室実績報告他	10名
令和4年2月16日	オンライン会議	アメリオ保健室実績報告他	9名

＊アメリオ保健室開催：11回（相談総件数24名）

令和3年度 支部活動報告

神戸中部 支部

支部代表氏名 岡本 規子

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和3年4月15日 （オンライン会議）	理事会報告、今年度の活動計画について まちの保健室委員会の活動について	9名
2	令和3年5月20日 （休会）	COVID-19感染拡大の影響にて中止	—
3	令和3年7月15日 （オンライン会議）	理事会報告 研修会企画、会員会企画について 次年度役員、委員選出について	8名
4	令和3年10月21日 （オンライン会議）	理事会報告 研修会3件の企画の進捗及び運営について まちの保健室「出前隊」依頼について	10名
5	令和3年11月18日 （オンライン会議）	理事会報告 令和3年10月23日開催の災害研修の報告 教育・医療安全研修会の企画の進捗及び運営について まちの保健室運営について（Co不在で困っていること他）	10名
6	令和3年12月16日 （オンライン会議）	理事会報告 研修会、第2回会員会企画について まちの保健室ボランティア表彰者候補者、コーディネーター選出について 次年度支部活動、予算案について	10名
7	令和4年1月20日 （オンライン会議）	第2回会員会企画について 研修会報告 次年度支部活動について まちの保健室の拠点、コーディネーター業務について	11名
8	令和4年3月17日	新旧役員引継ぎ予定	15名

2. 支部委員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和3年9月16日	兵庫県看護協会会館 及びオンライン開催	・理事会報告 ・令和3年度神戸中部支部運営会議及び委員会報告 ・令和4年度神戸中部支部役員について ・令和4年度日本看護協会・令和5年度兵庫県看護協会代議員・予備代議員選出について ・次年度神戸中部支部役員、委員選出について ・その他報告・連絡	19名

2	令和4年2月17日	兵庫県看護協会会館 及びオンライン開催	1. 審議事項 第1号議案 公益社団法人兵庫県看護協会神戸中部支部の代議員及び予備代議員選出 2. 報告事項 (1) 兵庫県看護協会理事会報告 (2) 令和3年度支部事業報告 (3) 支部委員会報告 ・教育委員会、医療安全委員会、 まちの保健室委員会、災害対策委員会 (4) 令和4年度支部事業計画（案） (5) 令和4年度支部委員会計画（案） ・教育委員会、医療安全委員会、 まちの保健室委員会、災害対策委員会 第1号議案の結果報告	16名
---	-----------	------------------------	--	-----

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	5回	5名
2	まちの保健室委員会	5回	10名
3	医療安全委員会	5回	14名
4	災害対策委員会	5回	6名

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
災害対策（BCP） 「熊本地震を通して災害に対する日頃の備えを考える」	令和3年10月23日	オンライン(LIVE)	済生会 熊本病院 宮下恵里 氏	33名
人材育成・人材定着 「発達障害のある看護師への対応」	令和3年12月18日	オンライン(LIVE)	岐阜大学医学教育 開発研究センター 川上ちひろ 氏	165名
医療安全研修 「コロナ禍における看護職の心理的安全性」 ー話しやすい聞きやすい職場づくりー	令和4年1月29日	オンライン(LIVE)	近畿大学病院 辰巳陽一 氏	48名

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年5月15日	兵庫県看護協会会館	展示のみ（※兵庫県看護協会&ナースセンターの職員で開催）	—

2) 看護フェア

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年11月13日 ～令和4年3月末	兵庫県看護協会の ホームページ	「フレイル予防 in コロナ」の動画配信	—

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	10箇所	
	健康相談活動回数	3回	
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	197名	
出前隊	出前隊件数	1件	
	活動ボランティア数	3名	北区保健センター

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	開催年月日	出席者氏名
兵庫県医療介護連携推進協議会	兵庫区医師会館	令和3年6月17日	深井功一郎
兵庫県医療介護連携推進協議会・兵庫消防署連絡会議	オンライン会議	令和3年9月9日	深井功一郎
神戸マラソンメディカル協議会	オンライン会議	令和4年2月24日	岡本規子

・地域別看護職員ネットワークづくり事業

定期的な看護管理者による連携会 1回

令和3年度 支部活動報告

神戸西部 支部

支部代表氏名 大前 薫

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和3年7月8日	理事会報告、役員、委員紹介 教育・まちの保健室・地域連携窓口 各委員会活動	26名
2	令和3年8月12日	役員会・委員会活動はコロナ禍のため休止	—
3	令和3年9月9日	役員会 オンラインで開催 理事会報告	7名
4	令和3年10月14日	理事会報告・まちの保健室、教育委員会活動（企画の再検討） （地域連携窓口委員会はメール会議）	23名
5	令和3年11月11日	理事会報告 教育・まちの保健室・地域連携窓口 各委員会活動	27名
6	令和3年12月9日	理事会報告 まちの保健室委員会（教育・地域連携はメール会議）	16名
7	令和4年1月13日	オンライン会議 役員・委員長	8名
8	令和4年2月10日	オンライン会議 役員・委員長（教育委員長参加） 教育委員オンライン会議 まち保・地域連携はメール会議	9名
9	令和4年4月14日	オンライン会議 役員・委員長	9名

2. 支部委員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和3年9月24日			中止
2	令和3年2月25日	兵庫県看護協会会館	・兵庫県看護協会代議員予備代議員選挙 ・日本看護協会・兵庫県看護協会活動報告 支部活動報告	14名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	5回	11名
2	まちの保健室委員会	4回	12名
3	医療安全委員会	休会	—
4	地域連携窓口委員会	3回	6名

4. 教育に関する事項

1) 研修会（支部独自研修のみ）

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
呼吸のフィジカルアセスメント	令和3年12月11日	兵庫県看護協会会館	芝本理恵	17名
急変の予兆に気づき、防ぐ	令和4年3月12日	兵庫県看護協会会館	宮井輝海	中止
診療所カフェ	令和4年1月29日	兵庫県看護協会会館	梅田みゆき	オンライン 3名

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年5月1日	兵庫県看護協会会館		中止

2) 看護フェア

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年11月13日～ 令和4年3月まで	兵庫県看護協会会館	兵庫県看護協会ホームページから動画配信	—

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	12箇所	令和3年度は1拠点のみ活動
	健康相談活動回数	3回	神戸市看護大学 9月3日 オンライン 10名 10月14日 6名 11月19日 8名
	体力測定	1回	神戸市看護大学10月28日 57名
	子育て支援活動回数	1回	神戸市看護大学9月8日 オンライン 1名
	活動ボランティア数	19名	
出前隊	出前隊件数	0回	
	活動ボランティア数	0名	

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

学校行事参加等もすべて中止

神戸市マラソン協議会 令和4年2月24日 オンラインにて参加

8. その他報告内容

令和4年度より支部医療安全委員会を再開予定

第2回会員会にて医療安全をテーマに研修会を行う。 会員施設にアンケート調査中

令和3年度 支部活動報告

東播 支部

支部代表氏名 清水 直美

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和3年6月26日	* 対面会議 新旧役員引継ぎ 令和3年度の支部事業について	11名
2	令和3年7月16日	* 対面会議 令和3年度の東播支部活動の方向性・計画について	46名
3	令和3年8月20日	* COVID-19感染拡大のため中止	中止
4	令和3年9月17日	* 対面会議・オンライン会議 支部運営委員会・委員会開催方法について 委員会活動計画・支部研修について	51名
5	令和3年10月15日	* オンライン会議 各委員会活動の現状 支部研修企画について	50名
6	令和3年11月19日	* 対面会議・オンライン会議 令和3年度会員会について 看護の日のイベントについて 支部研修企画について 令和4年度活動計画について	51名
7	令和4年1月21日	* 対面会議・オンライン会議 令和3年度支部委員会について 看護の日のイベントについて 支部研修開催について 令和4年度支部研修について	46名
8	令和4年3月18日	* 対面会議・オンライン会議 令和3年度支部活動について 看護の日のイベントについて 令和4年度支部活動計画について	49名

2. 支部委員会

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和3年6月26日	明石市立市民病院	* COVID-19感染拡大のため中止	中止
2	令和4年2月19日	複合型交流拠点ウイズ あかし704	東播支部代議員および予備代議員選出 令和3年度支部・委員会活動報告 施設代表者会	24名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	6回	12名
2	まちの保健室推進委員会	6回	13名
3	医療安全（地域ケア・看看連携）委員会	6回	11名
4	災害医療委員会	6回	12名

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
4DAS（Four-Dimensional Assessment System）を用いた認知症ケアとは？	令和4年1月11日～ 令和4年2月10日	オンデマンド 配信	かきぎ認知症しあわせクリニック 柿木達也 氏	64名
KYTの実践	令和4年2月5日～ 令和4年3月5日	オンデマンド 配信	明石こころのホスピタル 渡邊真二 氏	22名
東播地区各施設の災害に備えた取り組み	令和4年2月26日	オンライン	加古川中央市民病院 平石恵子 氏 明石市立市民病院 西尊子 氏	21名

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年5月頃	イオン洲本ショッピングセンター	* COVID-19感染拡大のため中止	中止
令和3年5月頃	加古川ニッケパークタウン	* COVID-19感染拡大のため中止	中止

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	15箇所	
	健康相談活動回数	4回	9/29 開催 ふれあいプラザあかし西 11/12 開催 兵庫県立大学地域ケア開発研究所 12/ 3 開催 兵庫県立大学地域ケア開発研究所 2/10 開催 ふれあいプラザあかし西
	子育て支援活動回数	1回	12/20 開催 加古川駅南子育てプラザ
	活動ボランティア数	11名	登録ボランティア数 258名 (令和3年10月末現在)
出前隊	出前隊件数	2件	10/29 開催 稲美町社協 11/18 開催 ふれあいサロンさつき
	活動ボランティア数	6名	

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
こころ豊かな美しい東播磨推進会議	加古川総合庁舎	令和3年6月17日	堀口由香里
第1回淡路圏域地域ケア会議 (医療介護連携部会)	洲本市役所	令和3年8月5日	瀧野 都
第1回東播磨圏域健康福祉推進協議 会医療部会	加古川総合庁舎	令和3年8月26日	清水直美
第1回東播磨圏域健康福祉推進協議 会医療部会(地域医療構想調整会議)	加古川総合庁舎	令和3年8月26日	清水直美
第1回1市2町在宅医療・介護連携 推進会議	播磨町役場	令和3年9月30日	清水直美
第1回淡路圏域地域医療構想調整会 議	書面開催	令和3年10月1日	清水直美
第2回淡路圏域地域ケア会議 (医療介護連携部会)	洲本市役所	令和4年1月27日	川根美智子
第2回1市2町在宅医療・介護連携 推進会議	ウエルネージかこがわ	令和4年2月17日	小幡紀子
令和3年度こころ豊かな美しい東播 磨推進会議臨時総会	書面開催	令和4年3月7日	清水直美
東播磨圏域医療介護連携推進会議	加古川総合庁舎	令和4年3月11日	中止
第2回東播磨圏域健康福祉推進協議 会	加古川総合庁舎	令和4年3月14日	清水直美

令和3年度 支部活動報告

北播 支部

支部代表氏名 小林 孝代

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和3年7月14日	兵庫県看護協会総会報告、理事会報告 各委員会報告 令和3年度活動方針・計画について 令和3年度第1回合同就職説明会について	6名
2	令和3年9月2日 オンライン	理事会報告、各委員会報告 令和3年度第2回合同就職説明会について	8名
3	令和3年9月16日 オンライン	各委員会報告 令和3年度第2回支部委員会について	7名
4	令和3年10月14日 オンライン	理事会報告、各委員会報告 令和3年度第2回支部委員会について	8名
5	令和4年1月20日 オンライン	理事会報告、各委員会報告 令和3年度第3回支部委員会について、合同就職説明会について	8名
6	令和4年2月7日 オンライン	理事会報告、各委員会報告、令和3年度第3回支部委員会について 令和4年度第1回支部委員会について	8名

2. 支部委員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	開催中止	各施設に資料配布	日本看護協会活動報告 兵庫県看護協会活動報告と重点計画報告 令和2年度支部活動報告 令和3年度支部活動計画、表彰者紹介	—
2	令和3年10月20日	オンライン・会場併用 北播磨総合医療センター	兵庫県看護協会理事会報告 令和3年度支部活動報告・各委員会報告 令和4年度兵庫県看護協会定時総会 代議員、予備代議員の選出	34名
3	令和4年2月11日	オンライン・会場併用 西脇市立西脇病院 北播磨総合医療センター	日本看護協会、兵庫県看護協会活動報告 令和3年度支部活動報告・各委員会報告 地域ケア・地域看護推進委員会報告 災害・健康危機対策ネットワーク構築の 取り組みについて 令和4年度兵庫県看護協会定時総会 代議員、予備代議員選挙	32名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	6回	7名
2	まちの保健室委員会	3回	7名
3	医療安全委員会	6回	6名
4	災害・健康危機対策委員会	6回	7名

4. 教育に関する事項

1) 研修会（支部独自研修のみ）

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
看護研究を基礎から学ぼう セミナー	令和3年7月25日	オンライン研修	関西国際大学 保健医療学部看護学科 教授 高見沢恵美子氏	19名
	令和3年8月21日	オンライン研修	関西国際大学 保健医療学部看護学科 教授 高見沢恵美子氏	16名
アクションカードを作ろう アクションカードの意義と 作成方法	令和3年9月11日		姫路聖マリア病 看護部長 沢田洋子氏	中止
患者・家族による暴言・暴力・ ハラスメント対策	令和3年9月25日	オンライン研修	関西医科大学看護学部 看護学研究科 教授 三木明子氏	46名

3) 看護研究発表会 開催中止

4) リスクマネージャー交流会／研修会

回	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
1回	令和3年11月18日	北播磨総合医療センター		中止
2回	令和4年3月10日	北播磨総合医療センター		中止

4. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日 令和3年5月 中止

5. まちの保健室事業に関する事項 開催自粛中

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における	拠点数	6カ所	白雲谷温泉ゆびか 道の駅三木 アスティア加西 なごみの里山都 やしろショッピングパーク Bio
	健康相談活動回数	0回	
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	0名	
出前隊	出前隊件数	0件	
	活動ボランティア数	0名	

6. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
令和3年度 こころ豊かな美しい北播磨推進会議	やしろ国際学習塾	令和3年6月29日	小林孝代
令和3年度 北播磨圏域健康福祉推進協議会	オンライン会議	令和3年8月4日	小林孝代
北播磨圏域地域医療構想調整会議	オンライン会議	令和4年3月3日	小林孝代

7. その他報告内容

1) 北播磨地域看護職合同就職説明会

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年5月29日	小野エタラ		中止
-2回目-			中止

令和3年度 支部活動報告

西播 支部

支部代表氏名 駒田 香苗

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和3年5月18日	①第1回会員会の企画運営（案）の検討・調整 ②（まちの保健室委員会）看護の日のイベント開催について ③看護職員合同就職説明会 in 西播 について ④地域の関連機関との会議の出席者について 他	7名
2	令和3年6月15日	①令和3年度第2回理事会（5/22）報告 ②令和3年度兵庫県看護協会代議員会報告 ③令和3年度兵庫県看護協会定時総会・職能集会（6/17）について ④第1回会員会の企画運営の最終調整 ⑤ネットワーク事業について	8名
3	令和3年7月20日	①新役員・委員紹介 ②令和3年度理事・支部・委員会合同会議報告 ③令和3年度県協会・西播支部関連活動日程等の調整 ④「ウィズコロナ社会における新人看護師教育のヒント」の活用について ⑤看護情報提供書の改訂運用 ⑥西播支部看護管理者ネットワークづくりについて 他	7名
4	令和3年8月17日	①看護職員合同就職説明会 in 西播 事前打ち合わせについて ②施設代表者会議・第2回会員会について ③感染拡大期の運営会議の持ち方について 他	7名
5	令和3年9月21日	①兵庫県看護協会（令和3年8月19日）理事会報告 ②看護職員合同就職説明会 in 西播の開催方法等について ③令和3年度施設代表者会議・第2回会員会について ④施設代表者の連携について 他	8名
6	令和3年10月19日	①兵庫県看護協会（令和3年10月2日）理事会報告 ②第2回支部会員会評価 ③合同就職説明会 in 西播 開催について 他	8名
7	令和3年11月16日	①兵庫県看護協会（令和3年11月6日）理事会報告 ②第3回支部会員会の開催方法 ③次年度支部事業計画について ④合同就職説明会開催 in 西播 当日の運営について	8名
8	令和3年12月21日	①兵庫県看護協会（令和3年12月4日）理事会報告 ②次年度支部事業計画検討 ③第3回支部会員会の当日運営について ④合同就職説明会開催 in 西播 リハーサル（1/12）及び当日運営について確認	8名
9	令和4年1月18日	①第3回支部会員会の当日運営について確認 ②合同就職説明会開催 in 西播 評価 ③次年度支部事業計画（案）について	6名
10	令和4年3月15日	①委員会メンバー・役員の選出方法について ②次年度事業計画	8名

2. 支部委員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和3年7月10日	姫路商工会議所	①令和2年度西播支部活動報告及び会計報告 ②令和3年度西播支部活動計画 ③令和3年度西播支部役員分担表	60名
2	令和3年10月16日	姫路商工会議所	①令和3年度西播支部活動中間報告 ②令和3年度兵庫県看護協会代議員選出について ③看護職員合同就職説明会について ④施設代表者の連携について	48名
3	令和4年2月19日	姫路商工会議所 (オンライン開催)	①令和4年度法語県看護協会代議員及び予備代議員の選挙 ②令和3年度活動報告 ③令和4年度活動計画（案）	28名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	9回	8名
2	まちの保健室委員会	6回	11名
3	医療安全委員会	6回	10名
4	健康危機対策委員会	8回	12名
5	地域連携委員会	10回	9名

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加人数
フィジカルアセスメント研修（基礎編）	令和3年5月29日	オンライン研修	姫路循環器病センター 集中ケア認定看護師 岸本博 氏	31名
医療安全における再発防止-有効な対策って どういうこと？	令和3年9月4日	オンライン研修	菊名記念病院 新村美佐香 氏	63名
慢性心不全患者の看護	令和3年9月25日	オンライン研修	姫路循環器病センター 慢性心不全看護認定看護師 小國恵子 氏	50名
摂食嚥下アセスメント 研修	令和3年11月6日	オンライン研修	姫路循環器病センター 摂食・嚥下障害看護認定看護 師 飯塚香織 氏	65名
意思決定人生会議 (ACP)	令和3年11月20日	姫路商工会議所	姫路聖マリア病院 緩和ケア認定看護師 柳生愛 氏	34名

ネットワークづくり事業研修会「Challengeコロナ」	令和3年11月27日	オンライン研修	姫路市保健所 所長 毛利好孝 氏 他	51名
------------------------------	------------	---------	-----------------------	-----

2) 看護研究発表会

発表演題数	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
20演題	令和4年1月29日	オンライン研修		101名

3) 各種交流会

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加人数
第1回リスクマネージャー交流会「せん妄患者の対応」	令和3年6月12日	姫路商工会議所	高岡病院 医師 清水勇雄 氏	25名
災害支援ナースオンライン交流会	令和3年7月17日	オンライン交流会	西播支部健康危機管理委員会委員	13名
看看連携交流会	令和3年8月19日	オンライン交流会	五本松の家 施設長 田原久美子 氏	15名
アクションカード研修	令和3年9月18日			中止
第2回リスクマネージャー交流会・実践報告会	令和3年11月13日	姫路商工会議所	たつの市民病院 介護福祉士 坂田京子 氏 ツカザキ記念病院 地域連携室社会福祉士 岩崎寛広 氏 姫路赤十字病院 臨床検査部 係長 永谷たみ 氏 公立神崎総合病院 医療安全管理者 井奥雅子 氏	18名

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日—令和3年5月22日 中止

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	18箇所	新型コロナウイルス感染対策のため中止
	健康相談活動回数	0回	
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	0回	
出前隊	出前隊件数	0件	
	活動ボランティア数	0回	

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
姫路市防災会議 幹事会	オンライン会議	令和3年7月12日	沢田洋子
姫路市防災会議・姫路市国民保護協議会	姫路市防災センター	令和3年7月16日	駒田香苗
西播磨地域健康福祉推進協議会医療部会及び地域医療構想調整会議（西播磨地域部会）	オンライン会議	令和3年7月27日 令和3年11月15日	永良直子
西播磨地域医療介護連携推進会議・意見交換会	オンライン会議	令和3年8月25日	永良直子
第2回中播磨地域健康福祉推進協議会医療部会 兼播磨姫路地域医療構想調整会議（中播磨地域部会）	オンライン会議	令和3年9月9日	駒田香苗
姫路市医療介護連携会議 「れんけい手帳検証部会」	オンライン会議	令和3年9月22日 令和3年11月19日	小谷ルツ 芝山富子
西播磨健康福祉推進協議会健康づくり部会 地域・職域連携推進協議会	オンライン会議	令和3年10月26日	永良直子
中播磨地域保健医療対策会議	オンライン会議	令和3年11月16日	沢田洋子
西播磨地域保健医療対策会議	オンライン会議	令和3年12月13日	永良直子
姫路市循環器病センター運営懇話会	姫路循環器病センター	令和4年1月20日	駒田香苗
第16回姫路市医療介護連携会議	オンライン会議	令和4年3月23日	駒田香苗

8. その他報告内容

1) 地域別看護職員ネットワーク事業研修

開催日：令和3年11月27日

場 所：オンライン開催

テーマ：Challenge コロナ 医療・ケア現場で変化したことからの学び

2) 令和3年度 看護職合同就職説明会 in 西播

開催日：令和4年1月16日

場 所：オンライン開催

令和 3 年度 支部活動報告

但馬 支部

支部代表氏名 福井 あけみ

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和 3 年 6 月 10 日	理事会報告、令和 2 年度事業報告、令和 3 年度事業計画、令和 3 年度委員会及び研修会予定、但馬支部活動のあり方、新旧役員紹介	10名
2	令和 3 年 9 月 9 日	理事会報告、支部会議及び委員会について、支部パソコンについて、令和 4 年度代議員及び予備代議員選出について	8名
3	令和 3 年 10 月 14 日	理事会報告、支部会議及び委員会について、支部パソコンについて、令和 4 年度代議員及び予備代議員選出について	7名
4	令和 3 年 11 月 11 日	理事会報告、各委員会報告、令和 3 年度支部会員会について、令和 3 年度活動報告及び令和 4 年度活動計画（案）について	8名
5	令和 3 年 12 月 9 日	理事会報告、各委員会報告、令和 3 年度支部会員会について、令和 3 年度活動報告及び令和 4 年度活動計画（案）について、	7名
6	令和 4 年 1 月 13 日	理事会報告、各委員会報告、令和 3 年度支部会員会について、まち保ボランティア表彰と県との連携委員について	7名
7	令和 4 年 3 月 10 日	理事会報告、各委員会報告、令和 4 年度における支部会議・委員会、支部研修会、第 1 回支部会員会、看護の日について	8名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和 3 年 6 月 30 日	—	第 1 回会員会は兵庫県看護協会ホームページでの閲覧および各施設へ書面にて報告	—
2	令和 3 年 11 月 11 日 施設代表者会	豊岡病院	理事会報告 令和 4 年度役員改選について	11名
3	令和 4 年 2 月 12 日	豊岡病院	県協会代議員及び予備代議員選出、令和 3 年度支部事業報告、令和 4 年度支部事業計画（案）	13名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	8回	10名
2	まちの保健室委員会	4回	14名
3	医療安全委員会	6回	6名
4	地域連携・健康危機	4回	4名

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
認知症と医療安全	令和3年8月30日	但馬長寿の郷	認知症看護認定看護師 中村薫一氏	中止
これならできる！認知症の 人とのコミュニケーション	令和3年9月25日	豊岡病院	認知症看護認定看護師 古垣留美子一氏	中止
医療安全と倫理	令和3年10月30日	但馬長寿の郷	精神看護専門看護師 安原沙織 氏	36名
フットケア	令和3年11月5日	八鹿病院	皮膚排泄ケア認定看護師 吉野洋子 氏	18名

2) 看護実践報告会

発表演題数	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
10題	令和4年3月5日	豊岡病院	姫路大学看護学部 看護学部長 菅野夏子 氏	70名 会場27名 オンライン43名

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日 中止

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点 における 活動	拠点数	11箇所	
	健康相談活動回数	0回	
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	0名	
出前 隊	出前隊件数	0件	
	活動ボランティア数	0名	

* その他の活動（まちの保健室における研修会、機関誌発行等の活動）

先の読めない新型コロナウイルス感染症の状況があり、昨年から活動を中止している。今後の活動について検討中。

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
但馬長寿の郷づくり協議会	書面開催	令和3年7月20日	福井あけみ
但馬圏域健康福祉推進協議会「医療部会」	豊岡病院	令和3年8月5日	福井あけみ
但馬圏域健康福祉推進協議会「全体会」	書面開催	令和3年9月10日	福井あけみ
但馬圏域健康福祉推進協議会「医療部会」	豊岡病院	令和4年1月17日	福井あけみ

